

長野県立美術館

2023年度 館報 26
令和5年度

目次

はじめに 5

1. 美術館概要

- (1) 特徴 6
- (2) 沿革 7
- (3) 施設概要(本館・東山魁夷館) 8
- (4) 長野県立美術館条例 12
- (5) 長野県立美術館規則 14
- (6) 歴代館長 15

2. 展覧会概要 16

3. 各展覧会の記録

- (1) 企画展 18
- (2) 交流スペース・オープンギャラリー
展示 39
- (3) アートラボ展示 42
- (4) 本館 コレクション展 46
- (5) 東山魁夷館 コレクション展 59
- (6) 長野県立美術館 交流名品展 69
- (7) 長野県立美術館 移動展 72

4. 交流・学習

- (1) 交流事業 (善光寺平アートライン、
地域との連携事業、県内大学等連携
事業、インクルーシブ・プロジェクト)
76
- (2) 学習事業 (スクールプログラム、
鑑賞プログラム、アート・コミュニ
ケータ) 79

5. アートライブラリー 86

6. 収蔵品貸出 87 MIDORI長野展示 89

7. 新収蔵作品 90

8. 広報・マーケティング室事業 92

9. その他

- 利用案内 94

はじめに

令和5(2023)年度は、企画展では「超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA」展や「信濃毎日新聞社創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃—小布施・諏訪・松本—」にはじまって、県立・市立4美術館の共同企画による「とびたつとき—池田満寿夫とデモクラートの作家」展、アニメーションや実写映画で知られる庵野秀明の仕事を、その原点である特撮映画にさかのぼって跡づける「庵野秀明展」、「とびたつとき」展と同様の共同企画展「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」など多彩な企画展を実施し、本館のコレクション展示室ではVI期、東山魁夷館ではV期に分けて、テーマ性をもった所蔵作品の展示を行いました。

結果として令和5(2023)年度は、本館と東山魁夷館合わせて595,000人の皆様にご来館いただき、のべ215,000人の方々に企画展やコレクション展をご覧いただきました。そのなかには、主に県内の小・中・高等学校、特別支援学校など105校からの団体鑑賞者約4,300名(引率教員を含む)が含まれています。

所蔵作品展や企画展といった「鑑賞」プログラムが、基本的には不特定多数の顔の見えない来場者に向けて実施されるのに対して、「学習」や「交流」の事業で大切なのは、マン・ツー・マンの密度の高い対話やコミュニケーションとあっていいでしょう。そのため、令和3(2021)年に—新型コロナウイルスが蔓延するさなかに—新しい本館がオープンして以来、感染防止のための制約をもっとも強く受けたのが学習・交流の事業でしたが、今年度はそうした規制が大幅に緩められた、コロナ明けの年となりました。

新しい本館の大きな特徴は、チケットを購入しなくても見てまわることのできるエリアの随所に、鑑賞の場であるとともに学習や交流の場でもあるフリー・スペースを設けている点です。本年は、1階のオープンギャラリーでは、「第II期みんなのアートプロジェクト」によって委嘱制作された作品の成果発表として「配置訓練 細井美裕+比嘉了」展や、公開制作展示「蓮沼昌宏 制作、テーブル、道」を実施し、2階のアートラボでは、中ハシクシゲ・光島貴之・金箱淳一らによる、触覚や聴覚に働きかける作品のほか、匂いの要素を大胆に導入した「廣瀬智央 みかんの旅」と題する展示を行いました。また1階の交流スペースでは、「鑑賞プログラム」の一環として家族連れで参加のできる「こどもアートラボ」(11プログラム)など、数々のワークショップが開かれました。その際に、思い思いの動機で集まった参加者を美術館へと迎え入れる大切な役割を果たすのがアート・コミュニケータ(AC)であり、本年度はAC自主企画の学習プログラム7つが実施されました。

新しい本館の開館を機に、念願のコレクション展示室を含めて本格的な規模と装備を具えた展示室が開設され、その外側のいわば遊歩空間には、自由に参加のできるワークショップ等のためのスペースが随所に配されました。フリー・スペースとは、工夫や創意を盛り込む余地の大きい空間ということであり、来館者と美術館スタッフ+アート・コミュニケータが一つになって作ってゆく、開かれた場ということです。そうして、戦前の日本画・洋画・彫刻から現代の映像作品やアニメーションまでをカバーする本館は、連絡ブリッジによって日本人の自然感情の粹ともいべき東山魁夷館という別世界とつながっています。この贅沢な施設を、来館者の皆様とともに育てていきたいと思っておりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年6月

長野県立美術館
前館長 松本 透

特徴

長野県立美術館は、昭和41年(1966年)、県民の声を受けて善光寺に隣接する城山公園内に財団法人信濃美術館として発足し、昭和44年(1969年)に長野県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館「長野県信濃美術館」として活動してきました。平成2年(1990年)には東山魁夷館が開館。令和3年(2021年)には本館が新築され、「長野県立美術館」へと改称し、現在に至ります。

本館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」であるとともに、暮らしに文化のうらおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。

そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

■長野県立美術館の4つの柱

1 多様なアートと出会い、世界観を広げる「鑑賞」

本館及び東山魁夷館において収集・保管している作品のコレクション展のほか、企画展や県下各地での移動展を通じて、多くのお客さまが近代美術から現代美術まで、質の高いアートに出会える機会を提供します。

2 アートを通じて豊かな心を育み、生きる喜びを実感する「学び」

世代を越えて誰もが参加できるプログラムを提供するほか、来館者とアートを結ぶアート・コミュニケータの活動を通じて、アートを楽しく学ぶことができる環境づくりに寄与します。

3 他者との協働により、深く新しい視座を開拓する「交流」

県内各地の美術館などの文化施設、美術家のグループ、また地域の観光施設などとアートを介して連携することにより、地域の拠点施設としての役割も担います。

4 美術作品などの文化資源を調査研究し、公開する「研究」

5,500点余のコレクションを文化資源として調査研究を深めていくとともに、アートに関する最新の調査研究の成果や美術書を中心とした蔵書等のデータベースを公開していきます。

東山魁夷館

東山魁夷館は、長野県が日本画家・東山魁夷(1908-1999)から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年(1990年)4月に開館しました。収蔵作品数は現在、970点余に及びます。およそ2カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいています。

コレクション・ポリシー(作品の収集方針)

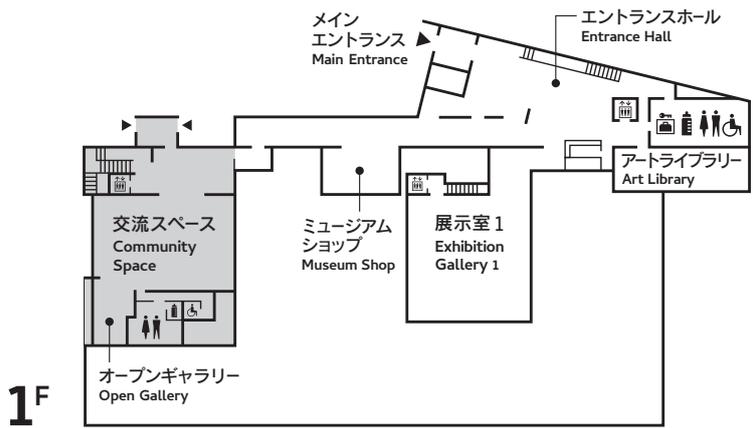
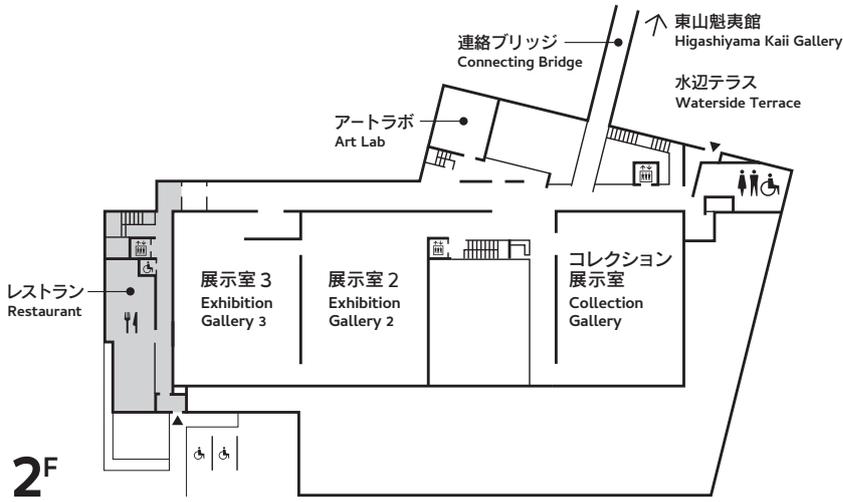
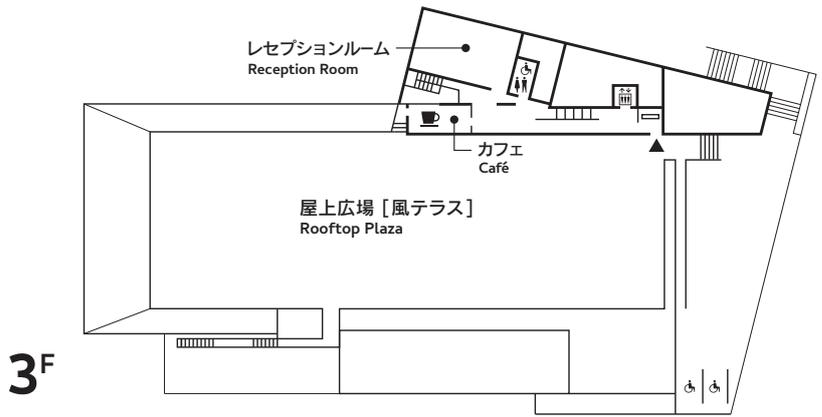
- ・長野県出身または長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代美術の作品(絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など)
- ・美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
- ・日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
- ・近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群、及び美術資料群

沿革

昭和40年 3月23日	財団法人信濃美術館設立
昭和41年 5月28日	財団法人信濃美術館新築工事完成 (建設費 1億円)
昭和41年10月 1日	信濃美術館開館 (敷地面積:7,946平方メートル 延床面積:1,826平方メートル)
昭和44年 3月31日	長野県信濃美術館条例制定
昭和44年 6月 1日	同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日	昭和45年 5月着工の第二展示棟増築工事完成 (延床面積:654平方メートル)(建設費 6,500万円)
昭和49年 3月29日	昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成 (延床面積:333平方メートル)(建設費 5,192万円)
昭和54年 7月12日	長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年 4月 1日	管理運営を財団法人長野県文化振興事業団に委託
昭和62年 9月22日	東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日	東山魁夷館基本構想発表
平成元年12月25日	平成元年 8月着工の信濃美術館改修工事完成
平成 2年 4月26日	東山魁夷館開館 (着工:昭和62年12月 完成:平成 2年 2月 敷地面積:4,675平方メートル 延床面積:1,698平方メートル)(建設費 11億円)
平成 5年10月14日	東山魁夷館延入館者数100万人達成
平成11年 7月15日	東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年 3月31日	東山魁夷館側駐車場増設工事完成(40台から90台へ)
平成18年 4月 1日	財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成21年 3月31日)
平成20年 7月17日	東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年 4月 1日	財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成26年 3月31日)
平成25年 4月 1日	公益法人制度改革に伴い、長野県文化振興事業団が一般財団法人へ移行
平成26年 4月 1日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成31年 3月31日)
平成28年10月 1日	長野県信濃美術館開館50周年
平成28年11月18日	「信濃美術館整備基本構想」発表
平成29年 5月31日	東山魁夷館改修のため休館
平成29年10月 1日	長野県信濃美術館全面改築のため休館
平成30年 5月 1日	長野県信濃美術館事務所全面改築のため長野県南俣庁舎へ移転
平成31年 4月 1日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～令和 3年 3月31日)
令和元年10月 5日	東山魁夷館リニューアルオープン (エレベーター増設等バリアフリー対応、トラックヤード新設ほか)(改修総事業費 約 9億4000万円)
令和 3年 4月 1日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～令和 8年 3月31日)
令和 3年 4月10日	長野県立美術館開館 (着工:平成31年 4月 完成:令和 3年 3月 敷地面積:16,363.3平方メートル 延床面積:11,324.25平方メートル)(総事業費 約106億円)
令和 4年 5月20日	東山魁夷館延入館者数400万人達成
令和 4年 7月10日	長野県立美術館新築オープン延入館者数100万人達成

施設概要

本館 Main Building



■ しなのスクエア
Shinano Square



本館

[建築概要]

-設計-

建築	ブランツアソシエイツ オープンヴィジョン
構造	KAP
設備	森村設計
サイン	KMD
外構	オンサイト計画設計事務所
照明計画	ライティングプランナーズアソシエーツ

-施工-

建築/周辺整備	清水・新津建設共同企業体
空調	金澤工業
衛生	浅間設備
電力	協栄電気興業
弱電	TOSYS
外構ほか工事	守谷商会

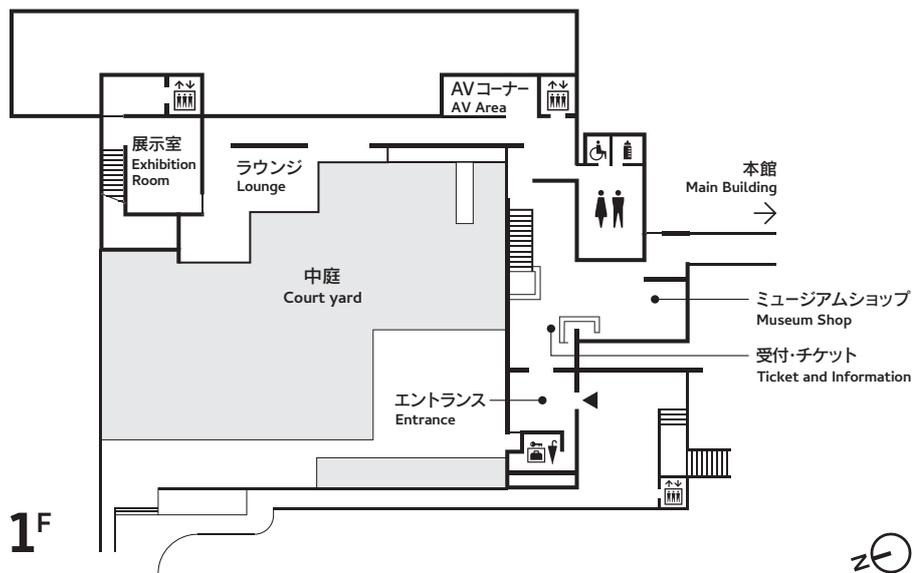
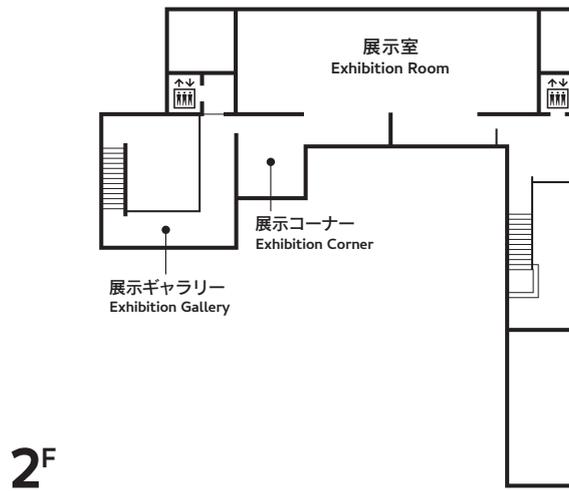
階数	地下1階 地上3階
高さ	11.57m
構造	鉄筋コンクリート造 + プレストレストコンクリート造 一部鉄骨造
地域指定	都市計画区域内（市街化区域）法22条区域 善光寺城山風致地区，下水道処理区域，日影規制（4h-2.5h/4m），第二種住居地域
工事期間	2019年4月 - 2020年12月（本館） 2021年1月 - 2021年3月（周辺整備等）

[面積]

敷地面積	16,363.30 m ²
建築面積	4,541.17 m ²
延床面積	11,324.25 m ² (連絡ブリッジ69.79 m ² 含む)
地下1階床面積	3,091.45 m ²
・しなのギャラリー	423.93 m ²
・ホール	234.36 m ²
・収蔵庫	789.43 m ²
1階床面積	3,995.08 m ²
・エントランスホール	208.84 m ²
・展示室1	378.06 m ²
・交流スペース	308.12 m ²
・ミュージアムショップ	81.55 m ²
・アトライブラリー	121.97 m ²
・収蔵庫	259.20 m ²
2階床面積	3,691.57 m ²
・展示室2	390.85 m ²
・展示室3	366.34 m ²
・コレクション展示室	389.13 m ²
・展示準備室	192.15 m ²
・アトラボ	53.84 m ²
・レストラン	105.34 m ²
・連絡ブリッジ	69.79 m ²
・事務室	278.45 m ²
3階床面積	551.41 m ²
・レセプションルーム	116.01 m ²
・カフェ	39.91 m ²

施設概要

東山魁夷館 Higashiyama Kai Gallery



東山魁夷館

[建築概要]

設計	谷口建築設計研究所
施工	竹中・守谷建築共同企業体

階数	地上 2 階
高さ	11.45 m
構造	鉄筋コンクリート
地域指定	第二種住居地域 善光寺城山風致地区
工事期間	1988 年 12 月 -1989 年 12 月
改修工事期間	2018 年 5 月 -2019 年 3 月

[面積]

敷地面積	4,675.00 m ²
建築面積	1,316.31 m ² (内増築面積 225.85 m ²)
延床面積	1,882.22 m ² (内増築面積 225.85 m ²)
1 階床面積	1,197.58 m ²
・エントランスホール	119.52 m ²
・展示室	79.38 m ² h. 7.8m
・収蔵庫	169.69 m ²
・荷解室その他	46.45 m ²
・ミュージアムショップ	54.08 m ²
・ラウンジ	128.79 m ²
・事務室	33.56 m ²
2 階床面積	684.64 m ²
・展示室	359.11 m ² h. 4.7m
・展示コーナー	30.72 m ² h. 3m
・展示ギャラリー	79.34 m ² h. 4.45m

長野県立美術館条例

昭和44年3月31日 条例第32号

改正 令和5年12月25日 条例第26号

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 美術品を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するとともに、美術の振興を図り、もって教育、学術及び文化の向上に寄与するため、長野県立美術館(以下「美術館」という。)を長野市に設置する。

(職員)

第3条 美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 美術館に、博物館法第23条の規定による美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから知事が任命する。

3 協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(利用の許可)

第5条 美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者(地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)の許可を受けなければならない。

(指定管理者による管理)

第6条 美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

(指定管理者の指定)

第7条 指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

(指定の申請)

第8条 前条の申請は、知事が定める日までに、規則で定めるところにより、申請書に事業計画書(職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。)その他規則で定める書類を添付して行うものとする。

(候補者の選定の基準)

第9条 第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

(1) 事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、か

つ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

(2) 一般住民の平等な利用が確保されること。

(3) 事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。

(4) 指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。

(5) 県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。

(6) 地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

(指定の告示)

第10条 知事は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

(業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術品に関し必要な説明を行うこと。

(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

(3) 美術館の利用の許可に関する業務

(4) 美術館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)に関する業務

(5) 博物館法第3条第1項第3号及び第5号から第12号までに掲げる事業に関する業務

(6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務

(管理の基準)

第12条 指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術館の休館日について、水曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、木曜日)、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(2) 美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、これを変更することができる。

(3) 美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示品等を汚損した場合その他の規則で定める場合に行うことができるものとする。

- (4) 美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。
- (5) この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。
- (6) 指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で知事が定めるもの

(協定の締結)

第13条 知事及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする

- (1) 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項
- (2) 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項

(利用料金の納付等)

第14条 美術館の展示品を観覧する者又は県民ギャラリー若しくは多目的ルームを利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。
- 3 常設に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、1人1回について700円の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 4 特別企画に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、あらかじめ知事の承認を得て、特別企画ごとに指定管理者が定めるものとする。
- 5 知事は、前項に規定する承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が当該申請に係る特別企画と規模、形態等において類似の特別企画に係る展示品を観覧する場合の料金と比較して均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。
- 6 県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する場合の利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

(別表)(第14条関係)

1 県民ギャラリー及び多目的ルーム

区分	金額		
	午前9時から午後零時30分まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで
県民ギャラリー	円	円	円
	—	—	23,400
多目的ルーム	文化芸術活動に利用する場合	6,000	6,900
	文化芸術活動以外に利用する場合	24,200	27,600
			13,800
			55,200

(備考)1 入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合は、この表に掲げる区分に従い、当該区分に定める額に100分の130を乗じて得た額とする。

2 県民ギャラリーの一部を利用する場合の利用料金の額は、当該利用する部分の面積に応じ、知事が定める額とする。

2 備品等

区分	金額
備品を利用する場合	知事が別に定める額
電気器具の持込みをして電力を利用する場合	

(利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

- (1) 国又は地方公共団体が利用するとき。
- (2) 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(利用料金の還付)

第16条 指定管理者は、既に納付された利用料金を還付しないものとする。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、知事が定める額を基準とした額を還付することができる。

- (1) 利用する者の責任によらない理由で利用できなくなったとき。
- (2) 利用の申込みをした者が知事が定める日までにその申込みを取り消したとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則(令和2年10月19日条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第2条の改正規定(「長野県信濃美術館」を「長野県立美術館」に改める部分に限る。)及び次項の規定は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和5年12月25日条例第26号抄)

この条例は、令和6年4月1日から施行する

長野県立美術館規則

昭和44年5月19日 教育委員会規則第6号

改正 令和3年3月29日 教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立美術館条例(昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。)第17条の規定により、長野県立美術館(以下「美術館」という。)の管理等及び美術館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会)

第2条 条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が招集する。

- 2 協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて招集する。
- 3 協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

(利用の許可等)

第3条 県民ギャラリー又は多目的ルーム(以下「貸出施設」という。)を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、申請書を次に掲げる期間内に条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者(以下「指定管理者」という。)に提出して申請しなければならない。

- (1) 県民ギャラリー又は県民ギャラリーと併せて利用する場合の多目的ルームについては、利用しようとする日(以下この項において「利用日」という。)の前1年に当たる日の属する月の初日(その日が休館日に当たるときは、その翌日)から利用日の前30日まで
- (2) 多目的ルームについては、利用日の前3月に当たる日(その日が休館日に当たるときは、その翌日)から利用日の前日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、同項の期間外の申請についても受理することができる。
- 3 第1項の申請書には、次に掲げる事項を記載するものとする。
 - (1) 利用目的
 - (2) 利用する貸出施設の名称
 - (3) 利用期間
 - (4) 入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合にあつては、その旨
 - (5) 多目的ルームを文化芸術活動以外に利用する場合にあつては、その旨
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項
- 4 美術館の展示品を観覧する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

- 5 指定管理者は、第1項の申請に対し貸出施設の利用を許可したときはその利用許可書を、前項の申請に対し展示品の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

(利用取消届)

第4条 前条第5項の規定による利用許可書の交付を受けた者(第6条及び第7条において「貸出施設利用者」という。)が、貸出施設の利用の取消しをしようとするときは、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

(遵守事項)

第5条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、展示品等を毀損し、又は汚損しないこと。
- (2) 館内において他人に迷惑をかけること。
- (3) 所定の場所以外で飲食しないこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

(利用後の処理)

第6条 貸出施設利用者は、施設又は備品の利用を終了したときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

(損害の賠償)

第7条 美術館を利用する者は、施設、展示品等(貸出施設利用者が持込みをしたものを除く。)を毀損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(指定の申請)

第8条 条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書(別記様式)によるものとする。

- 2 条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの(以下この項において「申請者」という。)について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

- (1) 定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの
- (2) 申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請者の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの
- (3) 申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類
- (4) 役員の名簿及び履歴書
- (5) 申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類
- (6) 申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書

(7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合)

第9条 条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則(令和3年3月29日教育委員会規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第1条の改正規定(「第16条」を「第17条」に改める部分を除く。)及び別記様式の改正規定(「(第7条関係)」を「(第8条関係)」に改める部分を除く。)は、令和3年4月1日から施行する。

様 式(省略)

歴代館長

山 田 邦 夫	昭和41年10月1日～昭和44年5月31日	※財団法人信濃美術館
西 沢 千 秋	昭和44年6月1日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮 沢 寿	昭和46年12月1日～昭和47年11月30日	
藤 森 治 幸	昭和47年12月1日～昭和53年3月31日	
鵜 野 孝	昭和53年4月1日～昭和57年1月31日	
大 友 博 幸	昭和57年2月1日～昭和57年3月31日	教育次長兼
竹 本 春 男	昭和57年4月1日～昭和58年3月31日	
佐 藤 義 人	昭和58年4月1日～昭和59年3月31日	
伊 藤 万寿雄	昭和59年4月1日～昭和60年3月31日	
三 沢 国 臣	昭和60年4月1日～昭和61年3月31日	
山 本 正 男	昭和61年4月1日～平成14年3月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松 本 猛	平成14年4月1日～平成22年4月30日	
橋 本 光 明	平成23年4月8日～平成30年3月31日	
松 本 透	平成30年4月1日～令和6年3月31日	
笠 原 美智子	令和6年4月1日～現在に至る	

令和5年度展覧会概要

(1)当館主催展覧会

企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA	4/22～6/18	51	25,466	2,910	814	4,366	33,556
信濃毎日新聞創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本-	7/1～8/27	49	30,876	3,484	1,107	2,098	37,565
とびたつときー池田満寿夫とデモクラートの作家	9/9～11/5	51	4,796	1,072	472	2,495	8,835
庵野秀明展	11/25～2/18	68	26,277	3,318	489	4,104	34,188
春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ	3/16～5/12	50	5,827	852	581	951	8,211
計		269	93,242	11,636	3,463	14,014	122,355

交流スペース・オープンギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
第II期みんなのアートプロジェクト成果展 配置訓練 細井美裕+比嘉了	7/15～9/10	50	-	3,465
公開制作 vol.3 蓮沼昌宏 制作、テーブル、道	10/14～2/4	92	-	6,205
計		142	0	0	0	0	9,670

アートラボ展示

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
アートラボ2023第I期 中ハシクシゲ展 おしめの家族	5/13～8/1	71	-	6,480
アートラボ2023第II期 光島貴之展 かたちと手ざわりで行ったり来たり	8/5～10/24	70	-	6,390
アートラボ2023第III期 廣瀬智央 みかんの旅	11/3～2/12	82	-	7,468
アートラボ2023第IV期 金箱淳一展 たたく・つながる・ひびきあう	2/17～5/14	76	-	2,379
計		299	0	0	0	0	22,717

コレクション展(本館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
NAMコレクション2023 第I期	3/16～5/16	55	12,518	1,552	438	2,540	17,048
NAMコレクション2023 第II期	5/18～7/25	61	15,436	3,588	417	3,740	23,181
NAMコレクション2023 第III期	7/27～9/19	48	13,930	2,129	305	2,656	19,020
NAMコレクション2023 第IV期	9/21～11/28	61	14,500	1,329	536	2,814	19,179
NAMコレクション2023 第V期	11/30～2/13	60	6,885	2,748	205	3,721	13,559
NAMコレクション2023 第VI期	2/15～4/23	60	8,595	1,030	344	1,235	11,204
計		345	71,864	12,376	2,245	16,706	103,191

コレクション展(本館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
NAMコレクション2023 新収蔵品展※	4/22～6/18	51	15,297	2,910	382	4,366	22,955
計		51	15,297	2,910	382	4,366	22,955

※個別集計ではなく会期中のNAMコレクション2023入館者を集計

コレクション展(東山魁夷館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
第I期	4/13～6/20	61	16,905	3,036	406	4,418	24,765
第II期	6/22～8/22	55	14,942	3,246	350	3,109	21,647
第III期	8/24～10/31	61	14,973	1,413	495	2,915	19,796
第IV期	11/2～1/16	60	9,595	2,216	328	2,823	14,962
第V期	1/18～4/9※	72	9,363	1,928	329	2,887	14,507
計		309	65,778	11,839	1,908	16,152	95,677

※諸般の事情により、会期を1週間延長して開催

(2)長野県立美術館 交流名品展

展覧会名(会場)	会期	日数	入場者数				計
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	
日本の真ん中で美がひらく(辰野美術館)	10/7~11/26	44	497	317	814
計		44	497	0	0	317	814

(3)長野県立美術館 移動展

展覧会名(会場)	会期	日数	入場者数				計
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	
開拓の記憶-南牧村でたどる信州の原風景(南牧村美術民俗資料館)	10/21~11/3	12	-	293
西洋と日本のはざま(長野県伊那文化会館 美術展示ホール)	10/28~12/3	32	318	211	529
計		44	318	0	0	211	822

(4)しなのギャラリー(県民ギャラリー)における展覧会

展覧会名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
長野市華道家連盟 いけばな展2023 華・希望のひかり	長野市華道家連盟	4/14~4/17	4	0	3,059	3,059
長野県華道協会 いけばな展2023 春風 花・心いやされて	長野県華道協会	4/21~4/24	4	0	1,828	1,828
御嶽山噴火災害、あの日から写真展	山びこの会	5/12~5/16	5	0	538	538
第9回山田洋子透水彩画&まさお造形の夫婦展(友情展示:駒澤珠道、加藤芳忠)	アトリエようこ	5/19~5/23	5	0	500	500
CAVA展	CAVA実行委員会	5/26~6/6	11	0	381	381
第49回信州版画展	信州版画協会	6/9~6/13	5	0	360	360
第74回北信美術展	北信美術会	6/22~6/27	6	0	2,737	2,737
カラコレス研究生グループ展 プリザーブド&アートフラワーの世界	カラコレス・プリザーブド &アートフラスクール	6/30~7/4	5	0	131	131
小田切八景切り絵展	小田切地区住民自治協議会	7/7~7/11	5	0	198	198
第56回一陽会長野展	一陽会長野支部	7/28~8/1	5	0	229	229
第18回まつろ現代美術フェスティバル2023 【中・日・韓】国際現代芸術交流展	(一社)信州国際芸術区	8/11~8/21	10	0	657	657
第42回長野県工芸展	長野県工芸会	8/25~8/29	5	0	604	604
100の1000 ー日本100名山の標高1000m	1000の100開催実行委員会	9/7~9/12	6	0	100	100
第75回長野県美術展	信州美術会	9/24~10/1	7	0	3,135	3,135
愛をこめて ~陶芸家 倉田正己 20年の軌跡~	倉田正己	10/6~10/10	5	0	158	158
K展 K点を求めて	K展実行委員会	10/20~10/24	5	0	549	549
水内大社の大絵馬お披露目会	長野美術専門学校	10/20~10/23	4	0	774	774
第39回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/27~10/29	3	0	292	292
第64回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/3~11/6	4	0	784	784
北国の叙情 高野元孝油絵展	高野元孝	11/9~11/21	12	104	0	104
第56回「ふれあい展」 長野・上水内特別支援学級 特別支援学校児童生徒作品	長野上水内特別支援教育 担任者会	11/30~12/5	6	0	2,766	2,766
第3回北信地域 ふっくらアート展	長野県障がい者福祉センター サンアップル	12/8~12/11	4	0	349	349
ザワメキアート展2023 ルーツ オブ アーツ	社会福祉法人長野県社会福祉 事業団ザワメキサポートセンター	12/9~12/25	15	0	1,105	1,105
第33回長野市風景画展	長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課	1/7~1/16	9	0	1,398	1,398
第45回長野県高等学校美術展	長野県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部	1/19~1/21	3	0	644	644
第74回長野県児童生徒美術展/第39回長野市・上水内郡中 学校美術部合同展/令和5年度長野上水内教育会図工美術展 /第33回北信ブロック展	長野県美術教育研究会 長水支部	1/27~1/30	4	0	1,985	1,985
令和5年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 「卒業記念展覧会~アテモヤ~」	信州大学教育学部図画工作・ 美術教育コース	2/8~2/13	6	0	401	401
第51回日本の書展	信濃毎日新聞社事業局	3/8~3/11	4	1,451	0	1,451
第53回新構造長野県展	一般社団法人新構造社長長野 支部	3/15~3/19	5	0	434	434
計			172	1,555	26,096	27,651

(5)ホール(多目的ルーム)におけるイベント

イベント名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
朗読劇 日屋の桜「腐れ胡粉」異聞	一般財団法人戦没画学生慰霊 美術館「無言館」	6/11	1	120	0	120
絵解きに関する講座の実施	長野美術専門学校	10/21	1	49	0	49
信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース「卒業研究発表会」	信州大学教育学部 図画工作・ 美術教育コース	2/11	1	0	40	40
計			3	169	40	209

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

超絶技巧を駆使した明治工芸再評価の機運が、近年益々高まっている。本展では、近代の名工の作品に加え、そのDNAを受け継ぐ、技術とセンスを合わせ持つ現代作家の新作を中心に紹介。陶芸、木彫、金工、切り絵、ガラス、ペーパークラフトなど、様々な技法から生み出された、未来へとつながる超絶技巧の世界に迫った。

- 会期 令和5年4月22日(土)から6月18日(日) (51日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室2・3)
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館、SBC信越放送
[共催]長野県教育委員会、信濃毎日新聞社
[協力]清水三年坂美術館
[監修]山下裕二(明治学院大学教授)
[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社
[企画協力]広瀬麻美(株式会社 浅野研究所)
- 観覧料 一般1,400(1,300)円、大学生1,200(1,100)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般1,900円、大学生1,500円
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 33,556人(有料:25,466人 無料:8,090人)
- イベント ①記念講演会／講師：山下裕二(明治学院大学教授、本展監修者)／日時：5月13日(土)13:30～15:00／場所：レセプションルーム／参加人数：30人
②作家講演会／講師：大竹亮峯(木彫家、本展出品作家)／日時：5月27日(土)13:30～15:00／場所：レセプションルーム／参加人数：30人
③ワークショップ／講師：蝸牛あや(刺繍作家、本展出品作家)／日時：6月4日(日)13:30～16:00／場所：レセプションルーム／参加人数：10人
- 担当学芸員 霜田英子、佐々木裕貴子



No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵先
木彫					
1-01	前原 冬樹	《一刻》スルメに茶碗	2022	朴、油彩、墨	
1-02	前原 冬樹	《一刻》グローブとボール	2022	朴、油彩、墨	
1-03	前原 冬樹	《一刻》トタンに釘、板に鏝	2022	イチイ	
1-04	前原 冬樹	《一刻》ブランコに朴の実	2003	桂、油彩	
1-05	松本 涼	黄昏	2023	樟	
1-06	松本 涼	輪廻	2022	樟	
1-07	松本 涼	連鶴 四想折安	2022	樟	
1-08	松本 涼	涅槃	2021	樟	
1-09	松本 涼	髑髏柳	2020	樟	
1-10	大竹 亮峯	Innocent	2023	黄楊、楓、鹿角、TiNi 線	
1-11	大竹 亮峯	歩葉	2021	楓、マカンバ、オパール、鹿角	
1-12	大竹 亮峯	月光	2020	鹿角、神代樺、楓、榧、チタン合金	
1-13	大竹 亮峯	眼鏡饅頭蟹	2020	梓(ミズメザクラ)、ラブラドライト	
1-14	大竹 亮峯	祈り	2019	楓、榧、ラブラドライト、パウア	
1-15	福田 亨	吸水	2022	黒檀、黒柿、柿、真弓、朴、苦木、柳、ペロパローサ	
1-16	福田 亨	Niwa -カタクリ	2023	朱利桜、黒檀、神代樺、黒柿、真弓、朴、繻の木、山桜、柳、ピンクアイボリー、ペロパローサ、ペリコプシス、パープルハート、マホガニー	
1-17	福田 亨	Mushikago(トノサマバッタ)	2021	朴、黄楊、黒檀、榧、槐、車輪梅、黒柿、柿、神代樺、花梨、水木、インブリア、ウォールナット	
1-18	岩崎 努	さくらんぼ	2021	楓、水干絵具、胡粉、膠、漆	清水三年坂美術館
1-19	岩崎 努	無花果	2020	楠、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
1-20	岩崎 努	嘉来(柿)	2019	楓、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
1-21	岩崎 努	竹の子	2022	楓、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
金工					
1-22	本郷 真也	円相	2023	鉄、金	
1-23	本郷 真也	Visible01 境界	2021	鉄、赤銅、銀	
1-24	本郷 真也	老犬 独歩	2021	鉄	
1-25	吉田 泰一郎	夜霧の犬	2020	銅、リン青銅、銀メッキ、七宝	
1-26	吉田 泰一郎	三毛猫	2021	銅、銀メッキ、七宝、墨	
1-27	吉田 泰一郎	粗	2022	銅、銀メッキ、七宝	
1-28	長谷川 清吉	銀製 梱包材	2023	銀	
1-29	長谷川 清吉	真鍮製 爪楊枝	2023	銀、真鍮	
1-30	長谷川 清吉	銅製 紙袋	2023	銀、銅	
1-31	長谷川 清吉	銅製 ゴミ箱	2023	銀、銅、真鍮	
漆工					
1-32	彦十 蒔絵 若宮 隆志	Ultraviolet canvas	2022	アルミ、天然漆、色粉	
1-33	彦十 蒔絵 若宮 隆志	金槌	2023	麻布、天然漆	
1-34	彦十 蒔絵 若宮 隆志	「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ	2023	モンキー：麻布、天然漆、銀粉/工具箱・ネジ：ヒバ材、漆、銀粉	
1-35	彦十 蒔絵 若宮 隆志	琉珈彩 菊唐草蒔絵	2022	樺、天然漆、金粉、和光銀粉、人工オパール	
1-36-1	彦十 蒔絵 若宮 隆志	草花研ぎ出し蒔絵 渡辺省亭図引用	2022	朴、天然漆、金粉、銀粉、炭粉、螺鈿、銀細工	
1-36-2	渡辺 省亭	牡丹に蝶の図	1893	絹本着色	
1-37	樋渡 賢	羽根蒔絵大棗	2022	樺、漆、金、銀、赤銅	
1-38	樋渡 賢	羽根蒔絵杯	2022	樺、漆、金、銀、赤銅	
1-39	樋渡 賢	蒔絵細棗「月下蝙蝠」	2022	樺、漆、金、炭粉	
1-40	池田 晃将	百千金字塔香合	2022	漆、木曾檜、鮑貝、金	
1-41	池田 晃将	電光金針水晶飾箱	2022	漆、木曾檜、夜光貝、鮑貝、金	
1-42	池田 晃将	五乗電脳之間飾箱	2022	漆、木曾檜、鮑貝、夜光貝、銀、金	
1-43	池田 晃将	紫電閃光結晶飾箱	2022	漆、木曾檜、夜光貝、金	
1-44	池田 晃将	Artifact 03	2019	漆、榧、鮑貝	
陶磁					
1-45	稲崎 栄利子	Amrita	2023	陶土、磁土	
1-46	稲崎 栄利子	Euphoria	2023	陶土、磁土、金彩、雲母銀	
1-47	稲崎 栄利子	現像	2018	陶土、磁土	高松市美術館
1-48	稲崎 栄利子	霧雨	2018	陶土、磁土	
ガラス					
1-49	青木 美歌	あなたと私の間に	2017	ガラス、ステンレススチール	
1-50	青木 美歌	あなたに続く森	2017	ガラス	モルガン・スタンレー
水墨画					
1-51	山口 英紀	日本三名瀑一那智の滝	2022	紙本水墨	
1-52	山口 英紀	日本三名瀑一華嚴の滝	2023	紙本水墨	
1-53	山口 英紀	日本三名瀑一袋田の滝	2023	紙本水墨	
1-54	山口 英紀	にはたづみ	2010	紙本水墨	
ペーパークラフト					
1-55	小坂 学	#256 [BCL Radio]	2022	紙	
1-56	小坂 学	#224 [Classic Camera]	2019	紙	
1-57	小坂 学	#251 [Watch]	2019	紙	

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵先
1-58	小坂 学	#237 [Sports Shoe]	2019	紙	
切り絵					
1-59	盛田 亜耶	ヴィーナスの誕生II	2022	紙	
1-60	盛田 亜耶	マグダラのマリア	2023	紙	
刺繍					
1-61	蝸牛 あや	王国	2023	絹糸、絹布	
1-62	蝸牛 あや	鳳凰	2023	絹糸、絹布	
1-63	蝸牛 あや	眠る鳥	2023	絹糸、絹布	
1-64	蝸牛 あや	騎士	2022	絹糸、絹布	
明治工芸作家					
七宝					
2-01	並河 靖之	蝶に花図香合			
2-02	並河 靖之	蝶に花唐草文花瓶			清水三年坂美術館
2-03	並河 靖之	藤に蝶図対花瓶(一対)			清水三年坂美術館
2-04	並河 靖之	梅鶯図小花瓶			
2-05	並河 靖之	家鶏に菊花図飾扁壺			
2-06	並河 靖之	草花図花瓶			清水三年坂美術館
2-07	濤川 惣助	富嶽図小箱			
2-08	濤川 惣助	梅月図小箱			
2-09	濤川 惣助	綿花図梅型小箱			
2-10	濤川 惣助	月雲双鴨図飾皿			
2-11	濤川 惣助	菖蒲図大皿			
2-12	柴田	悲母観音図花瓶			清水三年坂美術館
2-13	川出 柴太郎	檜に鳥蟬図花瓶(一対)			清水三年坂美術館
2-14	無名	龍鳳風図香炉			
金工					
2-15	正阿弥 勝義	糸瓜花瓶			清水三年坂美術館
2-16	正阿弥 勝義	猿に蟻螂図花瓶			清水三年坂美術館
2-17	正阿弥 勝義	雲龍波鶴図花瓶			清水三年坂美術館
2-18	駒井 音次郎	蔦葉文煙草箱			清水三年坂美術館
2-19	海野 勝珉	孔雀図煙草箱			清水三年坂美術館
2-20	海野 勝珉	松鶴図花瓶			清水三年坂美術館
2-21	信久	鷹香炉			清水三年坂美術館
2-22	中川 義実	四季草花図花瓶(一対)			清水三年坂美術館
2-23	館谷 有民	駿馬図花瓶			清水三年坂美術館
2-24	弘柳斎 光春	花図花瓶(一対)			
漆工					
2-25	柴田 是真	青海波貝藻蒔絵重箱・裏白蒔絵台			清水三年坂美術館
2-26	柴田 是真 池田 泰真 庄司 竹真	月秋草虫蒔絵菓子器			
2-27	池田 泰真	秋草蒔絵飾棚			清水三年坂美術館
2-28	白山 松哉	四君子蒔絵文台・料紙箱・硯箱			清水三年坂美術館
2-29	白山 松哉	羽根蒔絵香合			清水三年坂美術館
2-30	白山 松哉	羽根蒔絵茶器			
2-31	芝山 政由	桐鳳凰図提筆筒			清水三年坂美術館
2-32	無銘	花鳥図飾壺			清水三年坂美術館
陶磁					
2-33	7代錦光山 宗兵衛	薩摩武人図花瓶			
2-34	成瀬 誠志	上絵金彩昆虫唐子図碗			岐阜県現代陶芸美術館
2-35	成瀬 誠志	上絵金彩人物図花瓶(一対)			岐阜県現代陶芸美術館
2-36	成瀬 誠志	上絵金彩妖怪図蓋物			岐阜県現代陶芸美術館
2-37	無銘	栗置物			清水三年坂美術館
木彫・牙彫					
2-38	泉 亮之	蛇纏髑髏			
2-39	旭 玉山	家鴨図文庫			清水三年坂美術館
2-40	高村 光雲	白衣観音像			
2-41	石川 光明	文殊菩薩図手箱			清水三年坂美術館
2-42	石川 光明	文殊菩薩像			清水三年坂美術館
2-43	石川 光明	鳩に美人			清水三年坂美術館
2-44	米原 雲海	竹取翁			
2-45	米原 雲海	月			
2-46	安藤 緑山	柿			清水三年坂美術館
2-47	安藤 緑山	松竹梅			清水三年坂美術館
2-48	安藤 緑山	無花果			清水三年坂美術館
2-49	安藤 緑山	貝尽			清水三年坂美術館
2-50	安藤 緑山	鉢植牡丹			
2-51	無銘	鳩の親子			

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵先
刺繍絵画					
2-52	無銘	尾長鶏図屏風			清水三年坂美術館
2-56	無銘	架鷹図 4図			清水三年坂美術館
2-57	無銘	親子鷹図屏風			清水三年坂美術館
2-58	12代西村 總 左衛門	狸犬図			清水三年坂美術館
2-59	無銘	虎図			
2-60	円山 応挙	虎図			

信濃毎日新聞創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃 -小布施・諏訪・松本-

モネやゴッホ、ゴッディンなど世界的画家を魅了し、ヨーロッパでジャポニスムという現象を生み出すなど、欧米の芸術家に強い影響を与えた巨匠・葛飾北斎について、信濃の視点からその画業を見直そうと企画した展覧会。

「富嶽三十六景」全46図をはじめとする錦絵の各揃物（「百物語」や「諸国瀧廻り」、「諸国名橋奇覧」、「千絵の海」など）や貴重な摺物、美人画や花鳥画など数多の肉筆作品の名品を通じて北斎画業の全貌を紹介しながら、北斎芸術の代表作である上町及び東町祭屋台天井絵や岩松院の天井絵「鳳凰図」関連作品等によって晩年の小布施時代を概観し、更に数少ない信州の風景として幾たびも描かれた諏訪湖と諏訪高島藩の家老・千野兵庫の肖像画から北斎と諏訪の関係を考察、また、北斎の高弟・抱亭五清が終の棲家として居を定めた松本地域における絵師としての足跡を紐解くことで、北斎にとって信濃とは何であったのかを探る展覧内容とした。

- 会期 令和5年7月1日(土)から8月27日(日) (49日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室1・2・3)
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団
[共催]長野県教育委員会、信越放送
[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、NHK長野放送局
[特別協力]北斎館、すみだ北斎美術館、日本浮世絵博物館、諏訪市博物館、岩松院、NTT ArtTechnology、アルステクネ
[監修]安村敏信(北斎館館長)
- 観覧料 一般1,600(1,500)円、中学生及び高校生800(700)円、小学生以下無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般2,100円、大学生及び75歳以上1,900円
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 37,565人(有料:30,876人 無料:6,689人)
- 図録(主要目次)
葛飾北斎ゆかりの信濃(安村敏信)
第1章 北斎と小布施
第2章 北斎と諏訪
第3章 北斎と松本
- イベント 記念講演会/講師:安村敏信(北斎館館長、本展監修者)/日時:7月29日(土)13:30~15:00/場所:ホール/参加人数:63人
- 担当学芸員 上沢修、茂原奈保子、佐々木裕貴子



No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	判形/形状	サイズ(cm)	所蔵
第1章 北斎と小布施								
1				上町祭屋台	弘化2年(1845)	二階建屋台	H484.0×W240.0×D385.5	小布施町上町自治会
2			葛飾北斎	上町祭屋台天井絵「女浪」図	弘化2年(1845)	桐板着色	118.2×118.0	小布施町上町自治会
3			葛飾北斎	東町祭屋台天井絵「鳳凰」図	天保15年(1844)	桐板着色	123.0×126.5	小布施町東町自治会
4			葛飾北斎	岩松院天井絵原図(下絵)「鳳凰図(通称・八方睨み鳳凰図)」	弘化3年(1846)頃	紙本着色一幅	38.5×52.0	岩松院
5			葛飾北斎	岩松院天井絵線描下絵「鳳凰図(通称・八方睨み鳳凰図)」	弘化3年(1846)頃	紙本墨画淡彩	38.9×49.3	個人蔵
6				岩松院本堂天井絵「鳳凰図(通称・八方睨み鳳凰図)」原寸大高精細複製原図	令和4年(2022)	紙、高品位三次元質感画像処理技術(DTIP)を用いたインクジェット出力	514.4×618.3	NTT ArtTechnology・アルステクネ
7			葛飾北斎	蛤売り図	寛政9~10年(1797~98)	紙本淡彩一幅	94.3×27.9	すみだ北斎美術館
8			葛飾北斎	千鳥の玉川図	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	紙本着色一幅	123.0×42.0	すみだ北斎美術館
9			葛飾北斎	調布の玉川	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	紙本着色一幅	126.5×44.0	北斎館
10			葛飾北斎	萩の玉川図	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	紙本淡彩一幅	122.8×42.5	板橋区立美術館
11			葛飾北斎	井手の玉川	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	紙本着色一幅	100.9×41.4	千葉市美術館
12			葛飾北斎	三島の玉川	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	紙本着色一幅	88.2×41.0	北斎館
13			葛飾北斎	富士図	寛政(1789~1801)末~享和年間(1801~04)頃	絹本墨画淡彩一幅	29.4×53.7	財団法人 日本浮世絵博物館
14			葛飾北斎	魚介図	享和(1801~04)初期	絹本着色一幅	66.2×32.7	すみだ北斎美術館
15			葛飾北斎	上山喜兵衛像	享和3年(1803)	絹本着色一幅	94.7×31.5	北斎館
16			葛飾北斎	二美人	享和3~4年(1803~04)	絹本着色一幅	76.5×41.2	北斎館
17			葛飾北斎	柳下傘持美人	享和年間(1801~04)	絹本着色一幅	84.3×25.4	北斎館
18			葛飾北斎	養老の孝子図	享和年間(1801~04)~文化(1804~18)初年頃	絹本着色一幅	95.0×29.0	財団法人 日本浮世絵博物館
19			葛飾北斎	ほととぎす聞く遊君図	文化(1804~18)初期	紙本淡彩一幅	88.7×27.6	すみだ北斎美術館
20			葛飾北斎	富嶽図	文化(1804~18)初期	紙本墨画一幅	96.0×32.1	財団法人 日本浮世絵博物館
21			葛飾北斎	隅田川兩岸景色図巻	文化2年(1805)	紙本着色一巻	28.5×716.0	すみだ北斎美術館
22			葛飾北斎	醉余美人図	文化4年(1807)頃	絹本着色一幅	26.5×32.3	(公財)氏家浮世絵コレクション(鎌倉国宝館内)
23			葛飾北斎	韓信の股ぐり	文化(1804~18)前期	絹本着色一幅	93.0×33.6	すみだ北斎美術館
24			葛飾北斎・抱亭北齋(五清)・葛飾北周・北亀・葛斎・北鷹	六歌仙図	文化2~7年(1805~10)頃	紙本淡彩一幅	52.0×80.7	個人蔵
25			葛飾北斎	鯨鱈図	文化(1804~18)中期頃	絹本着色一幅	35.4×56.1	すみだ北斎美術館
26			葛飾北斎	布袋図	文化(1804~18)中期	絹本着色一幅	115.2×29.7	すみだ北斎美術館
27			葛飾北斎	双河豚に大根飾り図	文化8~文政元年(1811~18)頃	紙本着色一幅	81.5×28.5	個人蔵
28			葛飾北斎	獅子図	文政(1818~30)末~天保(1830~44)初年頃	絹本墨画淡彩一幅	46.2×69.5	財団法人 日本浮世絵博物館
29			葛飾北斎	寒山拾得図	文政(1818~30)末~天保(1830~44)初期頃	絹本着色一幅	33.0×52.2	すみだ北斎美術館
30			葛飾北斎	貴人と官女図	天保10年(1839)	絹本着色一幅	35.4×60.7	すみだ北斎美術館
31			葛飾北斎	桜に鶯図	天保14年(1843)	絹本着色一幅	97.2×45.7	(公財)氏家浮世絵コレクション(鎌倉国宝館内)
32			葛飾北斎	雪中張飛図	天保14年(1843)	絹本着色一幅	132.6×43.9	(公財)氏家浮世絵コレクション(鎌倉国宝館内)
33			葛飾北斎	日本神話鳥生みの図	天保15(弘化元)年(1844)	紙本着色一幅	94.0×32.4	個人蔵
34			葛飾北斎	風神図	天保15(弘化元)年(1844)	紙本着色一幅	89.6×28.5	個人蔵
35			葛飾北斎	松に富士	弘化4年(1847)	絹本着色一幅	28.7×37.6	個人蔵
36			葛飾北斎	月兎図	弘化4年(1847)	紙本着色一幅	82.6×28.2	個人蔵
37			葛飾北斎	菊図	弘化4年(1847)	紙本着色双幅	各95.5×31.4	北斎館
38			葛飾北斎	弘法大師修法図	弘化年間(1844~48)	紙本着色一幅	153.0×240.0	西新井大師總持寺
39			葛飾北斎	富士越龍	嘉永2年(1849)	絹本着色一幅	95.8×36.2	北斎館
40			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 初段鶴ヶ岡	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		すみだ北斎美術館
41			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第三段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
42			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第四段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
43			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第五段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
44			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第七段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
45			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第八段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		すみだ北斎美術館
46			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第九段目	享和(1801~04)末~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	判形/形状	サイズ(cm)	所蔵
47			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第十段目	享和(1801~04)末 ~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
48			葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目	享和(1801~04)末 ~文化(1804~18)初期頃	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
49			葛飾北斎	ぎやうとくはまよりのほとひかたをのぞむ	文化(1804~18)初期	中判錦絵		名古屋市博物館
50			葛飾北斎	よつや十二そう	文化(1804~18)初期	中判錦絵		名古屋市博物館
51			葛飾北斎	おしをくりはとうつうせんのはつ	文化(1804~18)初期	中判錦絵		名古屋市博物館
52			葛飾北斎	賀奈川沖本奎之図	文化(1804~18)初期	間判錦絵		すみだ北斎美術館
53			葛飾北斎	賀奈川沖本奎之図	文化(1804~18)初期以降	間判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
54			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 袋	文化年間(1804~18)			財団法人 日本浮世絵博物館
55			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 日本橋	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
56			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 吉原	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
57			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 不忍	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
58			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 高縄	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
59			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 両国	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
60			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 観音	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
61			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 堺町	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
62			葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 駿河町	文化年間(1804~18)	小判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
63			葛飾北斎	謎かけ戯画集 囲炉裏端	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
64			葛飾北斎	謎かけ戯画集 茶碗拍子	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
65			葛飾北斎	謎かけ戯画集 雷	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
66			葛飾北斎	謎かけ戯画集 鑄かけ	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
67			葛飾北斎	謎かけ戯画集 唐辛子	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
68			葛飾北斎	謎かけ戯画集 五合徳利	文化12年(1815)頃	小判錦絵		メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
69			葛飾北斎	木曾路名所一覽	文政2年(1819)	大々判錦絵		すみだ北斎美術館
70			葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
71			葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	天保2年(1831)前後	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
72			葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
73			葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	天保2年(1831)前後	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
74			葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
75			葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	天保2年(1831)前後	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
76			葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
77			葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
78			葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
79			葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
80			葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
81			葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
82			葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿臺	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
83			葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿臺	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
84			葛飾北斎	富嶽三十六景 青山圓座委	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
85			葛飾北斎	富嶽三十六景 青山圓座委	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
86			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
87			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
88			葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
89			葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
90			葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅艸本願寺	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
91			葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅艸本願寺	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
92			葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
93			葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
94			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
95			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
96			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅澤左	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
97			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅澤左	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
98			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
99			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
100			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三島越	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
101			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三島越	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
102			葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
103			葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
104			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
105			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
106			葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	判形/形状	サイズ(cm)	所蔵
107			葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
108			葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
109			葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
110			葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
111			葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
112			葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ且	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
113			葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ且	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
114			葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
115			葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
116			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
117			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
118			葛飾北斎	富嶽三十六景 上總ノ海路	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
119			葛飾北斎	富嶽三十六景 上總ノ海路	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
120			葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
121			葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
122			葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
123			葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
124			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
125			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
126			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
127			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
128			葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川閼屋の里	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
129			葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川閼屋の里	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
130			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
131			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
132			葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より兩國橋夕陽見	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
133			葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より兩國橋夕陽見	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
134			葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝゐどう	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
135			葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝゐどう	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
136			葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
137			葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
138			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の鳶	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
139			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の鳶	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
140			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
141			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
142			葛飾北斎	富嶽三十六景 本所立川	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
143			葛飾北斎	富嶽三十六景 本所立川	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
144			葛飾北斎	富嶽三十六景 徒千住花街眺望ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
145			葛飾北斎	富嶽三十六景 徒千住花街眺望ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
146			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
147			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
148			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
149			葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
150			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
151			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
152			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
153			葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
154			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
155			葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
156			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
157			葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
158			葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
159			葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	天保2年(1831)前後	大判錦絵		北斎館
160			葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	天保2年(1831)前後	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
161			葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	天保2年(1831)前後	大判錦絵		東京富士美術館
162			葛飾北斎	百物語 さらやしき	天保2~3年(1831~32)頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
163			葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	天保2~3年(1831~32)頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
164			葛飾北斎	百物語 しうねん	天保2~3年(1831~32)頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
165			葛飾北斎	百物語 こはだ小平二	天保2~3年(1831~32)頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
166			葛飾北斎	百物語 お岩さん	天保2~3年(1831~32)頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
167			葛飾北斎	琉球八景 泉崎夜月	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
168			葛飾北斎	琉球八景 臨海湖声	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	判形/形状	サイズ(cm)	所蔵
169			葛飾北斎	琉球八景 糸村竹籬	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
170			葛飾北斎	琉球八景 龍洞松濤	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
171			葛飾北斎	琉球八景 筍崖夕照	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
172			葛飾北斎	琉球八景 長虹秋霽	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
173			葛飾北斎	琉球八景 城嶽壺泉	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
174			葛飾北斎	琉球八景 中島蕉園	天保3年(1832)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
175			葛飾北斎	千絵の海 總州銚子	天保(1830~44)初期頃	中判錦絵		千葉市美術館
176			葛飾北斎	千絵の海 総州利根川	天保(1830~44)初期頃	中判錦絵		千葉市美術館
177			葛飾北斎	千絵の海 相州浦賀	天保(1830~44)初期頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
178			葛飾北斎	千絵の海 甲州火振	天保(1830~44)初期頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
179			葛飾北斎	千絵の海 絹川はちふせ	天保(1830~44)初期頃	中判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
180			葛飾北斎	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝	天保4年(1833)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
181			葛飾北斎	諸国瀧廻り 東都葵ヶ岡の滝	天保4年(1833)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
182			葛飾北斎	諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧	天保4年(1833)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
183			葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	天保4年(1833)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
184			葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿彌陀ヶ瀧	天保4年(1833)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
185			葛飾北斎	諸国瀧廻り 美濃ノ国養老の滝	天保4年(1833)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
186			葛飾北斎	諸国瀧廻り 東海道坂ノ下清滝くわんおん	天保4年(1833)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
187			葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	天保4年(1833)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
188			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	天保5年(1834)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
189			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
190			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かめんど天神たいこばし	天保5年(1834)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
191			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古園	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
192			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
193			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	天保5年(1834)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
194			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 めちぜんふくみの橋	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
195			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 山城あらし山吐月橋	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
196			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 攝州天満橋	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
197			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山	天保5年(1834)頃	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
198			葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	天保5年(1834)頃	大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
199			葛飾北斎	詩写写真鏡 在原業平	天保(1830~44)前期	長大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
200			葛飾北斎	詩写写真鏡 春道のつらき	天保(1830~44)前期	長大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
201			葛飾北斎	詩写写真鏡 伯楽天	天保(1830~44)前期	長大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
202			葛飾北斎	詩写写真鏡 清少納言	天保(1830~44)前期	長大判錦絵		公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
203			葛飾北斎	紫陽花に燕	天保初期(1833~34)	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
204			葛飾北斎	牡丹に蝶	天保初期(1833~34)	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
205			葛飾北斎	菊に虻	天保初期(1833~34)	大判錦絵		財団法人 日本浮世絵博物館
206			葛飾北斎	芥子	天保初期(1833~34)	大判錦絵		すみだ北斎美術館
207			葛飾北斎	亀	天保5年(1834)頃	長大判錦絵		すみだ北斎美術館
208			葛飾北斎	金時酒宴	寛政8~10年(1796~98)	摺物		北斎館
209			葛飾北斎	巳待	寛政9年(1797)	摺物		すみだ北斎美術館
210			葛飾北斎	黒頭中の二美人	寛政10年(1798)	摺物		北斎館
211			葛飾北斎	あやとり	寛政10年(1798)	摺物		北斎館
212			葛飾北斎	高砂島台	寛政10年(1798)	摺物		北斎館
213			葛飾北斎	舟に橋	寛政10年(1798)	摺物		北斎館
214			葛飾北斎	庭先の二美人	寛政11年(1799)	摺物		北斎館
215			葛飾北斎	舟から降りる深川芸者	寛政11年(1799)	摺物		北斎館
216			葛飾北斎	糸まき	寛政後期(1795~1801)	摺物		北斎館
217			葛飾北斎	神功皇后と武内宿禰	享和2年(1802)	摺物		北斎館
218			葛飾北斎	休茶屋	文化元年(1804)頃	摺物		すみだ北斎美術館
219			葛飾北斎	遠眼鏡	文化6年(1809)	摺物		北斎館
220			葛飾北斎	唐人笛を持つ美人	文化(1804~18)中期頃	摺物		すみだ北斎美術館
221			葛飾北斎	煙草入れに暦図	文化3年(1806)	摺物		名古屋市博物館
222			葛飾北斎	『春の曙』	寛政8年(1796)	折本一帖	17.2×19.2	北斎館

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	判形/形状	サイズ(cm)	所蔵
223			葛飾北斎	『東遊』	寛政11年(1799)	大本一冊	26.4×18.0	北斎館
224			葛飾北斎	『三国伝來記』	享和年間(1801~04) ~文化(1804~18)初期頃	小本一帖	12.5×8.4	すみだ北斎美術館
225			葛飾北斎	『北斎漫画』	文化11~明治11年(1814 ~1878)	半紙本十五冊	各26.4×18.0	北斎館
226			葛飾北斎	『富嶽百景』	天保5年(1834)・天保6年 (1835)・刊年未詳	半紙本三冊	各22.6×15.7	北斎館
227			葛飾北斎	『釈迦御一代記図会』	弘化2年(1845)	大本六冊	各約24.0×16.0	すみだ北斎美術館
第2章 北斎と諏訪								
228			葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		すみだ北斎美術館
229			葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	天保2年(1831)前後	大判錦絵		東京富士美術館
230			葛飾北斎	『北斎漫画』十編 信州諏訪湖水渡	文政2年(1819)	半紙本一冊	約24.0×16.0	すみだ北斎美術館
231			河村岬雪	『百富士』四 塩尻峠	明和4年(1767)頃	大本一冊	約26.5×19.0	すみだ北斎美術館
232			葛飾北斎	『富嶽百景』二編 信州八ヶ嶽の不二	天保6年(1835)	半紙本一冊	約24.0×16.0	すみだ北斎美術館
233			葛飾北斎	千野兵庫肖像	文化7~9年(1810~12)	絹本着色一幅	68.2×48.0	個人蔵
234			北原年清	千野貞亮・貞慎・松花園肖像	幕末~明治	絹本着色一幅	126.0×50.5	諏訪市博物館寄託
235				高島藩士分限帳	宝暦3年(1753)	紙本墨書横帳	13.5×39.8	諏訪市博物館
236				御家中分限帳	安永9年(1780)	紙本墨書横帳	15.2×21.2	諏訪市博物館
237				諏訪忠厚宛行状	明和2年(1765)	紙本墨書一紙	46.5×65.0	諏訪市博物館寄託
238				諏訪忠厚宛行状添目錄	明和2年(1765)	紙本墨書巻紙	32.0×609.9	諏訪市博物館寄託
239				千野兵庫書状	年代未詳	紙本墨書一紙		諏訪市博物館寄託
240				宇多川高右衛門書状写	年代未詳	紙本墨書巻紙	13.0×95.5	諏訪市博物館寄託
241				口上覚	天明元年(1781)	紙本墨書一紙	28.0×38.2	諏訪市博物館寄託
242				千野兵庫宛諏訪軍次郎書状	天明2年(1782)	紙本墨書巻紙	16.5×103.0	諏訪市博物館寄託
243				御自筆写	年代未詳	紙本墨書巻紙	13.5×128.8	諏訪市博物館
244				奸人御裁許御書付之写	天明3年(1783)	紙本墨書巻紙	26.7×17.1	諏訪市博物館
245				奸人御裁許に付被仰付られ御書付之写	天明3年(1783)	紙本墨書巻紙	26.5×17.0	諏訪市博物館
246				『諏訪頭正録』	天明3年(1783)頃	紙本墨書写本四冊	各25.5×16.3	諏訪市博物館寄託
247			中沢光信	巫女活け花園	明治9年(1876)	絵馬額装一面	71.7×87.5	すみだ北斎美術館
第3章 北斎と松本								
248			抱亭五清	藻魚図	文化(1804~18)前・中期	絹本淡彩一幅	94.2×54.2	千葉市美術館
249			抱亭五清	鯉魚遊泳図	文化~天保年間(1804 ~44)頃	紙本淡彩一幅	40.1×49.7	すみだ北斎美術館
250			抱亭五清	母子図	文化(1804~1818)末 ~文政(1818~1830)初頭	絹本着色一幅	99.5×34.0	北斎館
251			抱亭五清	砧打ちの母子	文化~文政年間(1804 ~30)頃	絹本着色一幅	78.2×31.1	すみだ北斎美術館
252			抱亭五清	菊花を活ける美人図	文政初年頃(1818~20)	絹本着色一幅	94.0×41.7	個人蔵
253			抱亭五清	花籠と美人図	年代未詳	絹本着色一幅	92.0×32.6	財団法人 日本浮世絵博物館
254			抱亭五清	粧い美人図	文政(1818~30)末 ~天保(1830~44)前期頃	絹本着色一幅	105.0×35.0	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団
255			抱亭五清	汐汲図	文政(1818~30)末 ~天保(1830~44)前期頃	絹本着色一幅	79.7×31.3	すみだ北斎美術館
256			抱亭五清	六歌仙図	文化末(1810~18)頃	絹本着色双幅	各94.0×40.5	個人蔵
257			抱亭五清	美人と花籠図	文政(1818~30)末 ~天保(1830~44)前期頃	絹本着色一幅	77.0×33.6	すみだ北斎美術館
258			抱亭五清	菖蒲持つ美人図	年代未詳	紙本着色一幅	82.5×27.9	財団法人 日本浮世絵博物館
259			抱亭五清	潮干狩	文化7~天保6年(1810~35)	絹本着色一幅	111.8×79.7	北斎館
260			抱亭五清	遊女立姿図	年代未詳	紙本着色一幅	68.0×27.2	財団法人 日本浮世絵博物館
261			抱亭五清	神功皇后と武内宿禰図絵馬	文政8年(1825)	板地着色	87.0×121.0	深志神社
262			抱亭五清	蛸狩二美人図	文政3年(1820)	絹本着色一幅	95.7×37.5	板橋区立美術館
263			抱亭五清	美人立姿図	文政年間(1818~30)	絹本着色一幅	85.5×30.4	公益財団法人 川崎・砂子の里資料館
264			抱亭五清	三味線を持つ美人図	文政~天保年間(1818 ~44)	絹本着色一幅	97.3×37.4	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団
265			北齋齋弘探	潮干狩之図	天保2年(1831)	板地着色	77.0×159.0	会田御厨神明宮
266			北齋齋弘探	紙本着色釈迦涅槃図	天保13年(1842)	紙本着色一幅	136.0×103.5	
267			抱亭五清	懐中鏡の美人	文化5年(1808)	摺物		すみだ北斎美術館
268			抱亭五清	東都名物合 隅田川	文化8~9年(1811~12)頃	摺物		千葉市美術館
269			抱亭五清	諸芸つくり 碁	文化8~10年(1811~13)	摺物		千葉市美術館
270			抱亭五清	裁縫道具	年代未詳	摺物		すみだ北斎美術館
271			抱亭五清	梅に鶯	年代未詳	摺物		すみだ北斎美術館
272			抱亭五清	『市川白猿 追善数珠親玉』	文化4年(1807)	中本一冊	約18.5×12.5	すみだ北斎美術館
273			抱亭五清	『孝子嫩物語』	文化5年(1808)	半紙本五冊	各約24.0×16.0	すみだ北斎美術館
274			抱亭五清	『狂歌評判記』	文化8年(1811)	横本一冊	10.8×15.4	すみだ北斎美術館
275			抱亭五清	『狂歌画像作者部類』下巻	文化8年(1811)	大本一冊	約25.0×17.5	すみだ北斎美術館
276			抱亭五清	『自讃狂歌集』	文化8年(1811)	半紙本一冊	約22.0×16.0	すみだ北斎美術館
277			抱亭五清	『堀河次郎百首題狂歌集』下	文化9年(1812)	半紙本一冊	約23.0×16.0	すみだ北斎美術館
278			抱亭五清	『狂歌年中行事』	文化年間(1804~18)	半紙本二冊	各約24.0×16.0	すみだ北斎美術館

とびたつとき—池田満寿夫とデモクラートの作家

長野で青年期を過ごしたマルチ・アーティスト、池田満寿夫。1997年に亡くなって四半世紀が経った今日、彼の版画作品がどれほどまでに世界で評価され、また芸術家としての道をどれほど情熱的に歩んだか、改めて問いかけた展覧会。長野から上京し、デモクラート美術家協会に参加した1950年代から、ヴェネチア・ビエンナーレで版画部門国際大賞を受賞した1960年代中頃までの池田の作品を軸に、池田が交流をもち、また影響を受けた瑛九、鬚驅、泉茂らデモクラートの作家たちの作品により、当時世界を席卷した日本の版画を、開催各館の所蔵品を中心に振り返り、その意義を再考した。

- 会期 令和5年9月9日(土)から11月5日(日) (51日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室1・2・3)
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館
[共催]長野県教育委員会
[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
[協力]広島市現代美術館、和歌山県立近代美術館
- 観覧料 一般800(700)円、大学生及び75歳以上600(500)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般1,300円、大学生及び75歳以上900円
※()内は20名以上の団体料金

- 入館者数 8,835人(有料:4,796人 無料:4,039人)
- 図録(主要目次)
 - 開かれた版画様式の成立—池田満寿夫とデモクラート(松本透)
 - 「デモクラート美術家協会」断想—「大阪の美術界」とのかかわりから(山野英嗣)
 - 瑛九の〈自由〉と〈とびたつとき〉(寺口淳治)
 - 図版(I.デモクラートとの出会い II.起点としての瑛九 III.夜明けまえ IV.それぞれのとびたつとき V.池田満寿夫 とびたつとき)
 - 池田満寿夫 最初の瞬間—グループ「実在者」の頃—(木内真由美)
 - 創造美育とデモクラート(小野佳奈)
 - 黎明の予感—池田満寿夫が見た田中恭吉と『月映』(井上芳子)
 - 「西洋のナニワバシ」と「高度な遊戯」—池田満寿夫の豆本と「とびたつとき」(古家満葉)
 - アメリカにおける池田満寿夫の作品受容と西洋・日本的なるものとの関係—1960年代中盤の動向から—(池田淳史)
 - 翼を与える人—池田満寿夫と久保貞次郎の交流から(伊藤伸子)

- イベント
 - ①講演会「版画との出会い—池田満寿夫さんの思い出」/講師:山本容子(銅版画家)/日時:9月10日(日)14:00~15:30/場所:ホール/参加人数:21人
 - ②対談「同級生が語る満寿夫像」/登壇者:荒井一章(不忍画廊会長、長野高校OB)、木内真由美(長野県伊那文化会館学芸主幹)/日時:9月30日(土)13:30~15:00/場所:レセプションルーム/参加人数:42人
 - ③おとなアートラボ/講師:青山由貴枝(当館学芸専門員)/日時:10月9日(月・祝)13:30~16:30/場所:レセプションルーム/参加人数:11人
 - ④担当学芸員によるギャラリートーク/日時:10月15日(日)14:00~14:30/場所:展示室1・2・3/参加人数:15人

■担当学芸員 池田淳史、堀千晶

Moments to Fly Up
Ikeda Masuo and the Demokrato Artists

とびたつとき

池田満寿夫とデモクラートの作家

2023
9/9(土) — 11/5(日)

長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

開館時間:9:00~17:00(展示室入場は16:30まで) 休館日:水曜日
会場:長野県立美術館 展示室1・2・3
観覧料:一般800(700)円、大学生及び75歳以上600(500)円
※学生割引・高齢者割引・障がい者割引・団体割引あり
※障がい者同伴料:1人100円(要申請) ※障がい者同伴料:1人100円(要申請)
※障がい者同伴料:1人100円(要申請) ※障がい者同伴料:1人100円(要申請)
主催:長野県、長野県立美術館
共催:長野県教育委員会、協力:広島市現代美術館、和歌山県立近代美術館
後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ



No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
I デモクラートとの出会い 1950-1956					
I-1	加藤正	空ろなる真昼(王国)	1951	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
I-2	加藤正	朝	1953	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-3	加藤正	閉された季節	1953	エッチング/紙	個人蔵
I-4	加藤正	愛しあっている二人は殺された (ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)	1953	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-5	加藤正	第2回「デモクラート美術展」ポスター	1953	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-6	幾嘸	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953	油彩、グワッシュ/ボール紙	和歌山県立近代美術館
I-7	泉茂	昇天	1953	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-8	泉茂	ブラッククリスマス	1953	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-9	泉茂	浮遊	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-10	泉茂	走れメロス	1954-1958	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-11	泉茂	深夜のセロ弾き	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-12	泉茂	回想の幼年期	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-13	泉茂	かざぐるま夜話	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-14	泉茂	廃人	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-15	泉茂	さまよえるオランダ人	1954	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-16	泉茂	リンゴ物語	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-17	泉茂	待機	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-18	泉茂	ノースモーキング	1954	エッチング、アクアチント/紙	和歌山県立近代美術館
I-19	利根山光人	うたごえ	1954	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-20	利根山光人	舞台の人	1954	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-21	幾嘸	現代の恋人	1954	油彩/板	広島市現代美術館
I-22	幾嘸	現代人	1954	油彩/板	広島市現代美術館
I-23	幾嘸	鉄骨とクレーンと人と	1954	油彩/板	和歌山県立近代美術館
I-24	幾嘸	雲と鉄骨の男	1954-1955	エッチング/紙	個人蔵
I-25	幾嘸	雲のかけ	1955	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-26	幾嘸	倦怠	1955	油彩/板	個人蔵
I-27	幾嘸	雲と太陽	1955	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-28	幾嘸	田園に横たわる人々	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-29	幾嘸	田園	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-30	幾嘸	ネクタイの男	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-31	幾嘸	女(1)	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-32	池田満寿夫	作品	1954	油彩/キャンバス	広島市現代美術館
I-33	池田満寿夫	骨を持つ人(C)	1955	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
I-34	池田満寿夫	退屈な時間	1955	油彩/キャンバス	広島市現代美術館
I-35	池田満寿夫	真昼の人々	1955	油彩/キャンバス	長野県立美術館
I-36	泉茂	目	1955	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
I-37	泉茂	太陽の家族	1955	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-38	泉茂	上海帰りのリル	1955	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-39	泉茂	タイマー	1955	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-40	泉茂	ささやかな不安	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-41	泉茂	少年	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-42	泉茂	インディアン	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-43	利根山光人	17	1955	リトグラフ/紙	個人蔵
I-44	利根山光人	黒の人物	1955	リトグラフ/紙	個人蔵
I-45	利根山光人	ドラマ	1955	リトグラフ/紙	個人蔵
I-46	利根山光人	蛾	1955	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-47	利根山光人	いれずみ	1956	油彩/キャンバス	広島市現代美術館
I-48	利根山光人	射場風景A	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-49	利根山光人	弾道	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-50	船井裕	顔	1955	木版/紙	和歌山県立近代美術館
I-51	船井裕	エスキス	1955	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-52	船井裕	夜	1956	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-53	船井裕	小さなデモン	1956	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-54	船井裕	花を守る人々	1956	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
I-55	池田満寿夫	アフリカの女	1956	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
I-56	池田満寿夫	原始の太陽	1956	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
I-57	池田満寿夫	影	1956	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
I-58	磯辺行久	古代の顔(B)	1955	リトグラフ/紙	個人蔵
I-59	磯辺行久	パイロットの夢	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-60	磯辺行久	危険な探索	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-61	磯辺行久	コンポジション	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-62	吉原英雄	はじらい	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-63	吉原英雄	夜明け	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-64	吉原英雄	ひまわり	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-65	吉原英雄	華	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-66	吉原英雄	フェニックス	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-67	吉原英雄	ヴィーナス誕生	1956	リトグラフ/紙	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
I-68	吉原英雄	たわむれ	1956	油彩/板	和歌山県立近代美術館
I-69	吉原英雄	トランペット	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-70	吉原英雄	鳥人	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-71	吉原英雄	水族館	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-72	吉原英雄	キリキリ舞 b	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-73	吉原英雄	赤い風景	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
I-74	吉原英雄	木の中の鳥	1956-1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
I-75	吉原英雄	火の鳥	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
参考出品	池田満寿夫	洞くつの歌	1956	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	目のある部屋	1956	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
II 起点としての瑛九 1950-1957					
II-1	瑛九	犬と女	1950	ゼラチン・シルバー・プリント/紙	和歌山県立近代美術館
II-2	瑛九	愛撫	1951	ゼラチン・シルバー・プリント/紙	和歌山県立近代美術館
II-3	瑛九	眼	1951	エッチング/紙	個人蔵
II-4	瑛九	ヴァイオリン	1952	エッチング/紙	個人蔵
II-5	瑛九	散歩	1952	エッチング/紙	個人蔵
II-6	瑛九	背中合わせ	1952	エッチング/紙	個人蔵
II-7	瑛九	ゴーストアップ	1953	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
II-8	瑛九	母	1953	エッチング/紙	個人蔵
II-9	瑛九	人魚の恋	1953	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
II-10	瑛九	小さな人魚	1954	エッチング/紙	個人蔵
II-11	瑛九	鳥と動物	1955	エッチング/紙	個人蔵
II-12	瑛九	自転車	1956	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
II-13	瑛九	裏庭	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-14	瑛九	木の上	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-15	瑛九	丘	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-16	瑛九	テーブルの上	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-17	瑛九	蟻のあしあと	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-18	瑛九	いたずら	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-19	瑛九	街の灯	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-20	瑛九	リンゴの木	1956	リトグラフ/紙	個人蔵
II-21	瑛九	林の会話	1956	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-22	瑛九	夜の白	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-23	瑛九	鳥のピアノ	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-24	瑛九	鳥のソナタ	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-25	瑛九	森の中	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-26	瑛九	四人	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-27	瑛九	シグナル	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-28	瑛九	渡り鳥	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-29	瑛九	赤い鳥	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-30	瑛九	ふるさとの木	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
II-31	瑛九	小鳥の誘い	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-32	瑛九	春のおとずれ	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-33	瑛九	ベリカン	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-34	瑛九	指	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-35	瑛九	雲	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-36	瑛九	拡声器[墨刷]	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-37	瑛九	旅人	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-38	瑛九	旅人[墨刷]	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
II-39	瑛九	[失題]	1957	ステンシル/板	個人蔵
III 夜明けまえ 1957					
III-1	利根山光人	子供のいる風景	1956-1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-2	泉茂	セレナード	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-3	泉茂	Japanese Folk Dance	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-4	泉茂	闘鶏	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-5	泉茂	漂流	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-6	泉茂	雷蝶	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-7	泉茂	しゃも	1957	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
III-8	加藤正	夜の記憶	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-9	加藤正	風の塔	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-10	加藤正	風が止まった	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-11	加藤正	街に夕陽が落ちる	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-12	幾嘸	[失題]	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-13	幾嘸	群集(灰色)	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-14	幾嘸	鉄骨	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-15	幾嘸	中間子炉	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-16	幾嘸	鉄骨・ウィンチ・2人	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-17	幾嘸	ジャイアンツ	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-18	幾嘸	サド侯爵	1957	リトグラフ/紙	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
III-19	幾嘸	アダムとイヴ	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-20	幾嘸	ラブ・スネーク	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-21	幾嘸	鉄骨と雲	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-22	幾嘸	緑の雲	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-23	幾嘸	アンフォルメールNo.91	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-24	吉原英雄	陽気な魚(パンクキンフィッシュ)	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-25	吉原英雄	火の鳥	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-26	吉原英雄	花粉	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-27	吉原英雄	いやな野郎	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-28	吉原英雄	サキソフォン	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-29	吉原英雄	アラビアンナイト	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-30	吉原英雄	赤い実	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-31	吉原英雄	白い花	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-32	吉原英雄	潜水 A	1957	リトグラフ/紙	個人蔵
III-33	船井裕	CHILD & SPELL	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-34	船井裕	鳥寄せ	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-35	池田満寿夫	作品	1957	油彩/キャンバス	広島市現代美術館
III-36	池田満寿夫	朝の光	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-37	池田満寿夫	海の音楽家	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-38	池田満寿夫	作品	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-39	池田満寿夫	白い岩石	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-40	池田満寿夫	古代人	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-41	池田満寿夫	赤の中の鳥	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-42	池田満寿夫	小さな喜び	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-43	池田満寿夫	埋葬	1957	エッチング/紙	長野県立美術館
III-44	池田満寿夫	風景としての花嫁	1957	エッチング/紙	長野県立美術館
III-45	池田満寿夫	夜明けの窓	1957	ドライポイント/紙	長野県立美術館
III-46	池田満寿夫	月に吠える	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-47	池田満寿夫	表面A	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
III-48	磯辺行久	鳥	1957	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
III-49	磯辺行久	作品	1957	油彩/板	広島市現代美術館
参考出品	池田満寿夫	太陽と女	1957	エッチング、アクアチント/紙	長野県立美術館
IV それぞれのときとつとき 1958-1966					
IV-1	利根山光人	シグナル	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-2	利根山光人	ドーム	1959	油彩/キャンバス	広島市現代美術館
IV-3	泉茂	七面鳥	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-4	泉茂	対決	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-5	泉茂	春	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-6	泉茂	難民	1959	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-7	泉茂	池	1960	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-8	泉茂	そよ風	1960	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
IV-9	泉茂	層	1961	エッチング/紙	和歌山県立近代美術館
IV-10	泉茂	BS5013	1963	油彩/キャンバス	和歌山県立近代美術館
IV-11	泉茂	流れ	1965	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-12	加藤正	都市の残光	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-13	加藤正	聖者が街にやって来た	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-14	加藤正	ヘバイストの人形	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-15	幾嘸	コニーアイランド	1960	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-16	幾嘸	地下鉄	1960	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-17	幾嘸	Animated Rainbow. What's in a Jump?	1966	シルクスクリーン/紙	和歌山県立近代美術館
IV-18	吉原英雄	赤い花	1958	リトグラフ/紙	個人蔵
IV-19	吉原英雄	ボンゴのおどり	1959	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-20	吉原英雄	リトグラフ・レッド	1962	リトグラフ、コラグラフ、エンボス/紙	和歌山県立近代美術館
IV-21	吉原英雄	リトグラフ・グレー・グリーン	1962	リトグラフ、コラグラフ、エンボス/紙	和歌山県立近代美術館
IV-22	吉原英雄	リトグラフ・ブラック	1962	リトグラフ、コラグラフ/紙	個人蔵
IV-23	吉原英雄	作品 No. 7	1963	油彩/板	個人蔵
IV-24	吉原英雄	オレンジ・イエロー 2	1964	リトグラフ/紙	個人蔵
IV-25	吉原英雄	ブルー 1	1964	リトグラフ/紙	個人蔵
IV-26	吉原英雄	出会い 3	1964	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-27	吉原英雄	出来事	1966	リトグラフ、ドライポイント/紙	個人蔵
IV-28	吉原英雄	出来事 II	1966	リトグラフ、ドライポイント/紙	和歌山県立近代美術館
IV-29	吉原英雄	カーニバル	1966	リトグラフ、ドライポイント/紙	個人蔵
IV-30	吉原英雄	北北西	1966	リトグラフ、ドライポイント/紙	個人蔵
IV-31	船井裕	CHILD & SPELL	1958	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-32	船井裕	化石	1959	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-33	船井裕	夜	1961	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-34	船井裕	Something Always Happens	1963	油彩、コンテ、コラージュ/キャンバス、板	和歌山県立近代美術館
IV-35	船井裕	ANGLE	1966	リトグラフ、エンボス/紙	和歌山県立近代美術館
IV-36	磯辺行久	夜通し歩くこと	1959	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
IV-37	磯辺行久	無題	1960	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-38	磯辺行久	無題	1961	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
IV-39	磯辺行久	WORK 62-12	1962	油彩、紙、大理石粉、塗料/木	和歌山県立近代美術館
IV-40	磯辺行久	ワッペン	1964	エンボス/紙	和歌山県立近代美術館
IV-41	磯辺行久	ワッペン	1965	リトグラフ/紙	和歌山県立近代美術館
V 池田満寿夫 とびたつとき 1958-1966					
V-1	池田満寿夫	案内状のためのデザイン	1958	レリーフエッチング/紙	長野県立美術館
V-2	池田満寿夫	私の処女	1958	アクアチント、エッチング/紙	長野県立美術館
V-3	池田満寿夫	坐った娘	1960	ドライポイント/紙	長野県立美術館
V-4	池田満寿夫	女・動物たち	1960	ドライポイント、アクアチント/紙	長野県立美術館
V-5	池田満寿夫	女	1960	ドライポイント、アクアチント/紙	長野県立美術館
V-6	池田満寿夫	女	1961	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-7	池田満寿夫	室内の女	1961	ドライポイント、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-8	池田満寿夫	退屈な朝	1961	ドライポイント、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-9	池田満寿夫	女王	1961	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-10	池田満寿夫	瞳の中の星	1961	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-11	池田満寿夫	子供のいのり	1961	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-12	池田満寿夫	Tの肖像	1961	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-13	池田満寿夫	草むらの中	1962	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-14	池田満寿夫	女・五月	1962	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-15	池田満寿夫	赤いセーターの女	1962	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-16	池田満寿夫	S字型のヘビ	1962	ドライポイント、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-17	池田満寿夫	急ぐ人	1962	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-18	池田満寿夫	日光浴する貴婦人たち	1962	ドライポイント、アクアチント、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-19	池田満寿夫	二人の天使	1962	ドライポイント、ルーレット、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-20	池田満寿夫	出を待つ天使	1962	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-21	池田満寿夫	水曜日犬の散歩	1962	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-22	池田満寿夫	動物の婚礼	1962	ドライポイント、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-23	池田満寿夫	金曜日は雨	1962	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-24	池田満寿夫	小さな沼たち	1963	ドライポイント、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-25	池田満寿夫	大きな沼その他の沼	1963	ドライポイント、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-26	池田満寿夫	生徒の名はイヴ	1963	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-27	池田満寿夫	婚礼の準備	1963	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-28	池田満寿夫	恋人がやってくる	1963	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-29	池田満寿夫	昆虫採集	1963	ドライポイント、ルーレット、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-30	池田満寿夫	日付のない日	1963	ドライポイント、ルーレット、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-31	池田満寿夫	タエコの朝食	1963	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-32	池田満寿夫	自画像	1964	ドライポイント/紙	長野県立美術館
V-33	池田満寿夫	私をみつめる私	1964	ドライポイント、ルーレット/紙	広島市現代美術館
V-34	池田満寿夫	静物	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-35	池田満寿夫	鏡の前の女	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-36	池田満寿夫	花嫁	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	広島市現代美術館
V-37	池田満寿夫	夏1	1964	ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-38	池田満寿夫	私は何も食べたくない	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
V-39	池田満寿夫	アダムとイヴ(捕らえられたイヴ)	1964	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-40	池田満寿夫	聖なる手1	1965	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-41	池田満寿夫	海のスカート	1965	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-42	池田満寿夫	花をもつ少女	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-43	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-44	池田満寿夫	ロマンチックな風景	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-45	池田満寿夫	みつめる天使	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-46	池田満寿夫	姉妹たち	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-47	池田満寿夫	花園にて	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
V-48	池田満寿夫	夏の夢	1966	ドライポイント、ルーレット、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-49	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-50	池田満寿夫	バラはバラ	1966	ドライポイント、ルーレット、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-51	池田満寿夫	Spring and Springs	1966	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
V-52	池田満寿夫	青い椅子	1966	ドライポイント、ルーレット、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-53	池田満寿夫	愛の瞬間	1966	ドライポイント、ルーレット、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-54	池田満寿夫	ある種の関係	1966	ドライポイント、ルーレット、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-55	池田満寿夫	Something 1	1966	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-56	池田満寿夫	欲望の原理(赤)	1966	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-57	池田満寿夫	手の意味	1966	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、エングレービング/紙	長野県立美術館
V-58	池田満寿夫	最初のドローイング	1966	リトグラフ/紙	長野県立美術館
V-59	池田満寿夫	開いたブラウス	1966	リトグラフ/紙	長野県立美術館
V-60	池田満寿夫	閉ざされた夜のために	1966	リトグラフ/紙(3枚組)	広島市現代美術館
V-61	池田満寿夫	アメリカの女	1966	リトグラフ/紙	長野県立美術館
V-62	池田満寿夫	秘められた年	1966	リトグラフ/紙	長野県立美術館
V-63	池田満寿夫	窓からの眺め C	1966	リトグラフ/紙	長野県立美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
V-64	池田満寿夫	ブダベストからの自画像	1968	リトグラフ/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	女の肖像	1960	ドライポイント、アクアチント/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	花嫁の領地	1962	ドライポイント、エッチング、雁皮刷/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	戸口へ急ぐ貴婦人たち	1963	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	化粧する女	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	夏2	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	受胎告知	1964	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	青い衣装	1965	ドライポイント、ルーレット/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	楽園に死す	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	天使のいる風景	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	ヴォーグから来た女	1966	ドライポイント、ルーレット、エッチング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	Something 2	1966	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、エングレーヴィング/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	ホット・ハット	1970	ドライポイント、エッチング、メゾチント、アクアチント、ルーレット/紙	長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	《ホット・ハット》原版 A	1971		長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	《ホット・ハット》原版 B	1971		長野県立美術館
参考出品	池田満寿夫	《ホット・ハット》銅版画制作のための用具			長野県立美術館

春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

本展は、1922（大正11）年に設立された美術団体である春陽会の誕生100年を記念する展覧会であり、名実ともに洋画界を代表する第3の団体となった春陽会で活躍した画家たちの動向や、日本の近代美術史における春陽会の意義を再考した。岸田劉生や萬鐵五郎、木村莊八、長谷川潔、中川一政、岡鹿之助など、草創期から1950年代頃にかけて活躍した画家の作品を中心に、信州との深いつながりにも目を配り、約200点の名品を紹介した。

■会期 令和6年3月16日（土）から5月12日（日）（50日間）
■会場 長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等 [主催]長野県、長野県立美術館
[共催]長野県教育委員会、一般社団法人 春陽会、日本経済新聞社
[特別協力]東京国立近代美術館
[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ

■観覧料 一般800（700）円、大学生及び75歳以上600（500）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般1,300円、大学生及び75歳以上900円
※（ ）内は20名以上の団体料金

■入館者数 8,211人（有料：5,827人 無料：2,384人）

■図録（主要目次）

春陽会誕生への序奏（木本文平）
春陽会の戦後——その「近代化」をめぐる（松本透）
春陽会のDNA（入江観）
図版（第1章、始動：第3の洋画団体誕生 第2章、展開：それぞれの日本、それぞれの道 第3章、独創：不穏のなかで 第4章、展望：巨星たちと新たな流れ）
中川一政が見た木村莊八——異質な二人（田中晴子）
戦前期の春陽会の「日本人の絵画」への志向——同時代の批評から（木村理恵子）
長野における春陽会の研究会活動——鹿苑会を磁場として（鈴木幸野）
「愛美社」から「中部春陽会」へ——大澤鉦一郎の活躍について（田邊咲智）

■イベント

資料解説——手紙で瞥見、戦時中の春陽会（原田光）
①クロストーク1「春陽会と信州——鹿苑会を中心に」／登壇者：入江観（洋画家、春陽会第100回展記念事業実行委員長）、浦野吉人（洋画家、春陽会会員）、土方明司（川崎市岡本太郎美術館館長）、原田光（岩手県立美術館元館長）、松本透（前当館館長）、司会／鈴木幸野（当館学芸員）／日時：3月16日（土）14:00～15:00／場所：ホール／参加人数：40人
②担当学芸員によるギャラリートーク／日時：4月20日（土）14:00～／場所：展示室1・2・3／参加人数：15人
③クロストーク2「上田・小県洋画史と春陽会」／登壇者：小笠原正（上田市教育委員会事務局 生涯学習・文化財課 青少年係長、前上田市立美術館学芸員）、日向大季（東御市役所企画振興部 文化・スポーツ振興課 文化振興係長、前東御市梅野記念絵画館学芸員）、鈴木幸野・古家満葉（当館学芸員）／日時：4月27日（土）14:00～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：30人

■担当学芸員 鈴木幸野、古家満葉



春陽会誕生100年
それぞれの闘い
岸田劉生、
中川一政から
岡鹿之助へ

Artists of Shunyo-kai
Celebrating Its 100th Anniversary

2024.3.16 sat. - 5.12 sun.

※期間中、一部作品の展示替えを行います。
※1922年（大正11年）に設立された春陽会は、戦時中も活動を続け、戦後復興のシンボルとして活躍しました。
※本展は、春陽会が創立100周年を記念して開催される。この機会に、春陽会の歴史と活動について詳しく紹介します。

主催：長野県、長野県立美術館、共催：長野県教育委員会、一般社団法人 春陽会、日本経済新聞社、特別協力：東京国立近代美術館、後援：長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ

〒380-0801 長野県長野市南本1-4-4 電話：026-232-0032

長野県立美術館 Nagano Prefectural Art Museum



No.	前期	後期	作者名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵先
第1章 始動：第3の洋画団体誕生								
1-1-1			小杉放菴	双馬図	1925	油彩、カンヴァス	53.0×72.9	小杉放菴記念日光美術館
1-2-1			倉田白羊	冬の林檎畑	1923	油彩、カンヴァス	45.8×61.0	常楽寺美術館
1-2-2			倉田白羊	冬の林檎畑スケッチ	1923	紙本着色、墨	29.2×25.8	常楽寺美術館
1-2-3			倉田白羊	崖を負う家	1928	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	常楽寺美術館
1-3-1			山本鼎	自画像	1915	油彩、カンヴァス	80.3×60.6	上田市立美術館
1-3-2			山本鼎	独鈷山麓秋意	1926	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	上田市立美術館
1-5-3			萬鐵五郎	夕陽の砂丘	c.1923	水彩、鉛筆、紙	33.2×48.5	岩手県立美術館
1-6-1			石井鶴三	浴泉	1923	水彩、紙	36.2×56.7	松本市美術館
1-6-2			石井鶴三	浴女	1925	油彩、カンヴァス	44.8×32.7	碧南市藤井達吉現代美術館
1-6-3			石井鶴三	温泉	1926	油彩、カンヴァス	40.7×27.3	東京藝術大学
1-7-1			梅原龍三郎	カンヌ	1920	油彩、カンヴァス	46.5×55.5	東京国立近代美術館
1-7-2			梅原龍三郎	裸婦図	1921	油彩、カンヴァス	65.5×50.0	東京国立近代美術館
1-7-3			梅原龍三郎	臥裸婦図	1924	油彩、カンヴァス	45.5×60.5	茨城県近代美術館
1-7-4			梅原龍三郎	榛名湖	1924	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	個人蔵
1-8-1			足立源一郎	チュールップ	1917/20	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	京都国立近代美術館
1-8-2			足立源一郎	ヴェランダ	1926	油彩、カンヴァス	54.3×65.5	京都国立近代美術館
1-9-1			田中善之助	ハリの女	1920-22	油彩、カンヴァス	60.5×50.0	千葉県立美術館
1-10-1			岸田劉生	童女飾髪之図	1921	紙本墨画着色	142.8×37.2	碧南市藤井達吉現代美術館
1-10-2			岸田劉生	鯉坊主	1922	油彩、板	41.1×31.5	豊田市美術館
1-10-4			岸田劉生	白狗図	1923	絹本着色	33.4×42.6	福島県立美術館(河野保雄コレクション)
1-10-5			岸田劉生	籠中脂香	1923	油彩、カンヴァス	32.1×33.5	茨城県近代美術館
1-10-7			岸田劉生	竹籠含春	1923	油彩、カンヴァス	36.5×44.0	個人蔵
1-10-8			岸田劉生	童女図(麗子立像)	1923	油彩、カンヴァス	53.3×45.7	神奈川県立近代美術館
1-10-9			岸田劉生	芝居絵(大安寺堤)	1923	油彩、板	24.0×33.0	京都国立近代美術館
1-10-10			岸田劉生	少年肖像(村上巖氏十七歳)	1925	油彩、カンヴァス	40.6×31.5	宇都宮美術館
1-10-11			岸田劉生	近藤医学博士之像	1925	油彩、カンヴァス	45.8×37.7	神奈川県立近代美術館
1-11-1			今関啓司	水辺初夏(一松村)	1922	油彩、カンヴァス	37.9×45.5	茂原市立美術館・郷土資料館
1-12-1			木村荘八	くもり日の新緑	1915	油彩、カンヴァス	39.5×52.5	個人蔵
1-12-4			木村荘八	お七槽に登る	1924	油彩、板	25.9×17.6	宮城県美術館
1-13-1			中川一政	静物	1924	油彩、カンヴァス	23.5×32.4	豊橋市美術博物館
1-14-1			小穴隆一	黄色い着物	c.1920	油彩、カンヴァス	91.0×65.4	個人蔵(小杉放菴記念日光美術館寄託)
1-15-1			河野通勢	琴棋書画之図	1923	油彩、板	51.4×39.5	碧南市藤井達吉現代美術館
1-15-2			河野通勢	芝居図	1923	油彩、カンヴァス	26.0×39.5	府中市美術館
1-15-3			河野通勢	此度震災所見図(本所瓦町)	1923	エッチング、紙	8.9×12.0	長野県立美術館
1-15-4			河野通勢	被服廠	1923	エッチング、紙	9.0×12.0	長野県立美術館
1-15-5			河野通勢	秋色競艶	1923	エッチング、紙	23.8×25.8	長野県立美術館
1-16-1			林倭衛	室内	1923	油彩、カンヴァス	91.1×72.7	愛知県美術館
1-17-1			山崎省三	川べり	1925	油彩、カンヴァス	32.0×40.9	横須賀美術館
1-18-1			椿貞雄	冬瓜図	1925	油彩、カンヴァス	50.6×60.6	豊橋市美術博物館
1-18-2			椿貞雄	新緑	1925	油彩、カンヴァス	49.0×41.3	千葉県美術館
1-19-1			横堀角次郎	静物	c.1922	油彩、板	30.5×23.8	群馬県立近代美術館
1-19-2			横堀角次郎	川べり	c.1923	油彩、カンヴァス	31.7×40.9	群馬県立近代美術館
1-20-1			南城一夫	鯛の静物	1927	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	群馬県立近代美術館
1-22-1			三岸好太郎	少女	1924	油彩、カンヴァス	33.3×24.2	個人蔵
1-23-1			三岸節子	自画像	1925	油彩、カンヴァス	30.5×22.0	一宮市三岸節子記念美術館
第2章 展開：それぞれの日本、それぞれの道								
2-1-1			小杉放菴	母子採果	c.1926	油彩、カンヴァス	116.0×90.3	小杉放菴記念日光美術館
2-1-2			小杉放菴	羅摩物語	1928	油彩、カンヴァス	169.0×126.5	東京国立近代美術館
2-2-1			森田恒友	葛飾野	1930	絹本墨画淡彩	34.3×57.5	福島県立美術館
2-2-3			森田恒友	水郷図(冬)	c.1932	紙本墨画淡彩	41.5×93.5	埼玉県立近代美術館
2-2-4			森田恒友	尾瀬沼	1932	油彩、カンヴァス	59.0×79.0	熊谷市立熊谷図書館
2-3-1			山本鼎	浅間山秋の朝	1929	油彩、カンヴァス	36.0×43.5	上田市立美術館
2-5-3			萬鐵五郎	曇りの日の砂丘	c.1922	紙本墨画	46.6×59.6	岩手県立美術館
2-5-5			萬鐵五郎	荒れ模様	1923	油彩、カンヴァス	30.5×40.0	練馬区立美術館
2-5-6			萬鐵五郎	宙腰の人	1924	油彩、カンヴァス	41.2×27.2	平塚市美術館
2-5-7			萬鐵五郎	羅布かつづく人	1925	油彩、カンヴァス	117.0×80.5	岩手県立美術館
2-5-8			萬鐵五郎	裸婦(ほお杖の人)	1926	油彩、カンヴァス	117.0×80.0	東京国立近代美術館
2-6-1			長谷川昇	すわる男	1915-35	油彩、カンヴァス	45.4×33.4	個人蔵(福島県立美術館寄託)
2-6-2			長谷川昇	裸婦	1928	油彩、カンヴァス	45.5×37.9	福島県立美術館
2-6-3			長谷川昇	レビューの女(習作)	c.1931	油彩、カンヴァス	91.5×43.5	個人蔵
2-7-1			石井鶴三	浴女	1929	油彩、カンヴァス	60.4×45.3	東京藝術大学
2-8-1			小林和作	薔薇咲くカプリ島	1928	油彩、カンヴァス	61.0×72.7	愛知県美術館

No.	前期	後期	作者名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵先	
2-9-2			木村荘八	私のラバさん	1934	油彩、カンヴァス	72.3×90.5	愛知県美術館	
2-10-1			大澤鉦一郎	少女海水浴	1932	油彩、カンヴァス	96.9×145.4	愛知県美術館	
2-11-1			青山義雄	風景	1929	油彩、カンヴァス	90.9×116.7	神奈川県立近代美術館	
2-12-1			林俊衛	或る詩人の肖像(辻潤氏像)	1932	油彩、カンヴァス	90.5×65.5	長野県立美術館	
2-13-1			椿貞雄	朝子像	1927	油彩、カンヴァス	41.0×32.0	平塚市美術館	
2-14-1			小山敬三	アルカンタラの橋	1926	油彩、カンヴァス	118.0×81.0	神奈川県立近代美術館	
2-15-1			鬼頭堯二郎	風景	1925	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	名古屋市美術館	
2-16-1			横堀角次郎	帝大構内	1929	油彩、板	16.0×22.7	東京ステーションギャラリー	
2-17-1			水谷清	南欧風景	c.1930	油彩、カンヴァス	72.6×90.7	岐阜県美術館	
2-18-1			宮脇晴	少女立像	1932	油彩、カンヴァス	92.0×65.0	豊田市美術館	
2-18-2			宮脇晴	家族	1951	油彩、カンヴァス	72.7×100.0	豊田市美術館	
2-19-1			三岸好太郎	少年道化	1929	油彩、カンヴァス	78.0×63.0	東京国立近代美術館	
2-20-1			森田勝	裸婦	c.1929	油彩、カンヴァス	55.0×46.0	神奈川県立近代美術館	
第3章 独創：不穏のなかで									
3-1-1			小杉放菴	松下人	1935	紙本着色	149.5×164.0	栃木県立美術館	
3-2-1			今関啓司	山中早春(東金)	1942	油彩、カンヴァス	73.0×100.0	茂原市立美術館・郷土資料館	
3-3-1			木村荘八	川岸夜(明治一代女)	c.1936	絹本着色	24.7×37.0	東京ステーションギャラリー	
3-3-2			木村荘八	戦争ヲ作ル	1938	ペン、水彩、紙	22.8×32.5	東京藝術大学	
3-3-5			木村荘八	銀座みゆき通り	1958	油彩、カンヴァス	39.5×30.3	東京ステーションギャラリー	
3-4-1			鳥海青児	信州の島(一)	1936	油彩、カンヴァス	80.8×117.0	東京都現代美術館	
3-4-2			鳥海青児	水田	1936	油彩、カンヴァス	89.8×145.9	平塚市美術館	
3-4-3			鳥海青児	セリス(B)	1937	油彩、カンヴァス	53.0×41.0	平塚市美術館	
3-5-1			倉田三郎	梅雨期の根川沿い	1934	油彩、カンヴァス	53.2×72.8	多摩信用金庫	
3-5-2			倉田三郎	春陽会構図	1937	油彩、カンヴァス	130.4×161.8	たましん地域文化財団	
3-6-1			原精一	胡弓	1942	油彩、カンヴァス	65.0×53.0	個人蔵	
3-7-1			中谷泰	横向きの肖像	1939	油彩、カンヴァス	90.2×60.2	三重県立美術館	
3-7-2			中谷泰	春雪	1962	油彩、カンヴァス	97.0×145.5	日本共産党中央委員会	
3-8-3			石井鶴三	吉川英治著「宮本武蔵」 山の木・鉢の木(5)	空の巻45 1938年2月25日	墨、紙	22.3×33.3	茨城県近代美術館	
3-8-6			石井鶴三	吉川英治著「宮本武蔵」 心形無業(3)	空の巻169 1938年7月20日	墨、紙	22.3×33.3	茨城県近代美術館	
3-8-9			石井鶴三	吉川英治著「宮本武蔵」 奔牛(4)	円明の巻318 1939年1月11日	墨、紙	22.3×33.3	茨城県近代美術館	
3-8-14			石井鶴三	吉川英治著「宮本武蔵」 魚歌水心(1)	円明の巻1005 1939年7月1日	墨、紙	22.3×33.3	茨城県近代美術館	
3-9-1			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵1	1937	墨、インク、水彩、胡粉、紙	19.1×27.8	東京国立近代美術館
3-9-2			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵2	1937	鉛筆、墨、コンテ、紙	18.2×28.3	東京国立近代美術館
3-9-5			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵5	1937	墨、インク、水彩、胡粉、紙	15.7×21.5	東京国立近代美術館
3-9-6			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵6	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	15.7×21.5	東京国立近代美術館
3-9-9			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵9	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	17.8×28.2	東京国立近代美術館
3-9-10			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵10	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、厚紙	9.2×12.9	東京国立近代美術館
3-9-13			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵13	1937	インク、紙	18.5×27.8	東京国立近代美術館
3-9-14			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵14	1937	墨、インク、水彩、コンテ、紙	16.6×21.8	東京国立近代美術館
3-9-17			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵18	1937	墨、インク、水彩、コンテ、厚紙	12.2×16.6	東京国立近代美術館
3-9-18			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵19	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	16.2×28.2	東京国立近代美術館
3-9-21			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵22	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、厚紙	11.7×16.0	東京国立近代美術館
3-9-22			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵23	1937	墨、水彩、コンテ、胡粉、紙	18.1×23.3	東京国立近代美術館
3-9-25			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵26	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	16.0×28.2	東京国立近代美術館
3-9-26			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵27	1937	墨、インク、紙	15.7×21.5	東京国立近代美術館
3-9-29			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵30	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	18.1×28.4	東京国立近代美術館
3-9-30			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵31	1937	墨、インク、水彩、コンテ、胡粉、紙	18.1×28.4	東京国立近代美術館
3-9-33			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵34	1937	墨、インク、水彩、トレーシング・ペーパー	10.8×15.1	東京国立近代美術館
3-9-34			木村荘八	永井荷風著「墨東綺譚」	挿絵35のための 下絵	1937	墨、インク、紙	21.8×28.6	東京国立近代美術館
3-10-4			中川一政	尾崎士郎著「人生劇場」8	1939～	紙本墨彩着色	26.5×35.6	真鶴町立中川一政美術館	
3-10-5			中川一政	尾崎士郎著「人生劇場」10	1939～	紙本墨彩着色	26.5×35.6	真鶴町立中川一政美術館	
3-10-10			中川一政	尾崎士郎著「人生劇場」31	1939～	紙本墨彩着色	26.5×35.6	真鶴町立中川一政美術館	
3-10-13			中川一政	尾崎士郎著「人生劇場」44	1939～	紙本墨彩着色	26.5×35.6	真鶴町立中川一政美術館	
3-11-1			長谷川潔	小さな金魚鉢	1928	ポアント・セッシュ、紙	26.3×20.2	碧南市藤井達吉現代美術館	

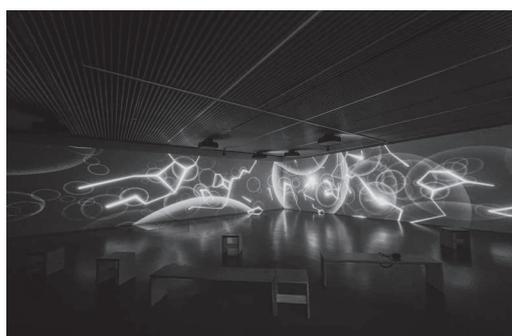
No.	前期	後期	作者名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵先
3-11-2			長谷川潔	アレクサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930	マニエール・ノワール、紙	16.9×30.0	碧南市藤井達吉現代美術館
3-11-3			長谷川潔	裸婦	1936	ビュラン、紙	26.0×16.8	碧南市藤井達吉現代美術館
3-11-4			長谷川潔	小さなアネモネ	1939	アクアタント、ヴェルニ・ムー、紙	19.5×14.7	碧南市藤井達吉現代美術館
3-11-5			長谷川潔	窓辺卓子	1954-55	マニエール・ノワール、紙	33.7×27.3	碧南市藤井達吉現代美術館
3-11-6			長谷川潔	飼いならされた小鳥(西洋将棋など)	1962	マニエール・ノワール、紙	36.0×26.7	碧南市藤井達吉現代美術館
3-12-3			古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 豊年万作	1933	木板、紙	24.8×34.7	栃木県立美術館
3-12-7			古川龍生	昆虫戯画卷 争鬪篇 群虫密議	1933	木板、紙	24.8×34.7	栃木県立美術館
3-13-2			前田藤四郎	装飾窓	1931	リノカット、紙	20.0×25.0	大阪中之島美術館
3-13-3			前田藤四郎	ラグビー	1936	リノカット、写真凸版、紙	43.5×31.0	大阪中之島美術館
3-13-4			前田藤四郎	紅型	1939	リノカット、紙	44.0×31.0	大阪中之島美術館
3-13-5			前田藤四郎	紅型	1942	リノカット、紙	30.5×43.0	大阪中之島美術館
第4章 展望：巨星たちと新たな流れ								
4-1-1			アントニン・レーモンド	題不詳[コンポジション]	1959	パステル、アクリル、紙	36.7×83.9	レーモンド設計事務所
4-1-2			撮影者不詳	資料写真[東京都美術館の春陽展会場で展示設営するアントニン・レーモンド]	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.5×13.5	レーモンド設計事務所
4-2-1			中川一政	女優像	1941	油彩、カンヴァス	72.5×50.7	真鶴町立中川一政美術館
4-2-2			中川一政	少年顔	1951	油彩、カンヴァス	39.5×31.5	真鶴町立中川一政美術館
4-2-3			中川一政	駒ヶ岳	1973	油彩、カンヴァス	112.1×145.5	真鶴町立中川一政美術館
4-2-4			中川一政	向日葵	1982	油彩、カンヴァス	100.0×80.3	真鶴町立中川一政美術館
4-3-2			岡鹿之助	窓	1949	油彩、カンヴァス	72.0×90.0	愛知県美術館
4-3-3			岡鹿之助	観測所	1951	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	静岡県立美術館
4-3-4			岡鹿之助	山麓	1957	油彩、カンヴァス	65.0×80.0	京都国立近代美術館
4-3-5			岡鹿之助	群落(A)	1962	油彩、カンヴァス	66.0×91.5	東京国立近代美術館
4-3-6			岡鹿之助	段丘	1978	油彩、カンヴァス	80.5×65.0	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)
4-5-1			加山四郎	室内	1956	油彩、カンヴァス	96.5×130.5	神奈川県立近代美術館
4-6-1			小川マリ	静物A	1956	油彩、カンヴァス	60.4×72.6	栃木県立美術館
4-7-1			水谷清	絵を描く女	1953	油彩、カンヴァス	79.0×137.0	岐阜県美術館
4-8-1			三雲祥之助	パリの審判	1957	油彩、カンヴァス	112.0×145.5	京都国立近代美術館
4-9-1			遠藤典太	麦田トンネル	1988	油彩、カンヴァス	80.9×100.4	横浜市民ギャラリー
4-10-1			本荘昶	山羊小屋	1950's	油彩、カンヴァス	60.6×91.0	個人蔵
4-11-1			魚津良吉	水郷	1956	油彩、カンヴァス	73.1×91.0	愛知県美術館
4-12-1			志村一男	静物(手水鉢)	1948	油彩、カンヴァス	36.7×44.5	諏訪市美術館
4-12-2			志村一男	すすき	1955	油彩、カンヴァス	91.0×72.8	諏訪市美術館
4-13-1			野村千春	土色の風景	1963	油彩、カンヴァス	91.0×72.7	諏訪市美術館
4-14-1			南大路一	植物(C)	1958	油彩、カンヴァス	116.7×91.3	世田谷美術館
4-15-1			杵掛利通	妙高山暮雪	不詳	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	個人蔵(青木村郷土美術館寄託)
4-15-2			杵掛利通	冬の独鈷山	1996	油彩、カンヴァス	72.7×100.0	個人蔵(青木村郷土美術館寄託)
4-17-1			藤井令太郎	アッカドの椅子(II)	1957	油彩、カンヴァス	130.7×162.5	神奈川県立近代美術館
4-17-2			藤井令太郎	室内	1970	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	長野県立美術館
4-19-1			田畔司朗	旗	1961	油彩、カンヴァス	130.3×162.0	神奈川県立近代美術館
4-20-1			宮城音蔵	船	1958	油彩、カンヴァス	65.2×100.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
4-21-1			田中岑	丘原	1956	油彩、カンヴァス	80.4×102.0	神奈川県立近代美術館
4-22-1			五味秀夫	紡蟲(A)	1955	油彩、カンヴァス	90.5×72.0	一般財団法人 川村文化振興財団
4-23-1			関頼武	失楽園	不詳	水彩、パステル、紙	72.0×84.0	株式会社 宇津路屋
4-24-1			清宮質文	夕やけ	1956	木版、紙	25.7×24.1	個人蔵
4-24-2			清宮質文	キリコ(カットグラス)	1959	木版、紙	22.2×27.4	横須賀美術館
4-24-3			清宮質文	ある空間(蝶)	1962	木版、紙	22.1×25.4	横須賀美術館
4-24-4			清宮質文	泳ぐ人	1969	木版、紙	18.9×30.6	横須賀美術館
4-24-5			清宮質文	九月の海辺	1970	木版、紙	13.3×23.3	横須賀美術館
4-25-1			北岡文雄	窓辺の静物	1951	木版(多色)、紙	45.5×35.0	町田市立国際版画美術館
4-25-3			北岡文雄	道路工事	1955	木版、紙	15.3×23.1	町田市立国際版画美術館
4-26-1			駒井哲郎	孤独な鳥	1948	メゾチント、ソフトグランド・エッチング、紙	12.2×8.4	世田谷美術館
4-26-3			駒井哲郎	東の間の幻影	1951	エッチング、紙	18.0×28.8	世田谷美術館
4-27-1			深沢幸雄	愛憎	1960	エッチング、ディーブ・エッチング、ソフトグランド・エッチング、ドライポイント、サルファチント、紙	35.9×33.0	神奈川県立近代美術館
4-27-2			深沢幸雄	生(2)	1962	エッチング、ディーブ・エッチング、ドライポイント、サルファチント、紙	35.9×33.0	神奈川県立近代美術館

第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 配置訓練 細井美裕+比嘉了

2021年の長野県立美術館のリニューアルオープンに伴い、新設された交流スペースで上映するための映像作品委託制作事業「新美術館みんなのアートプロジェクト」の後継事業「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」(以下、「第Ⅱ期事業」)の成果展示を行った。第Ⅱ期事業では長野県出身の阿部一直氏をキュレトリアル・アドバイザーとして招聘し、成果作品としてサウンドアーティストの細井美裕と、高度なプログラミングを駆使した映像制作を手掛ける比嘉了による新作《配置訓練》が制作された。本展では《配置訓練》とあわせて事業の背景を説明した関連資料の展示を行った。

- 会期 令和5年7月15日(土)から9月10日(日)(50日間)
- 会場 長野県立美術館(交流スペース及びオープンギャラリー)
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館
[協賛]株式会社ジェネレックジャパン、株式会社静科
[協力]キュレトリアル・アドバイザー:阿部一直、サウンドエンジニア:奥田泰次(studio MSR)
- 観覧料 無料
- 入館者数 3,465人
- イベント ①「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 配置訓練 細井美裕+比嘉了」関連イベント 細井美裕《起点》/日時:9月1日(金)から9月19日(火)9:00~17:00/場所:屋上広場「風テラス」
②長野灯明まつり関連上映イベント/日時:令和6年2月11日(金)17:30~20:00/場所:交流スペース/参加人数:1,642人
- 担当学芸員 松井正

No.	作者名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵先
1	細井美裕/比嘉了	配置訓練	2023	ビデオ、20分、ループ上映	
2	細井美裕	Fixation 5	2022	オーディオケーブル、スピーカー 60ch、再生基盤、グラスファイバーメッシュ、ワイヤー	Natasha Sidharta



公開制作 vol.3 蓮沼昌宏 制作、テーブル、道

公開制作は、現代美術作家が一定期間美術館に通い作品を制作する様子を公開し、完成した作品の展示を行う事業である。

今年度は絵画やキノラアニメーション、写真などの手法をもちいて制作を行う蓮沼昌宏（1981～、東京都生まれ、長野県内在住）を招聘した。これまで約20年間にわたり様々な展覧会やプロジェクトに参加し、その都度テーマに沿って作品を制作してきた作家の背景を踏まえ、本事業の期間中はあえてテーマを設けずに制作そのものに向き合うことにした。

制作期間中、蓮沼は足しげく美術館に通い、25日間かけて主に木材をもちいた制作に取り組んだ。この間は実験的な思索が続き、これまで未挑戦だった彫刻刀の彫りによる表現など、新たなアイデアを積極的に取り入れた。また、この期間中に「制作」をテーマにしたトークイベントを開催し、進行中の制作に反映させていった。なお、作家の制作スペースはガラス壁で仕切られており、来館者はガラス越しにその様子を見学した。

制作した作品は、お披露目の機会として期間を区切り、会場に展示した。作品はいつ、いかにして作品になるのか、また展覧会はどのように成立するかなど、作家ならびに美術館が日頃から向き合う課題を改めて検討する機会となった。また、制作期間から展示期間にかけて視覚的にダイナミックな変化が見られる取り組みであったため、作品制作の過程を来館者に分かりやすく伝える好機になった。

■会期 令和5年10月14日(土)から令和6年2月4日(日) (92日間)

制作期間：10月14日(土)から1月9日(火)

展示期間：1月11日(木)から2月4日(日)

■会場 長野県立美術館(オープンギャラリー)

■主催 長野県、長野県立美術館

■観覧料 無料

■入館者数 6,205人

■記録集(主要目次)

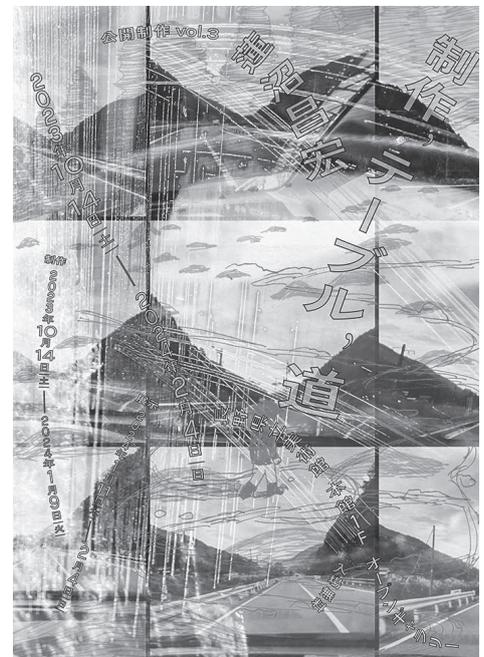
- ・ インスタレーションビュー(記録写真)
- ・ 制作期間(記録写真)
- ・ アーティストインタビュー
- ・ アーティストトーク01(抜粋)
- ・ アーティストトーク02(抜粋)

■イベント ①アーティストトーク01「写真と絵画」/登壇者：畠山直哉、蓮沼昌宏/日時：11月19日(日)14:30～16:00/場所：交流スペース/参加人数：21人

②アーティストトーク02「翻訳と絵画」/登壇者：林 立騎、蓮沼昌宏/日時：12月23日(土)14:30～16:00/場所：オープンギャラリー/参加人数：9人

③ワークショップ「つくる。こわす。またつくる。」/講師：蓮沼昌宏、蓮沼菜穂子/日時：2月4日(日)14:00～15:30/場所：交流スペース/参加人数：14人

■担当学芸員 茂原奈保子



No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
1	絵を置いたり乾かすためのテーブル	-	顔料、アクリル樹脂、木材	-
2	キノラ うこうれんらくせん	2016年	ステンレス、紙にインクジェットプリント	430ページ
3	キノラ ゆきみち	2015年	ステンレス、紙にインクジェットプリント	393ページ
4	キノラ アリのアニメ	2013年	ステンレス、紙にインクジェットプリント	421ページ
5	つくって、こわして、つくってのテーブル	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	-
6	つくって、こわして、つくってのテーブル	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	-
7	どうぞじん	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	40×24×9
8	幻灯版 さんけいまんだらのアニメーション2	2013年	虫眼鏡、キノラ、木材	398ページ
9	トンネルと雪のテーブル	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	178×96.5×7.5
10	雪のテーブルの道	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	60×56×6
11	山のテーブルの道	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	78×59×6
12	ワーブ	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	127×96.5×7
13	夜のテーブルの道	2023-24年	顔料、アクリル樹脂、板	75×57.5×6
14	幻灯版 もみじあし	2015年	虫眼鏡、キノラ、木材	429ページ



制作期間(撮影:平林岳志)



展示期間(撮影:平林岳志)



11月19日 アーティストトーク01



12月23日 アーティストトーク02



2月4日 ワークショップ

アートラボ2023第I期 中ハシクシゲ展 おしめの家族

今年度の第I期展覧会では、中ハシクシゲを紹介した。

中ハシは、アイマスクをつけ、自らの視覚を遮断した状態で記憶と手の感触のみをつかって、作品「おしめの家族」シリーズを制作した。中ハシの触覚を追体験すると同時に、視覚ではわからなかった素材の新しい肌触りを体験する機会を提供した。

- 会期 令和5年5月13日(土)から8月1日(火) (71日間)
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催 長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 6,480人
- 担当学芸員 青山由貴枝

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)	所蔵先
1	おしめの家族(車椅子犬)	2021	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、ステンレス鋼	40×80×40	長野県立美術館
2	おしめの家族(おねんね)	2021	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、シリコンシーラント(クリア)	20×60×75	長野県立美術館
3	おしめの家族(介護犬)	2021	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	25×60×50	長野県立美術館
4	Cat in the dark	1982	ブロンズ	41×30×65	作家蔵



photo by Shinichi Kanai

アートラボ2023第Ⅱ期 光島貴之展 かたちと手ざわりで行ったり来たり

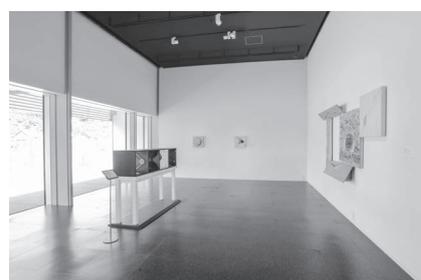
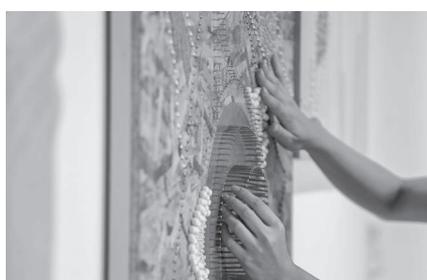
今年度の第Ⅱ期展覧会では、光島貴之を紹介した。

全盲の美術家である光島は、目だけではなく手でも鑑賞できる「さわる絵画」の制作を行っている。視覚に障がいのある人もそうでない人も、一緒に鑑賞することができるよう、光島が日常で感じた様々な感覚を素材の手触りや凹凸で表現する。視覚、触覚など様々な感覚をつかった鑑賞体験を来場者へ提供した。

- 会期 令和5年8月5日(土)から10月24日(火) (70日間)
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催 長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 6,390人
- イベント ①「光島さんとさわるアートをつくろう」/講師：光島貴之/日時：10月15日(日) 10:00～12:00/場所：交流スペース/参加人数：18人
②「光島さんと作品鑑賞会」/講師：光島貴之/日時：10月15日(日) 13:30～15:00/場所：アートラボ/参加人数：6人
- 担当学芸員 柄澤初音、青山由貴枝

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
1	かたちと手ざわりで行ったり来たり	2021	木製パネル、カッティングシート、釘、鋸、ピン	140×255×19
2	触覚でめぐる360度	2021	木製パネル、ミクストメディア	40×40×160
3	新しい点字ブロック(ショッピングモールでハンバーガー屋さんを見つける)	2021	木製パネル、ステンレス板、ベニヤ、布、スポンジゴム、釘、ピン	40×40×7.3
4	新しい点字ブロック(行きたい方角を足裏で感じる)	2021	木製パネル、ベニヤ、スポンジゴム、鋸	40×40×7.5
5	新しい点字ブロック(待ち合わせ場所)	2021	木製パネル、パイン集成材、釘、鋸、ガラス玉	40×40×10.5

※所蔵先 長野県立美術館



アートラボ2023第Ⅲ期 廣瀬智央 みかんの旅

今年度の第Ⅲ期展覧会では、廣瀬智央を紹介した。

本展では“嗅覚”という感覚に焦点をあてながら、現在、廣瀬が和歌山県紀南地方で取り組んでいる長期的なアート・プロジェクト「コモنز農園」を紹介した。みかんと感覚的な豊かさの再発見や新たな価値観を創出していかうとする「コモنز農園」のコンセプトや未来を予感させるインスタレーション、においを取り入れた彫刻作品を展示し、視覚だけに頼らないアートの可能性を提示した。

- 会期 令和5年11月3日(金・祝)から令和6年2月12日(月・振休) (82日間)
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催 長野県、長野県立美術館
- 協力 アウラ現代藝術振興財団、小山登美夫ギャラリー、和歌山県紀南みかん農園
- 観覧料 無料
- 入館者数 7,468人
- 関連企画 メールプロジェクト016
実施期間：11月3日(金・祝)から令和6年2月12日(月・振休)
／場所：アートラボ前／参加人数：62人
- イベント ①いちどためしてごらん(大人向けワークショップ)
／講師：廣瀬智央
日時：11月4日(土) 13:00～15:00／場所：交流スペース／参加人数：11人
日時：12月3日(日) 14:00～16:00／場所：交流スペース／参加人数：9人
②いちどためしてごらん(子供向けワークショップ)
／講師：廣瀬智央
日時：11月26日(日) 10:00～12:00／場所：交流スペース／参加人数：17人
日時：12月3日(日) 10:00～12:00／場所：交流スペース／参加人数：17人
③アーティストトーク／登壇者：金井直(信州大学人文学部教授)、廣瀬智央／日時：11月26日(日) 14:00～15:30／参加人数：22人
- 担当学芸員 青山由貴枝

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)	所蔵先
1	無題(みかんの旅)	2022	ハイクオリティーデジタルプリント	23×30	アウラ現代藝術振興財団
2	無題(みかんの家)	2022	木、みかん、みかん精油	180×68.5×41	作家蔵
3	無題(みかんの紙)	2022	摘果みかん、雁皮繊維、木、ボルト、ワイヤー	210×427×5	アウラ現代藝術振興財団
4	無題(みかんマンダラ)	2022	みかんの紙にペン	100×83.5	アウラ現代藝術振興財団
5	みかんコレクティブ プロローグ vol.1	2022	ビデオ	11分46秒	アウラ現代藝術振興財団
6	みかんバー	2023(2022)	パフォーマンス	-	作家蔵
7	無題(みかん)	2022	カラーラの白大理石、木	-	作家蔵
8	無題(みかんジュース)	2022	みかんジュース、木、みかんの収穫箱	120×140×90	作家蔵
9	無題(コモنز農園のためのスケッチ)	2023	マーカー	230×562	作家蔵
10	無題	2023	養生テープ、マスキングテープ、紙	27×2.5×2.5	作家蔵



アートラボ2023第Ⅳ期 金箱淳一展 たたく・つながる・ひびきあう

今年度の第Ⅳ期展覧会では、金箱淳一を紹介した。

金箱は視覚や聴覚に障がいのある人もそうでない人も一緒に遊ぶ／感じるができるよう、音を光や振動に変えて伝える「共遊楽器」(作家による造語)の開発を行っている。《Vibracion Banco》は、音と振動をテーマとしたベンチ型の打楽器作品であり、たたくことで音が鳴ると同時に振動で音を伝え合うことができる。振動を頼りに音を感じ、また楽器を鳴らすという楽しさが人と人を結び付ける。耳で聞くだけではない音楽のあり方を提示した。

- 会期 令和6年2月17日(土)から5月14日(火) (76日間)
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催 長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 2,379人
- 担当学芸員 山下樹里

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
1	Vibracion Banco	2021	木、振動スピーカー、アンプ、コンピューター、センサ	46.0×180.0×31.1、 45.2×179.8×30.9 (2点1組) 制作協力：川本楽器工房

※所蔵先 長野県立美術館



NAMコレクション2023 第I期

菱田春草、萩原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第I期では、冬から春への移り変わりにあわせて、美しい信州の春を描いた絵画をはじめ春をテーマにした作品群が並んだ。また、特集展示として、企画展「発見された日本の風景」(2月11日～4月9日)にあわせて収蔵品から優作を紹介。明治から昭和期に活躍した丸山晚霞の水彩画のほか、近代登山の普及に伴って描かれた山岳画などを紹介した。

- 会期 令和5年3月16日(木)から5月16日(火) (55日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 17,048人(有料:12,518人 無料:4,530人)
- イベント ギャラリートーク/日時:4月15日(土)14:00～14:30/参加人数:13人
- 担当学芸員 松井正



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
特集展示：発見された長野の風景					
1	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩、紙	60.4×58.2
2	川上冬崖	樹木図	不詳	水彩、紙	30.0×25.5
3	作者不詳	明治天皇巡幸図	不詳	石版、紙	46.5×70.0
4	作者不詳	「ザ・グラフィック」、1875年1月9日号	1875(明治8)年	新聞	62.3×41.8
5	鳥霞谷	婦女図	1865-68年(慶応年間)頃	油彩、布	50.9×39.2
6	岡村政子	鼓の少女	1890(明治23)年	石版、紙	42.0×32.5
7	岡村政子	笛吹く女	1890(明治23)年	石版、紙	48.3×27.3
8	浅井忠	グレー風景	1901(明治34)年	水彩、紙	24.1×33.4
9	丸山晚霞	初夏の志賀高原	1909(明治42)年頃	水彩、紙	67.0×101.0
10	林俊衛	出獄の日のO氏	1919(大正8)年	油彩、カンヴァス	45.5×38.0
11	大久保作次郎	諏訪湖雪景	1921(大正10)年	油彩、カンヴァス	72.8×91.0
12	宮坂勝	上高地林道	1928(昭和3)年	油彩、カンヴァス	61.1×72.2
13	藤島武二	春(杏花咲く村)	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	33.3×45.7
14	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938(昭和13)年	油彩、カンヴァス	53.7×69.0
15	石井柏亭	麦秋	1949(昭和24)年	油彩、カンヴァス	72.7×116.7
16	石井柏亭	画室小集	1949(昭和24)年	油彩、カンヴァス	110.7×160.8
17	辻永	安茂里の杏花	1951(昭和26)年	油彩、カンヴァス	50.0×65.5
18	石井柏亭	野尻湖	1954(昭和29)年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7
19	田辺至	早春の湖畔	1960(昭和35)年頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.3

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
NAMコレクションの春景					
20	児玉果亭	春花図	1881(明治14)年	紙本彩色	141.6×69.4
21	菱田春草／西郷孤月	春秋(春の野／湖畔の夕)	1901(明治34)年頃	絹本彩色	各107.0×36.5
22	西郷孤月／横山大観	春曙／春の朝	1901(明治34)年頃	絹本彩色	各82.7×35.3
23	菊池契月	媿(春寒)	1914(大正3)年	絹本彩色	140.0×70.0
24	佐野光徳	苗庭春日	1936(昭和11)年	紙本金地彩色	各 188.0×174.0
25	伊東深水	御代田の春	1948(昭和23)年	絹本彩色	60.0×72.0
26	登内微笑	霧立つ奥木曾の滝	1958(昭和33)年	絹本彩色	190.8×90.0
27	上地瑛一郎	春霞(御嶽山)	1989(平成元)年	紙本彩色	170.0×172.4
28	滝沢具幸	谿 I.II.III.	1996(平成8)年	紙本彩色	各215.0×142.0
特集展示：長野の風景に見る人々の営み					
29	吉田博	剣山の朝	1926(大正15)年	木版、紙	37.0×24.9
30	吉田博	駒ヶ岳岩小屋	1928(昭和3)年	木版、紙	24.7×37.6
31	笠松紫浪	温泉の朝(信州野沢)	1933(昭和8)年	木版、紙	36.3×24.2
32	笠松紫浪	信州白骨温泉	1935(昭和10)年	木版、紙	36.2×24.1
33	山口進	木曾駒ヶ岳馬の背	1963(昭和38)年	木版、紙	85.0×109.5
工芸に見る春の訪れ					
34	杉田禾堂	青銅花器	1955(昭和30)年	鍍金	高 22.0／径13.0
35	春原中道	栓拭漆箱	1997(平成9)年	木工	29.0×29.0×8.0
36	松井康成	晴白練上陶器	1989(平成元)年	陶器	13.6×22.7×16.1
37	松井康成	練上玻璃光壺「白露」	1997(平成9)年	陶器	高28.8／径31.2
38	松井康成	練上玻璃光大壺	2000(平成12)年	陶器	高39.4／径39.6
39	武田成功	春一葉	不詳	ガラス	35.2×18.7×16.0
写真家ハリー・K. シゲタの仕事					
40	ハリー・K. シゲタ	動	1930(昭和5)年	ゼラチンシルバープリント	35.0×42.8
41	ハリー・K. シゲタ	渦巻	1930(昭和5)年	ゼラチンシルバープリント	50.5×34.6
信州の現代作家たち					
42	渡辺文平	林	1979(昭和54)年	紙本彩色	162.0×112.0
43	倉島重友	道標	2011(平成23)年	紙本彩色	162.0×162.0
44	倉島重友	春の牧場	2015(平成27)年	紙本彩色	116.7×90.9

NAMコレクション2023 第Ⅱ期

菱田春草、萩原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅱ期では、今年で没後80年を迎える中村不折や、小諸市出身の小山敬三、上田市出身の林俊衛など、明治から大正にかけて洋行した美術家たちの作品を紹介した。また、同時期に開催された企画展「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」（4月22日～6月18日）、「葛飾北斎と3つの信濃－小布施・諏訪・松本－」（7月1日～8月27日）にちなんで、版元・絵師・彫師・摺師の分業体制の伝統を受け継いだ木版画である「新版画」の特集を行った。

- 会期 令和5年5月18日(木)から7月25日(火) (61日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 23,181人(有料:15,436人 無料:7,745人)
- イベント ギャラリートーク/日時:6月17日(土)14:00～14:30/参加人数:15人
- 担当学芸員 古家満葉



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
洋行した芸術家たち					
洋行以前					
1	川上冬崖	『西画指南 卷之上』	1871(明治4)年	木版、紙	22.5×15.0
2	川上冬崖	『西画指南 卷之下』	1871(明治4)年	木版、紙	22.5×15.0
3	川上冬崖旧蔵資料	『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』特別附録(Extra Supplement to The Illustrated London News)	1874(明治7)年10月10日	新聞	42.0×58.2
中村不折没後80年					
4	中村不折	裸婦立像	1903-1904(明治36-37)	油彩、カンヴァス	80.4×59.6
5	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)頃	油彩、カンヴァス	80.4×53.9
6	中村不折	『鉛筆画法』	1907(明治40)	発行:日本葉書會	
7	中村不折	『藝術解剖學』	第9版1920(大正9) (初版:1915年)	発行:日本美術學院	22.2×15.7
8	中村不折	『學書三訣』	1929(昭和4)	発行:西東書房	
9	北村四海(北村正信編)	『四海余滴』	1929(昭和4)	発行:日本美術學院	26.0cm
彫刻家の洋行					
10	北村四海	イヴ	1915(大正4)	大理石	H41.0×W33.4×D29.3
11	北村四海	婦人胸像	1916(大正5)	大理石	h 53.0×w33.0×d30.0
12	萩原礫山	女の胴	1907(明治40)	ブロンズ	h44.6×d26.4×w16.3
13	萩原礫山	坑夫	1907(明治40)	ブロンズ	h46.3×w45.2×d35.4
14	萩原礫山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	h. 98.0
大正期の洋行					
15	林俊衛	婦人像	1922(大正11)	油彩、カンヴァス・板	45.5×38.0
16	林俊衛	ネラバレエの農家	1921-26(大正10-15)	油彩、カンヴァス	38.0×45.5
17	林俊衛	裸婦	1925(大正14)	油彩、カンヴァス	80.3×65.2
18	林俊衛	南フランス風景	1928(昭和3)年	油彩、カンヴァス	65.1×90.9
19	中川紀元	猫と女	1921(大正10)年	油彩、カンヴァス	147.0×61.5
20	小山敬三	サン・フランソワ寺院内庭	1925(大正14)	油彩、カンヴァス	77.5×99.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
日本画家の洋行					
21	菊池契月	立女	1924(大正13)年	絹本彩色	154.5×170.5
22	菊池契月	庭の池	1919(大正8)年	絹本彩色(六曲一双屏風)	各179.1×377.8
23	赤羽雪邦	米国風景	1914(大正3)	絹本彩色	140.8×60.3
24	菱田春草・横山大観	春曙・秋夜	1907(明治40)年	絹本彩色 軸装(対幅)	各114.6×49.0
25	町田曲江	迦賦色迦王	1960(昭和35)年	絹本彩色	119.0×92.0
信濃デッサン館コレクションから～戸張孤雁について					
26	戸張孤雁	男の胴	1910(明治43)年頃	ブロンズ	35.5×17.0×15.0
27	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	19.5×14.8
28	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.2×14.7
29	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.2×14.6
30	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.1×14.0
31	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.1×14.0
32	戸張孤雁	アヒル	不詳	鉛筆、紙	22.0×15.0
33	戸張孤雁	アヒル	不詳	鉛筆、紙	22.0×15.1
34	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.2×14.7
35	戸張孤雁	女	不詳	鉛筆、紙	20.2×14.7
特集 新版画					
新版画の制作工程					
36	伊東深水	避暑地の昼	1941(昭和16)年	木版、紙	30.5×43.3
37	伊東深水	風の日の浅間山	不詳	紙本彩色	26.0×35.0
38	伊東深水	浅間山麓の春	1948(昭和23)年	紙本彩色	35.0×52.0
39	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 1	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
40	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 2	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
41	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 3	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
42	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 4	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
43	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 5	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
44	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 6	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
45	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 7	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
46	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 8	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
47	伊東深水	浅間山麓の春 版画工程 9	1948(昭和23)年	木版、紙	25.7×36.2
48	伊東深水	信濃十景 浅間山麓の春	1948(昭和23)年	木版、紙	25.1×36.0
49	伊東深水	信濃十景 霜の晨	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
50	伊東深水	信濃十景 北佐久瀧原	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
51	伊東深水	信濃十景 野尻湖畔の秋	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
52	伊東深水	信濃十景 軽井沢の早春	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
53	伊東深水	信濃十景 つつじヶ原初夏	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
54	伊東深水	信濃十景 上林の朝	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
55	伊東深水	信濃十景 小諸路の暮雪	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
56	伊東深水	信濃十景 初夏の千曲川	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
57	伊東深水	信濃十景 小諸の暮春	1948(昭和23)年	木版、紙	25.6×36.2
新版画の風景～川瀬巴水と吉田博					
58	川瀬巴水	白馬山より見たる朝日嶽	1924(大正13)年	木版、紙	24.0×36.2
59	川瀬巴水	木曾蓬萊岩	1928(昭和3)年	木版、紙	36.5×24.3
60	吉田博	穂高山	1926(大正15)年	木版、紙	25.0×37.5
61	吉田博	白馬鎗岳	1929(昭和4)年	木版、紙	12.6×17.6
62	吉田博	乗鞍岳	1920(大正9)年	油彩、カンヴァス	45.2×60.4
63	吉田博	鐘ヶ岳杓子岳	1920(大正9)年	油彩、カンヴァス	45.5×60.6
版元と絵師					
64	笠松紫浪	信州松本城	1934(昭和9)年	木版、紙	36.1×23.9
65	笠松紫浪	信州上林	1938(昭和13)年	木版、紙	24.2×36.2
66	笠松紫浪	花吹雪(上林温泉)	1939(昭和14)年	木版、紙	24.0×36.1
67	伊藤孝之	白馬山頂より立山遠望	1932(昭和7)年	木版、紙	23.9×36.5
68	伊藤孝之	明け行く岳川	1932(昭和7)年	木版、紙	36.2×23.8
69	伊藤孝之	八峰より見たる鹿島槍	1932(昭和7)年	木版、紙	24.0×36.4

NAMコレクション2023 第Ⅲ期

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅲ期は、戦前期から戦後の1960年代に焦点をあて、西洋美術に影響を受けながらも激動の時代の中で日本に想いを巡らせた美術家たちの作品を紹介した。あわせて、同時期開催された企画展「とびたつとき—池田満寿夫とデモクラートの作家」（9月9日～11月5日）にちなみ、ヴェネツィア・ビエンナーレ大賞受賞後の池田満寿夫の軌跡、今年で生誕150年を迎える松本出身の日本画家・西郷孤月や、企画展「葛飾北斎と3つの信濃—小布施・諏訪・松本—」（7月1日～8月27日）の開催を機に当館に寄託された、葛飾北斎とその娘・応為の作品も特集した。

- 会期 令和5年7月27日(木)から9月19日(火) (48日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 19,020人(有料:13,930人 無料:5,090人)
- イベント ギャラリートーク/日時:8月19日(土)14:00～14:30/参加人数:5人
- 担当学芸員 鈴木幸野



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1 西洋と日本のはざままで—古典表現					
1	島崎鷗二	紅衣の婦人	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	128.5×96.5
2	島崎鷗二	水〔寄託作品〕	1936(昭和11)年	油彩、カンヴァス	193.0×129.0
3	野田英夫	初冬〔信濃デッサン館コレクション〕	1932(昭和7)年	油彩、カンヴァス	40.5×51.2
4	松本竣介	婦人像〔信濃デッサン館コレクション〕	1942(昭和17)年頃	墨、紙	35.5×27.0
5	中川紀元	散華	1962(昭和37)年	油彩、カンヴァス	144.0×90.9
6	神津港人	夏(いんこ鳥)	1929(昭和4)年	油彩、カンヴァス	77.8×81.0
7	神津港人	静物的に配置せる裸体画	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	(中央)190.0×139.3 (左右)190.0×67.5
2 西洋と日本のはざままで—ルポルタージュ的表現					
8	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0
9	須山計一	家の中	不詳	エッチング、紙	22.1×29.6
10	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964(昭和39)年	油彩、カンヴァス	73.0×91.5
11	矢崎重信	馬込風景	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	80.4×116.7
12	矢崎重信	まりつき	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
13	矢崎重信	『信濃の子供』原画8 共同炊事	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
14	川船水棹	日蓮	1942(昭和17)年	紙本彩色	174.2×167.1
特別展示 西郷孤月生誕150年					
15	西郷孤月	深山の夕	1900(明治33)年	絹本墨画	141.0×71.0
16	西郷孤月	月下飛鷺	1901(明治34)年頃	絹本彩色	123.7×48.2
17	西郷孤月/菱田春草/ 横山大観	月夜山水	1901(明治34)年頃	絹本彩色	129.5×53.0
18	西郷孤月	主の救い	1901(明治34)年頃	絹本彩色	92.8×48.5
19	西郷孤月	瀑布	不詳	絹本彩色	各128.6×50.0
20	西郷孤月	柿双禽	1910(明治43)年頃	絹本彩色	121.0×49.3

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
特別展示 本館企画展「葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本」[7月1日~8月27日開催](全寄託作品)					
21	葛飾北斎	全頭籠(雲竜図)	1837(天保8)年	絹本彩色	41.2×105.6
22	葛飾北斎	雪中荷狩	1844(弘化元)年	紙本彩色	42.3×132.0
23	葛飾北斎	小布施上町祭屋台「女浪」縁下絵	不詳	紙本彩色	
24	葛飾北斎	竹林遠見の富士	不詳	絹本彩色	32.5×101.0
関連展示 県立美術館企画展「とびたつとき-池田満寿夫とデモクラートの作家」[9月9日~11月5日開催]					
25	池田満寿夫	手の意味	1966(昭和41)年	コラージュ、紙	10.8×76.3
26	池田満寿夫	夏の夢	1967(昭和42)年	コラージュ、紙	10.0×72.2
27	池田満寿夫	空の広告	1967(昭和42)年	コラージュ、紙	24.8×17.8
28	池田満寿夫	マリリンの半分	1968(昭和43)年	リトグラフ、紙	74.5×57.0
29	池田満寿夫	私は眠りつづける A	1969(昭和44)年	エッチング・ルーレット・メゾチント・ ドライポイント、紙	59.5×49.0
30	池田満寿夫	無題 美術手帖22	1969(昭和44)年	コラージュ・ボード、紙	26.0×53.2
31	池田満寿夫	地中海	1974-82(昭和49-57)年	フロッタージュ・水彩、紙	56.8×39.0
32	池田満寿夫	ブロンズ・ヴィナス	1975(昭和50)年	メゾチント、紙	40.6×30.3
33	池田満寿夫	陽光のように	1981(昭和56)年	ドライポイント・アクアチント・ ソフトグラウンドエッチング、紙	36.5×29.8
34	池田満寿夫	陽光の女	1983(昭和58)年	レリーフ陶版画	41.3×37.1×2.0
35	池田満寿夫	宗達の森	1986(昭和61)年	リトグラフ、紙	60.5×50.5
36	池田満寿夫	柳塔	1990(平成2)年	陶器	h38.5
37	池田満寿夫	髻髻	1990(平成2)年	陶器	h15.0
現代彫刻、現代陶芸					
38	土谷武	昆虫 a	1969(昭和44)年	鋳鉄にクロムメッキ	6.5×31.0×20.5
39	林康夫	Reflection	1991(平成3)年	陶器	28.0×28.8×29.0
40	川上力三	風の門	2003(平成15)年	陶器	50.0×19.3×17.0
41	松井康成	重層象裂瓷大壺「山かげの灯」	1981(昭和56)年	陶器	h33.0、φ33.0
42	松井康成	練上破調文大壺	1985(昭和60)年	陶器	h37.5、φ34.5
43	松井康成	練上風白地壺	1988(昭和63)年	陶器	h28.4、φ30.6
44	松井康成	練上玻璃光大壺	1997(平成9)年	陶器	h34.0、φ35.8
45	松井康成	砂漠の街	1993(平成5)年	陶器	34.5×46.0
3 エビローグー西洋と日本のはざままで					
46	河野通勢	ハリストスに請う人々	1915(大正4)年	インク、紙	18.9×29.4
47	河野通勢	八戸理想主義	1915(大正4)年	コンテ、紙	47.6×62.5
48	河野通勢	『項羽と劉邦』挿絵より	1920(大正9)年	リトグラフ、紙	25.0×33.0
49	河野通勢	『項羽と劉邦』挿絵原画	1920(大正9)年	ペン・インク、紙	32.9×29.5
50	河野通勢	野球場風景	1923(大正12)年	エッチング、紙	4.9×12.3
51	河野通勢	二人花魁	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
52	小山敬三	きらら坂	1932(昭和7)年	水彩、紙	47.5×31.0
53	小山敬三	盛夏風景	1953(昭和28)年	油彩、カンヴァス	80.3×65.2

NAMコレクション2023 第Ⅳ期

菱田春草、荻原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅳ期は、NAM コレクション展の新たな試みとして「○△□（まる・さんかく・しかく）」と題し、モチーフや部分が○△□に見える、もしくは連想される作品を特集。抽象表現の中の「○△□」、鑑賞者と作品の距離を探る「近づく／遠ざかる」、山や森を具象的に描いた作品に見えてくる「風景の中の○△□」の3つの章に分け、記号や見え方をテーマに、近代から現代までのコレクションの多様性を提示するとともに、抽象作品だけでなく、風景画や様々な技法により表現された作品を紹介することで、自由に新しい鑑賞体験を提案した。

- 会期 令和5年9月21日(木)から11月28日(火) (61日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 19,179人(有料:14,500人 無料:4,679人)
- イベント ①ぬりえコーナー／日時:9月21日(木)から11月28日(火)9:00~17:00 ※会期中実施
②おしゃべり鑑賞会／日時:10月21日(土)14:00~15:00／参加人数:10人
- 担当学芸員 青山由貴枝



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
○△□					
1	オノサト・トシノブ	65-A	1965(昭和40)年	リトグラフ、紙	16.4×24.2
2	オノサト・トシノブ	58-A	1958(昭和33)年	リトグラフ、紙	13.5×20.8
3	オノサト・トシノブ	59-B	1959(昭和34)年	リトグラフ、紙	30.8×49.1
4	オノサト・トシノブ	63-B	1963(昭和38)年	リトグラフ、紙	24.0×34.0
5	魏嘸	コーヒーカップ	1974(昭和49)年	シルクスクリーン、紙	21.5×27.5
6	水上民平	蛾の乱舞	1960(昭和35)年	油彩、カンヴァス	130.3×90.0
7	日向裕	飛翔	1959(昭和34)年	油彩、カンヴァス	89.4×145.5
8	草間彌生	南瓜	1986(昭和61)年	セリグラフ・紙	90.5×72.2
9	草間彌生	No. PZ	1960(昭和35)年	油彩、カンヴァス	269.2×177.8
10	城田孝一郎	ひさごと花をもつ杜の人	2001(平成13)年	木	102.0×31.0×39.0
11	オノサト・トシノブ	66-B	1966(昭和41)年	リトグラフ、紙	36.0×36.2
12	オノサト・トシノブ	シルク-1	1966(昭和41)年	シルクスクリーン、紙	29.7×39.5
13	オノサト・トシノブ	シルク-72	1975(昭和50)年	シルクスクリーン、紙	60.6×72.0
14	福田繁雄	正3面体の展開図	1969(昭和44)年	平凹版、紙	15.0×15.0
15	馬場哲晃	Freqtric Drums	2004-07(平成16-19)年	ミクストメディア	φ25.0
16	飯田昭二	自己投影 1	2007(平成19)年	ミクストメディア(鳥カゴ、石膏による球、鏡)	30.0×30.0×30.0
17	飯田昭二	自己投影 2	2007(平成19)年	ミクストメディア(鳥カゴ、ハイヒール、鏡)	37.0×37.0×37.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
近づく／遠ざかる					
18	菱田春草	伏姫(常磐津)	1900(明治33)年	絹本彩色	146.6×67.5
19	菊池契月	婦女	1930(昭和5)年	紙本彩色	139.9×89.1
20	長井雲坪	誕生仏	1897(明治30)年	紙本彩色	118.4×46.8
21	長井雲坪	虎之図	不詳	紙本彩色	140.0×44.0
22	細川宗英	1966 作品S1	1966(昭和41)年	ブロンズ	54.0×52.0×24.0
23	渡会意士	響	1971(昭和46)年	黒御影石	21.4×36.4×33.4
24	熊谷好博子	友禅染訪問着・樹叢	1972(昭和47)年	江戸友禅	丈 170.5、衿 64.5
25	藤本東一良	上昇気流	1965(昭和40)年	油彩、カンヴァス	146.5×113.0
26	浜達也	作品	不詳	鍍金	106.5×38.0×41.0
27	仲村進	山茶満水	1994(平成6)年	紙本彩色	各169.5×374.0
28	鶴岡政男	馬〔信濃デッサン館コレクション〕	1948(昭和23)年	墨、紙	27.0×38.8
29	鶴岡政男	涙〔信濃デッサン館コレクション〕	1968(昭和43)年	パステル、紙	24.2×26.7
30	高池録博	創	1970(昭和45)年	染色	180.0×160.0
風景の中の○△□					
31	白井文平	ウッドストックの国吉家	1934(昭和9)年	油彩、カンヴァス	56.0×76.8
32	白井文平	屋上のパーティ	1926(大正15)年	油彩、カンヴァス	117.3×147.5
33	飯田福次	室内	1980(昭和55)年	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
34	日向裕	セントポール風景	1958(昭和33)年	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
35	田村一男	北信濃冬景	1985(昭和60)年	油彩、カンヴァス	145.5×89.4
36	小糸源太郎	山粧ふ	1956(昭和31)年	油彩、カンヴァス	85.0×99.5
37	小山周次	松本城	1957(昭和32)年	油彩、カンヴァス	38.2×56.0
38	小山敬三	紅浅間	1982(昭和57)年	水彩、紙	48.6×90.0

NAMコレクション2023 第V期

菱田春草、萩原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第V期では、昨年度寄託された諏訪郡下諏訪町出身の松澤有の作品群のうち、初期のドローイングやオブジェから、1960年代半ばより松澤が提唱した「観念」による美術作品までを特集。また、「おわりとはじまりの風景」と題した小特集では、近現代の洋画、日本画、版画、素描から、100年前に発生した関東大震災直後の東京を描いた河野通勢による銅版画のほか、風景画や静物画を中心に紹介した。

- 会期 令和5年11月30日(木)から令和6年2月13日(火) (60日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 13,559人(有料:6,885人 無料:6,674人)
- イベント ①ギャラリートーク/日時:12月16日(土)14:00~14:30/参加人数:17人
②松澤有映像上映会/日時:2月2日(金)14:22~/会場:レセプションルーム/参加人数:9人
- 担当学芸員 古家満葉



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
おわりとはじまりの風景					
1	中村研一	冬の静物	1960(昭和35)年	油彩、カンヴァス	66.5×81.5
2	吉岡憲	静物〔信濃デッサン館コレクション〕	1948(昭和23)年	油彩、カンヴァス	45.7×53.2
3	野田英夫	野尻の花〔信濃デッサン館コレクション〕	1938(昭和13)年	油彩、ボード	33.0×24.0
4	日向裕	春寒	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	112.5×112.5
5	島崎鶏二	夕暮	1939(昭和14)年	油彩、カンヴァス	33.4×45.5
6	ルイス・ニシザワ	我が母の夢	1950(昭和25)年	混合技法、布・ファイバーボード	61.0×92.0
7	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	89.5×145.5
8	神津港人	仙女受茶羅	1958(昭和33)年	油彩、カンヴァス	180.0×270.0
9	須山計一	奥信濃の火祭り	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	91.5×73.0
10	川上冬崖	梅椿	不詳	紙本彩色	133.0×32.4
11	川上冬崖	鍾馗拳鬼	不詳	紙本彩色	95.5×37.2
12	川上冬崖	松上鶴	1876(明治9)年	紙本彩色	41.3×70.7
13	木村武山	慈母観世音	1930(昭和5)年	絹本彩色	186.5×85.0
14	横井弘三	天工礼讃	1946(昭和21)年	油彩、紙 屏風(六曲一隻)	169.0×345.0
15	河野通勢	深川木場之景	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.0×12.0
16	河野通勢	震災後の風景	1923(大正12)年	エッチング、紙	5.5×6.3
17	河野通勢	深川八幡	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.9×11.7
18	河野通勢	鎌倉近在所見	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.9×11.7
19	河野通勢	上野精養軒臨時食堂	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.0×11.0
20	河野通勢	木場之景	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.0×12.0
21	河野通勢	木場之景	1923(大正12)年	エッチング、紙	9.0×12.0
22	河野通勢	震災後の風景(武者小路実篤邸跡)	1923(大正12)年	エッチング、紙	11.0×12.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
特集 松澤宥					
23	松澤宥	シンボルポエム No. 1	1954(昭和29)年	インク、紙	24.0×17.7
24	松澤宥	シンボルポエム No. 2	1954(昭和29)年	インク、紙	23.9×17.7
25	松澤宥	ブサイの鳥1	1959(昭和34)年	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	77.2×109.3
26	松澤宥	御幣マンガラ5	1959(昭和34)年	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	108.0×79.0
27	松澤宥	胎内願望	1960(昭和35)年	写真、コラージュ、血、紙	105.0×76.0
28	松澤宥	「ブサイの部屋からの27個の函」のうち9点	1963(昭和38)年	ミクストメディア	-
29	松澤宥	日本建国史	1961(昭和36)年	木、本、木ネジ、石膏、骨	28.0×42.0×11.5 (サイズ可変)
30	松澤宥	世界改造に関するブサイ本の周辺	1963(昭和38)年	ミクストメディア	サイズ可変
31	松澤宥	ブサイ函(「ブサイの意味」および「ブサイ函・Psi Chamber」に就いて—Nil novi aub sole.)	1961(昭和36)年	印刷、紙	33.3×24.2
32	松澤宥	別の容器の中の別の作品について又切断について	1963(昭和38)年	印刷、紙	18.8×12.8
33	松澤宥	非感覚絵画(假称)の端緒の発見に就いての簡単な報告	1964(昭和39)年	印刷、紙	35.4×25.0
34	松澤宥	非感覚絵画のための局部	1964(昭和39)年	パステル、コラージュ、紙	59.0×45.5
35	松澤宥	非感覚絵画のための紋章	1964(昭和39)年	パステル、油性塗料、コラージュ、ホッチキス針、紙	64.1×94.8
36	松澤宥	非感覚絵画のための歯の爆発	1964(昭和39)年	水彩、コラージュ、紙	63.6×102.8
37	松澤宥	非感覚絵画のためのマンガラ	1964(昭和39)年	水彩、コラージュ、紙	102.8×73.9
38	松澤宥	ブサイの死体遺体	1964(昭和39)年	印刷、紙	38.4×26.1
39	松澤宥	人類よ消滅しよう行こう行こう	1966(昭和41)年	印刷、紙	25.2×25.1
40	松澤宥	根本絵画 白い円	不詳	インク、紙	21.9×21.9
41	松澤宥	無題(白色円形根本絵画)	不詳	コラージュ、紙	26.7×25.8
42	松澤宥	無題(白色円形根本絵画)	不詳	コラージュ、紙	25.3×25.6
43	松澤宥	無題(白色円形根本絵画)	不詳	コラージュ、紙	11.6×26.0
44	松澤宥	すべての生物および無生物のための白紙絵画	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
45	松澤宥	湖に見せる根本絵画展	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
46	松澤宥	霧と雲に見せる絵画展	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
47	松澤宥	絵に見られる松澤宥展	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
48	松澤宥	死に見せ乳房を見る根本絵画展	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
49	松澤宥	見ない絵画と見えない絵画展-EXPO70の反存在のための啓示-	1967(昭和42)年	印刷、紙	14.8×10.0
50	松澤宥	眠れるエネルギーに見せる絵(世界最後の絵画展)	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
51	松澤宥	芸術家一切消滅大宣言 43210アピール	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
52	松澤宥	これが全人類所有可能な絵画だ	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
53	松澤宥	球をたずさえる歴訪展	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
54	松澤宥	電話メディアによる情報絵画はクールである	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
55	松澤宥	はがきに挿さった絵	1968(昭和43)年	印刷、紙	14.8×10.0
56	松澤宥	奥山密儀執行	1970(昭和45)年	印刷、紙	14.8×10.0
57	松澤宥	樹上小屋建下見	1970(昭和45)年	印刷、紙	14.8×10.0
58	松澤宥	パーリニバーナ・パーリヤーヤ体の	1970(昭和45)年	印刷、紙	14.8×10.0
59	松澤宥	天の空へ向け両心臓を飛ばす儀執行	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
60	松澤宥	人類は滅亡することを予感	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
61	松澤宥	暗黒星雲計画・DNPとして	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
62	松澤宥	みなさんおはようござい	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
63	松澤宥	人類よ消滅しよう	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
64	松澤宥	信州泉水入音会に向けて	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
65	松澤宥	1961年より71年にわたる	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
66	松澤宥	197188及び前後	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
67	松澤宥	ヴ 事	1971(昭和46)年	印刷、紙	14.8×10.0
68	ホンマタカシ	his room 2018	2022(撮影2018)	ラムダ・プリント	各67.0×42.5
※参考 出品	松澤宥	虚空間状況探知センターにて	1964(昭和39)年	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	24.8×31.3(個人蔵)

NAMコレクション2023 第Ⅵ期

菱田春草、荻原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館（NAM）コレクション。NAM コレクション展では、1年をかけて洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅵ期では、「ポートレートとしての女性」と題し、女性を主題とした作品や女性作家による作品を取りあげ、表現と女性との関係を歴史的、社会的背景を踏まえて紹介する特集を展覧。また、信濃デッサン館コレクションから昨年逝去した野見山暁治（1920～2023）の作品を紹介し、その画業を顕彰した。さらに、企画展「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」の連動展示として、信州にゆかりのある春陽会作家の作品を紹介した。

- 会期 令和6年2月15日(木)から4月23日(火) (60日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 11,204人(有料:8,595人 無料:2,609人)
- イベント ギャラリートーク/日時:2月17日(土)14:00～14:30/参加人数:2人
- 担当学芸員 茂原奈保子、鈴木幸野



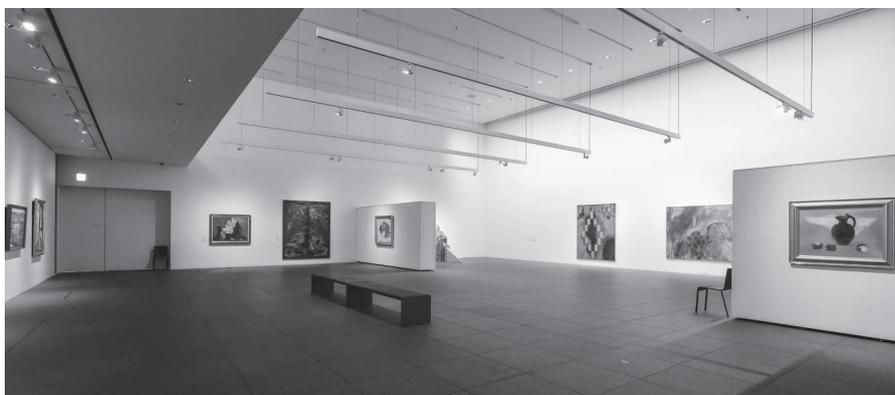
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
特集：ポートレートとしての女性					
1	白井文平	夏の午後	1928(昭和3)年	油彩、カンヴァス	127.2×152.2
2	辻村八五郎	縫物	1949(昭和24)年	油彩、カンヴァス	145.5×112.0
3	中村研一	緑の中	1959(昭和34)年	油彩、カンヴァス	100.0×80.3
4	富岡永洗	雪月花美人図	不詳	絹本彩色、三幅対	各129.5×56.8
5	菊池契月	女	1928(昭和3)年	絹本彩色	60.5×57.5
6	白鳥映雪	浄粧	1948(昭和23)年	紙本彩色	141.5×119.2
7	町田曲江	五十鈴の川上	1917(大正6)年	絹本彩色、三曲一隻屏風	外寸:182.0×272.6×2.1
8	井手則雄	裸婦〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	コンテ、紙	24.5×35.0
9	山本豊市	裸婦〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	木炭・パステル、紙	29.0×20.0
10	保田龍門	婦人像〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	コンテ(赤)、紙	29.8×20.4
11	保田龍門	婦人像〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	鉛筆、紙	31.8×24.3
12	中村直人	裸婦	1967(昭和42)年	ガッシュ、紙	91.0×116.7
13	戸張孤雁	海女〔信濃デッサン館コレクション〕	1924(大正13)年	ブロンズ	35.5×11.5×15.0
14	戸張孤雁	女の面部〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	ブロンズ	h19.5×16.5×10.1
15	保田龍門	女の顔〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	ブロンズ	32.0×15.0×19.5
16	保田龍門	少女〔信濃デッサン館コレクション〕	不詳	ブロンズ	10.5×13.5×6.5
17	山本豊市	裸婦〔信濃デッサン館コレクション〕	1975(昭和50)年頃	ブロンズ	49.0×13.0×13.5
18	荻原礫山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	h98.0
19	石井鶴三	水浴女	1964(昭和39)年	ブロンズ	h46.0
20	北村四海	イヴ	1915(大正4)年	大理石	h41.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
21	辰野登恵子	Aug-2-2003〔寄託作品〕	2003(平成15)年	油彩、カンヴァス	291.0×218.0
22	小山利枝子	種子の秘密〔寄託作品〕	2003(平成15)年	アクリル、カンヴァス	162.1×228.0
23	高木こずえ	ho1	2011(平成23)年	タイプCプリント	外寸：66.0×66.0×4.0
24	高木こずえ	ko06	2011(平成23)年	タイプCプリント	外寸：37.4×48.0×3.9
25	高木こずえ	kawagoshi01	2011(平成23)年	タイプCプリント	外寸：25.3×30.5×4.0
26	高木こずえ	ki(SUZU)	2011(平成23)年	タイプCプリント	外寸：72.5×72.0×4.0
追悼—野見山暁治					
27	野見山暁治	このままにしよう〔信濃デッサン館コレクション〕	2015(平成27)年	油彩、カンヴァス	各139.0×125.0 (2枚組)
28	野見山暁治	昔がたり〔信濃デッサン館コレクション〕	2010(平成22)年	油彩、カンヴァス	162.0×162.0
企画展連動：春陽会と信州					
29	山本鼎	白菜と赤蕪	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	38.0×45.3
30	倉田白羊	冬景色	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	72.5×60.0
31	河野通勢	林檎	1918(大正7)年	油彩、ボード	34.5×42.5
32	河野通勢	自画像	1918(大正7)年	油彩、カンヴァスボード	34.5×26.0
33	林俊衛	池畔早春	1942(昭和17)年	油彩、カンヴァス	65.2×80.3
34	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973(昭和48)年	油彩、カンヴァス	65.2×80.3
35	小山敬三	暮れゆく浅間	1968(昭和43)年	油彩、カンヴァス	145.5×97.0
36	野村千春	日野早春	不詳	油彩、カンヴァス	60.5×72.5
37	関四郎五郎	春寒	1965(昭和40)年	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
38	浦野吉人	案山子	1963(昭和38)年	油彩、カンヴァス	146.5×98.0
39	藤井令太郎	ピエロたち	1973(昭和48)年	油彩、カンヴァス	112.0×145.4
40	藤井令太郎	僧院	1978(昭和53)年	油彩、カンヴァス	112.0×162.1
41	石井鶴三	風 試作	1956(昭和31)年	ブロンズ	h78.3

NAMコレクション2023 新収蔵品展

長野県立美術館では、前身の旧長野県信濃美術館から、長野県ゆかりの作家や文化を顕彰する活動の一環として、すぐれた作品の収集に努めてきた。新収蔵品展では、戦後美術を中心とした新収蔵作品13点を紹介した。

- 会期 令和5年4月22日(土)から6月18日(日) (51日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室1)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 22,955人(有料:15,297人 無料:7,658人)
- 担当学芸員 鈴木幸野



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	備考
1	小松美羽	灯し続け、歩き続け	2016(平成28)年	墨、箔、アクリル、和紙	100.5×190.0	令和4年度購入
2	杉山寧	静物	1955(昭和30)年	紙本彩色	76.0×86.0	令和元年度 飯田裕子氏寄贈
3	野見山暁治	もっと遠くへ行こう	2016(平成28)年	油彩、カンヴァス	各163.0×180.0(2枚組)	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
4	大森運夫	風音	1991(平成3)年	岩絵具、膠彩、麻紙	116.7×80.0	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
5	毛利武彦	念	1976(昭和51)年	岩絵具、膠彩、麻紙	91.0×116.5	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
6	小嶋悠司	源生	1989(平成元)年	デトランプ、膠彩、麻布	220.0×175.0	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
7	渡辺学	涙痕碑	1989(平成元)年	岩絵具、膠彩、麻紙	90.0×116.7	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
8	滝沢具幸	荒原記	2013(平成25)年	紙本彩色	73.0×116.9	平成31年度購入/信濃デッサン館コレクション
9	土谷武	指I-a	1972(昭和47)年	ブロンズ	15.5×17.5×2.2	令和2年度 湯浅和子氏寄贈
10	土谷武	一隅から	1984(昭和59)年	コルテン銅、チーク	250.0×178.0×130.0	令和2年度 湯浅和子氏寄贈
11	戸谷成雄	射影体	2004(平成16)年	木、灰、アクリル	190.0×310.0×67.0	令和4年度購入
12	辰野登恵子	Untitled 91-20	1991(平成3)年	油彩、カンヴァス	227.0×182.0	令和4年度購入
13	辰野登恵子	Work 82-P-35	1982(昭和57)年	油彩、カンヴァス	182.0×227.0	令和4年度購入

第I期

連作「白い馬の見える風景」の起点となった代表作《緑響く》や、東山が約10年をかけて「唐招提寺御影堂障壁画」の制作に取り組む中から生まれた《桂林月夜》、《瀧江暮色》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を中心に紹介した。また、会期中に東山の命日を迎えることから、絶筆となった《夕星》を展示した。

- 会期 令和5年4月13日(木)から6月20日(火) (61日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 24,765人(有料:16,905人 無料:7,860人)
- イベント ギャラリートーク/日時:5月20日(土)14:00~14:30/
参加人数:26人
- 担当学芸員 松浦千栄子



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
京洛四季							
1	魚鐸	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 海宝寺	27.0×41.0
2	曙	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 比叡山	33.0×46.0
3	行く春	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 祇王寺	33.0×37.5
4	春静	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 鷹ヶ峰	33.0×46.0
5	東福寺庭	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 東福寺	33.0×41.0
6	花明り	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 円山公園	58.0×47.6
唐招提寺御影堂障壁画 準備作 *は除く							
7	柳樹 A	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	29.0×44.3
8	柳樹 B	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	31.5×45.9
9	柳樹 C	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	29.2×42.5
10	桂林大観	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	中国 桂林	33.0×42.6
11	緑響く	1982	74	「白い馬の見える風景」展(バリ・吉井画廊)	紙本・彩色	長野県 茅野市 蓼科高原 御射鹿池	84.0×116.0
12	瑞光 試作	1980	72	唐招提寺鑑真和上像厨子絵のための準備作	紙本・彩色	鹿児島県 坊津町 秋目浦	25.5×55.2
13	柳樹 E	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	27.8×41.5
14	柳樹 D	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	31.2×41.7
15	瀧江満々	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・彩色	中国 瀋陽	26.7×36.7
16	桂林月夜 *	1976	68	改組第8回日展	紙本・彩色	中国 桂林	129.0×162.0
17	瀧江暮色 *	1978	70	日本東山魁夷絵画展覧(中国、北京)	紙本・彩色	中国 桂林	177.5×363.0
18	黄山雨過 *	1978	70	改組第10回日展	紙本・彩色	中国 黄山	139.0×196.0
19	黄山雨過 小下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	紙本・彩色	中国 黄山	22.0×32.0
20	黄山雨過 大下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	紙本・コンテ	中国 黄山	139.5×197.5

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
21	夕星 *	1999	90		麻布・彩色	長野県 長野市 花岡平公園	66.0×100.0
22	柳樹 F	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	36.0×50.6
23	柳樹 G	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	33.6×49.5
24	柳樹 H	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 スケッチ	紙本・墨画	中国 揚州	33.8×49.0
25	桂林山水	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「大地悠々」習作	紙本・墨画	中国 桂林	39.5×99.5
26	山雲 *	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.1×46.1
27	瀧の音	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.2×46.2
28	朝雲	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.1×46.1
29	霧深き谷	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		36.1×51.0
30	深山の樹	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.4×46.0
31	潮満つ	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		33.0×46.0
32	波頭	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		31.4×51.6
33	青濤	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		45.6×55.0
34	渚の波紋	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		36.4×51.1
35	沼 *	1993	85	改組第25回日展	麻布・彩色	長野県 戸隠	92.0×120.0
36	山雲	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本・彩色		①20.3×39.2 ②21.6×106.3 ③21.5×106.4
37	濤声	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本・彩色		①21.7×106.4 ②21.7×106.5
黄山白雲							
38	蕪湖の古塔	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	39.0×144.0
39	涇県にて	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	39.0×144.0
40	雨中飛泉	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	①15.0×21.2 ②20.5×20.7
41	奇峰松韻	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	25.4×35.3
42	蓬萊三島	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	34.0×46.0
43	岩の峰	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	89.0×130.0
44	黄山雨収	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	35.0×51.0
45	白雲重疊	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	45.5×37.6
46	黄山旭日	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・彩色	中国 黄山	37.0×28.0
47	松籟を聴く	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	25.0×35.2
48	雲翔る	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国 黄山	36.3×29.5
49	金太郎	1949	41		色紙・水彩		43.1×31.2
新収蔵							
50	不詳(海景)	不詳		スケッチ	紙本・水彩		19.9×24.7

第Ⅱ期

連作「白い馬の見える風景」から《水辺の朝》、《草青む》とその習作群をはじめ、《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の風景を描いた作品や、《石の窓》やドイツ・オーストリアの旅で得られたスケッチや習作を紹介した。

- 会期 令和5年6月22日(木)から8月22日(火) (55日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 21,647人(有料:14,942人 無料:6,705人)
- イベント ギャラリートーク/日時:7月15日(土)14:00~14:30/
参加人数:20人
- 担当学芸員 松浦千栄子



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
白い馬の見える風景 *は除く							
1	早春の丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県 御坂町 河口湖町 御坂峠	24.0×33.5
2	春を呼ぶ丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	北海道	33.0×46.0
3	夕明り	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	長野県 下諏訪町 八島湿原	27.0×41.0
4	白馬の森	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県 富士山五合目の ブナ原生林	24.5×36.0
5	湖澄む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	ドイツ オーバー・ゼー	24.5×36.5
6	緑響く	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	長野県 茅野市 蓼科高原	24.5×35.5
7	渚の白馬	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	石川県 千里浜海岸	25.5×36.5
8	森装う	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	長野県 長野市	31.0×44.0
9	芒野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	ヨーロッパ	25.0×36.0
10	水辺の朝	1972	64	第10回銀二回展、「白い馬の見える風景」	紙本・彩色	ドイツ北部 オイティン	33.2×46.2
11	草青む	1972	64	第4回無窮会展、「白い馬の見える風景」	紙本彩色		43.0×65.0
12	樹霊	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県	31.0×43.5
13	曠野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県	24.5×35.5
14	荒寥	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県御坂 河口湖町 御坂峠	31.0×44.0
15	綿雲	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	山梨県	31.0×45.0
16	沼の静寂 *	1983	75	東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	オーストリア インスブルック	81.0×116.0
17	石の窓 *	1971	63	東山魁夷新作展	紙本・彩色	ドイツ ネルトリンゲン	114.0×166.0
18	緑の窓 *	1983	75	東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	ドイツ ラムサウ	73.0×92.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
北欧風景 *は除く							
19	倉庫	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク コペンハーゲン	28.2×37.2
20	内庭	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク リーベ	32.5×44.5
21	古い壁	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク	26.5×38.0
22	リーベの家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク	26.3×37.0
23	古き町にて	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク	25.7×37.2
24	二つの月	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヘルシスキ	45.5×37.6
25	ヴィラットの運河	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヴィラット	26.3×36.8
26	夕静寂 *	1974	66	改組第6回日展	紙本・彩色	長野県-岐阜県 奥穂高	227.0×158.0
27	夏の道	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヴィラット	26.7×45.7
28	フィヨルドの滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	ノルウェー フィヨルド	30.0×44.5
29	白夜	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	スウェーデン ノルディングロー	36.5×49.0
30	運河沿いの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク	26.5×36.5
31	早春のディアハーヴェン	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク ディアハーヴェン	36.4×49.3
32	静映	1982	74	長野県県民文化会館 中ホール 緞帳原画	紙本彩色	長野県 飯山市 希望湖	42.7×85.7
ドイツ・オーストリアの旅							
33	古道具屋の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ リューベック	27.5×33.5
34	ホルシュテン門の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ リューベック	31.0×44.5
35	揺れる窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ リューベック	31.0×44.5
36	町角	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ヴィムブヘン	24.0×35.0
37	山霊	1987	79	改組第19回日展	紙本・彩色	長野県-岐阜県 安房峠	124.4×184.0
38	古いガラス絵	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ツェレ	37.6×26.6
39	花のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	19.5×28.0
40	デューラーの家より	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ニュールンベルク	34.0×47.0
41	祭りの日	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ フライブルク	31.0×44.0
42	フライブルクにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ フライブルク	41.5×27.7
43	バンベルクにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ バンベルク	31.6×44.5
44	穀倉	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ デインケルスビュール	33.6×46.6
45	ネルトリンゲンの町	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ネルトリンゲン	37.2×27.0
46	聖堂の中	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ デインケルスビュール	44.5×28.0
47	夕かけ	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	41.5×27.5
古き町にて							
48	地図	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙		35.0×53.8
49	コペンハーゲンの街角	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	デンマーク コペンハーゲン	25.5×35.4
50	オールフスの古い町	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	デンマーク オールフス	26.0×36.0
51	ストックホルムにて	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	スウェーデン スtockホルム	35.9×26.0
52	ベルゲンの家	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	ノルウェー ベルゲン	25.7×35.5
53	ヴィラットの教会	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	フィンランド ヴィラット	35.0×25.4
54	オーデンセの古道具屋	1964	56	オリジナルリトグラフィ	石版・紙	デンマーク オーデンセ	35.3×25.5

第Ⅲ期

学生時代の東山が志賀高原を描き帝展に出品した《山谿秋色》や、《紅葉の谷》、大和路への取材から生まれた《秋思》など、東山が描いた様々な秋の風景を紹介した。また、ドイツに取材した《窓》や、フランスの公園を描いた《静唱》などを展示した。

- 会期 令和5年8月24日(木)から10月31日(火) (61日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 19,796人(有料:14,973人 無料:4,823人)
- イベント ギャラリートーク/日時:9月16日(土)14:00~14:30/
参加人数:20人
- 担当学芸員 松浦千栄子



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
古都を描く *は除く							
1	窓明り	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ リューベック	24.0×34.0
2	朝の聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ リンブルク	46.4×32.5
3	ツェレの家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ツェレ	33.4×41.5
4	ニュールンベルクの窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ニュールンベルク	33.0×46.0
5	夕べの聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ リンブルク	34.5×47.0
6	晩鐘	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ フライブルク	38.0×55.0
7	静唱 小下図 *	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・彩色	フランス パリ ソー公園	32.0×48.0
8	静唱 スケッチ A *	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	フランス パリ ソー公園	25.7×38.0
9	静唱 スケッチ B *	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	フランス パリ ソー公園	25.7×37.7
10	静唱 スケッチ C *	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	フランス パリ ソー公園	37.5×54.0
11	静唱 *	1981	73	改組第13回日展	紙本・彩色	フランス パリ ソー公園	140.0×203.0
12	静唱(下図) *	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	フランス パリ ソー公園	140.0×202.5
13	狭い空	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ フライブルク	44.5×31.7
14	古都遠望	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ヴィムブヘン	31.7×47.7
15	石の窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ネットリンゲン	31.0×44.3
16	緑のハイデルベルク	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ハイデルベルク	33.5×46.5
17	静かな町 *	1971	63	東山魁夷新作展	紙本・彩色	ドイツ ヴィムブヘン	92.0×75.0
18	窓 *	1971	63	改組第3回日展	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	130.0×195.0

No.	作品名	制作年	制作 年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
19	赤い屋根	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	34.5×49.5
20	ローテンブルクの門	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	44.5×31.4
21	泉	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	44.6×32.0
22	みづうみ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ オーバー・ゼー	39.3×49.4
23	ホーエン・ザルツブルク城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア ザルツブルク	27.0×46.7
24	青きドナウ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア メルク	33.1×46.2
25	坂道の家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア クレームス	33.5×46.0
26	山谿秋色 *	1932	24	第13回帝展	紙本・彩色	長野県 志賀高原	232.2×151.2
27	秋思 *	1988	80	改組第20回日展	紙本・彩色	奈良県 天理市	146.0×120.0
28	紅翳 *	1958	50	第6回青羊会展	紙本・彩色	群馬県 伊香保町	63.3×87.3
京洛四季 *は除く							
29	夏に入る	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 大山崎町	36.5×51.5
30	夕涼	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 修学院離宮西浜	36.0×58.0
31	年経る樹	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都市 青蓮院	36.0×50.9
32	夏深む	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 勧修寺	36.0×51.0
33	月窟	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 嵯峨野	36.2×51.2
34	一力	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 祇園	30.7×44.0
35	壬生狂言	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 壬生寺	26.2×35.4
36	宵山	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 鉦町	32.0×45.2
37	祇園まつり	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 山鉦巡行	27.0×36.0
38	千灯会	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 念仏寺	32.5×45.0
39	紅葉の谷 *	1952	44	第3回六窓会展	紙本・彩色		57.5×51.5
40	松尾神社にて	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 嵐山	31.0×44.2
41	二条城の石垣	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 二条城	24.5×41.5
42	門	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 常照皇寺	44.0×36.0
43	青い峡	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 周山街道	30.0×31.0
44	土塀	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 天竜寺	27.0×41.0
45	三宝院唐門	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 醍醐寺	33.0×46.0
46	寺の塀	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 大徳寺	27.0×41.0
47	蔦もみじ	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 大河内山荘	27.0×41.0
48	古道具屋	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 西陣	27.0×41.5
49	あぶり餅	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都市 今宮神社	33.0×39.0
50	桂の敷石	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 桂離宮	40.9×27.1
51	散り紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 光悦寺	31.0×44.5
52	桂離宮書院	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 桂離宮	31.9×46.0
53	三玄院露地	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 大徳寺	31.0×44.0
54	初紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 大徳寺高桐院	32.8×45.3
55	照紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府院 梅尾高山寺石水	35.9×50.5
56	谿紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 芹生峠	31.0×44.0
57	秋寂び	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 光悦寺	33.0×46.0

第Ⅳ期

連作「白い馬の見える風景」のうち最大の作品《白馬の森》を中心に、楓の落葉が黄金色に敷き詰められた《行く秋》、幻想的な雰囲気漂う《夕紅》、《木枯らし舞う》など晩年に描いた秋の景色などを展示した。また、近年遺族より寄贈された東山魁夷の旧蔵レコードを展示し、音楽を創作源とする作品のエピソードに合わせ、作品を鑑賞しながら東山が愛したクラシック音楽を楽しむイベントを開催した。

- 会期 令和5年11月2日(木)から令和6年1月16日(火) (60日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 14,962人(有料:9,595人 無料:5,367人)
- イベント ①ギャラリートーク/日時:11月18日(土)14:00~14:30
/参加人数:32人
②レコードイベント/日時:11月17日(金)、18日(土)各日
10:00~、13:00~、15:00~1時間程度/参加人数:
17日146人、18日113人
- 担当学芸員 松浦千栄子



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
ドイツ・オーストリアの旅 *は除く							
1	ローテンブルクの泉	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	31.6×44.0
2	絵のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ベルヒテスガーデン	42.0×28.0
3	野の花	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ オーバー・ゼー	24.6×32.5
4	描かれた壁	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア ロイテ	28.0×42.0
5	倉庫 *	1963	55	東山魁夷風景画展	紙本・彩色	デンマーク コペンハーゲン	53.4×72.5
6	鐘楼の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア	42.0×28.0
7	ミラベル宮廷園	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア ザルツブルク	24.5×35.5
8	並ぶ窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア	36.0×42.5
9	居酒屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア デュルンシュタイン	24.2×33.0
10	酒場のしるし	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア クレームス	24.0×24.6
11	木枯らし舞う *	1997	89	改組第29回日展	麻布・彩色	ドイツ北部	81.0×116.0
12	夕紅 *	1996	88	改組第28回日展	麻布・彩色	デンマーク	81.0×116.0
13	塔の影	1969	61	連作「ドイツ・オーストリアの旅」スケッチ	紙本・彩色		31.5×44.5
14	優雅な窓	1969	61	連作「ドイツ・オーストリアの旅」スケッチ	紙本・彩色		41.5×27.6
15	ホテル ドイチェス・ハウス	1969	61	連作「ドイツ・オーストリアの旅」スケッチ	紙本・彩色		31.3×44.8
16	深秋 *	1942頃	37頃		絹本・彩色		122.0×26.6 (本紙)
17	行く秋 習作 *	1990	82	改組第22回日展のための準備作	紙本・彩色	ドイツ北部	33.5×47.0
18	行く秋(下図) *	1990	82	改組第22回日展のための準備作	紙本・鉛筆	ドイツ北部	114.0×162.0
19	行く秋 *	1990	82	改組第22回日展	紙本・彩色	ドイツ北部	114.0×162.0
20	聖夜 *	1994	86	改組第26回日展	麻布・彩色	ドイツ南部	89.0×130.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
皇室の仕事 *は除く							
21	萬緑新 小下図	1961	53	吹上御所御用命画のための準備作	紙本・彩色	福島県 猪苗代町 翁島	28.5×25.3
22	朝明けの潮(下図)A	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色		39.0×144.0
23	朝明けの潮(下図)B	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色		39.0×144.0
24	悠紀地方屏風絵 試作 春夏図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた屏風のための準備作	紙本・彩色		42.0×76.5
	悠紀地方屏風絵 試作 秋冬図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた屏風のための準備作	紙本・彩色		42.0×76.5
25	白馬の森 *	1972	64	改組第4回日展、「白い馬の見える風景」	紙本・彩色	山梨県 富士山五合目の ブナ原生林	152.0×223.0
古都を描く							
26	霧の町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ リューベック	33.0×46.0
27	雪の城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア ザルツブルク	32.0×42.4
28	雪の城 スケッチ	1970	62	改組第2回日展のための準備作	紙本・彩色	オーストリア ザルツブルク	33.5×46.5
29	マリアの壁	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア エッツ	33.5×46.4
30	森の幻想	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア	31.0×44.0
古都を描く							
31	池澄む	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 天竜寺	33.5×46.5
32	冬の庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 修学院離宮	33.0×46.0
33	年暮る	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 京の町	38.4×55.0
34	北山初雪	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 周山街道	41.5×58.0
35	雪の後	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府 中川付近	38.0×55.5
36	雪降る町	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 京の町	45.5×33.2
37	深雪	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 東山	26.6×40.8
38	修学院雪庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 修学院離宮	31.5×44.9
39	雪の石庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府 竜安寺	31.0×44.0
大和春秋							
40	朝の塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 興福寺	28.0×41.5
41	吉野の春	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 吉野	31.0×44.0
42	春日野朝霧	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 春日野	30.5×43.5
43	室生の塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 室生寺	41.0×27.5
44	霧の朝	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 春日大社	26.0×40.0
45	夕べの塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 興福寺	27.0×41.0
46	布留の森	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県 天理市 布留	37.0×31.0
47	唐招提寺月明	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県 唐招提寺	41.0×33.0
48	赤日晩秋	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	三重県 名張市	41.0×27.5
49	雪の春日野	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県 春日野	31.0×44.0
50	室生暮雪	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県 室生寺	44.0×31.0

第V期

長野県の厳しい冬の様相を描き出す《霧氷の譜》や《冬の旅》をはじめ、春の訪れを描いた《春兆》や《祭りの夜》、《柿生の里》など、東山が学生時代に制作した初期の作品を紹介した。

- 会期 令和6年1月18日(木)から4月9日(火)(72日間)
※諸般の事情により、会期を1週間延長して開催。
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 14,507人(有料:9,363人 無料:5,144人)
- イベント ギャラリートーク/日時:3月16日(土)14:00~14:30/
参加人数:11人
- 担当学芸員 松浦千栄子



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
東北・信州の旅 スケッチ *は除く							
1	雪国の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	不明(秋田か)	27.2×35.7
2	横手にて	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	秋田県 横手	30.5×38.7
3	雪の山村	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		28.8×34.7
4	寒風	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		27.5×36.5
5	冬の海辺	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		26.7×35.7
6	雪国	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		27.1×35.8
7	長野の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県 長野市	27.5×37.0
8	雨の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県 長野市	32.2×24.5
9	塩名田の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県 佐久市	27.0×36.5
10	街道の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県	26.0×38.5
11	霧氷の譜 小下図 A *	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・彩色	ドイツ北部 乗鞍山頂	21.8×32.0
12	霧氷の譜 *	1985	77	改組第17回日展	紙本・彩色	ドイツ北部 乗鞍山頂	130.0×185.0
13	霧氷の譜 小下図 B *	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・彩色	ドイツ北部 乗鞍山頂	21.0×31.0
14	霧氷の譜(下図) *	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・鉛筆	ドイツ北部 乗鞍山頂	129.7×183.8
15	小諸の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県 小諸市	27.5×37.0
16	夏の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県	26.0×37.2
17	薄暮	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		18.5×23.5
18	静晨 *	1994	86	「東山魁夷信州を描く」展	麻布・彩色	長野県 長野市 芋井	65.0×92.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
皇室の仕事 *は除く							
19	牡丹図	1927	19		絹本・彩色	東京都 下落合	82.5×113.8
20	柿生の里	1928	20		絹本・彩色	神奈川県 川崎市 柿生	36.5×56.5
21	祭りの夜	1929	21		絹本・彩色	東京都 靖国神社	54.8×72.0
22	自画像	1923	15		油彩・カンヴァス		33.0×23.0
23	六甲裏山にて	1923	15	スケッチ	紙本・彩色	兵庫県 神戸市	43.0×61.0
24	遠望(海上より)			スケッチ	紙本・彩色		28.4×37.0
25	夕映(十国峠富士)	1935-45	35-45	スケッチ	紙本・彩色	神奈川県 箱根	25.6×35.4
26	湖畔の冬(河口湖)	1941	33	スケッチ	紙本・彩色	山梨県 河口湖	21.0×16.5
27	海辺にて(伊豆)	1933-35	25-27	スケッチ	紙本・彩色	静岡県 伊豆	36.0×54.0
28	訪春(甲州にて)	1935-45	27-37	スケッチ	紙本・彩色	山梨県	27.7×36.0
29	春兆 *	1982	74	改組第14回日展	紙本・彩色	デンマーク コペンハーゲン	130.0×180.0
30	春兆 小下図 A *	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本・彩色	デンマーク コペンハーゲン	12.0×16.0
31	春兆 小下図 B *	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本・彩色	デンマーク コペンハーゲン	25.2×34.9
中国スケッチ *は除く							
32	頤和園にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 北京	37.0×28.0
33	承徳の春	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	25.0×35.2
34	町角	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国	36.3×29.5
35	喇嘛塔	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	43.1×31.2
36	古北口にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	37.0×28.5
37	長城を望む	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	28.0×36.8
38	承徳所見 A	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	23.5×32.5
39	冬の旅 小下図 *	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・彩色	秋田県 鹿角市 湯瀬	23.5×35.0
40	冬の旅 *	1989	81	改組第21回日展	紙本・彩色	ドイツ北部 乗鞍山頂	110.0×162.0
41	冬の旅(下図) *	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・鉛筆	秋田県 鹿角市 湯瀬	109.4×162.0
42	承徳所見 B	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	23.5×33.0
43	承徳所見 C	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	33.0×23.5
44	承徳所見 D	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	19.4×31.5
45	承徳所見 E	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国 承徳	23.8×33.0
ヨーロッパ風景							
46	ゲーテのガルテンハウス	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ワイマール	33.5×43.2
47	ワイマールにて	1933-35	25-28	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ワイマール	39.4×33.6
48	ベルリンの街	1933-35	25-29	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ベルリン	33.0×44.0
49	レーダー門	1933-35	25-30	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	30.7×21.9
50	ゲオルクの泉	1933-35	25-31	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ローテンブルク	30.3×21.8
51	モンブラン遠望	1933-35	25-32	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	フランス シャモニー	25.0×35.2
52	ジュネーブにて	1933-35	25-33	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	スイス ジュネーブ	25.5×34.5
53	モンマルトルにて	1933-35	25-34	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	パリ モンマルトル	30.7×41.0
54	夕影 (バイエルン地方南ドイツ)	1933-35	25-35	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ南部	44.5×33.1

辰野美術館開館45周年記念 日本の真ん中で美がひらく

交流展は、県内各地域の美術館と共に、双方のコレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会である。地縁ある作家たちの作品を中心に展示し、各館の特色を打ち出すことで、地域の魅力を改めて感じてもらうことを目指す。また、学芸員の交流を通じて、県内美術館との連携を深めることがねらいである。辰野美術館との共同開催となる本展では、洋画家の中川紀元、彫刻家中村七十、瀬戸團治、陶芸家の大森光彦など、両館のコレクションから辰野町、中信地域にゆかりの深い作品を中心に紹介した。

- 会期 令和5年10月7日(土)から11月26日(日)(44日間)
休館日：毎週月曜日(ただし、10月9日は開館)、10月10日(火)
- 会場 辰野美術館
- 主催等 [主催]辰野町、辰野美術館
[共催]長野県、長野県立美術館
[後援]信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民新聞グループ、長野日报社、市民タイムス、エルシーブイ株式会社
- 観覧料 一般600(500)円、学生410(310)円、高校生以下又は18歳未満無料
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 814名(有料：497人 無料：317人)
- イベント ①長野県立美術館館長講演会/日時：10月7日(土)13:30~14:30/講師：松本透(前当館館長)/場所：辰野美術館/参加人数：17人
②ギャラリートーク/日時：10月28日(土)13:30~14:30/講師：川島周(辰野美術館学芸員)/場所：辰野美術館展示室/参加人数：20人
③ギャラリートーク/日時：11月18日(土)13:30~14:30/講師：佐々木裕貴子(当館学芸員)/場所：辰野美術館展示室/参加人数：33人
- 担当学芸員 佐々木裕貴子

辰野美術館開館45周年記念
長野県立美術館交流名品展

美がひらく
2023.10.7sat-11.26sun

会場 | 辰野美術館
開館時間 | 9:00~17:00(受付終了16:30)
休 日 | 月曜日(10/9は開館)、10/10(火)
入 館 料 | 一般：600円(団体：500円)
高校生以下無料

●長野県立美術館館長 松本透による講演会
10月7日(土)13:30~14:30
定員30名 ※先着順、9時16時(土)より申込受付、要入館料

●学芸員によるギャラリートーク
10月21日(土)13:30~川島 周(辰野美術館)
11月18日(土)13:30~佐々木裕貴子(辰野県立美術館)
※料に45分程度、申込不要、要入館料

主催 | 辰野町、辰野美術館
共催 | 長野県、長野県立美術館
後援 | 信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民新聞グループ、
長野日报社、市民タイムス、エルシーブイ株式会社

辰野美術館
長野県上野原町辰野町2340-1(真神山公園内)
TEL.0266-43-0753 FAX.0266-41-4572
http://artm.town.tatsuno.nagano.jp



10月7日 長野県立美術館館長講演会

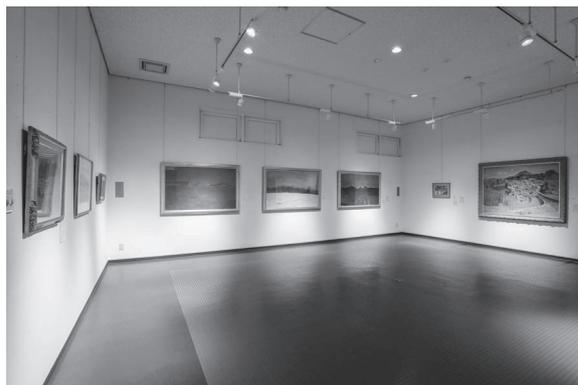
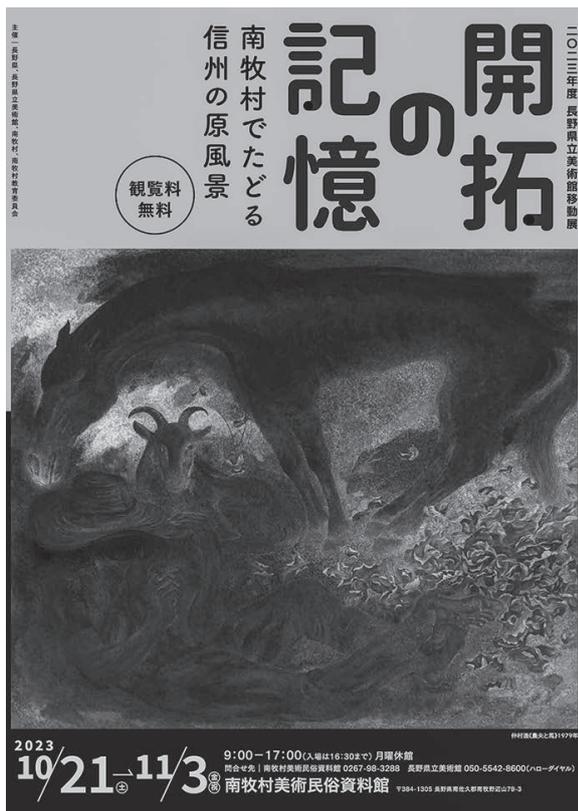
No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	サイズ(cm)	所蔵先
1階 第2展示室						
1	吉田 博	駒ヶ岳山頂より	1928(昭和3)年	木版、紙	24.5×37.7	長野県立美術館
2	吉田 博	駒ヶ岳岩小屋	1928(昭和3)年	木版、紙	24.7×37.6	長野県立美術館
3	川瀬巴水	木曾の須原	1925(大正14)年	木版、紙	20.8×28.5	長野県立美術館
4	伊藤孝之	木曾御嶽	1932(昭和7)年	木版、紙	18.2×25.5	長野県立美術館
5	山口 進	木曾駒ヶ岳馬の背	1963(昭和38)年	木版、紙	85.0×109.5	長野県立美術館
6	宮坂房衛	海景	1950(昭和25)年	彫金	34.0×30.0	辰野美術館
7	宮坂房衛	古代の祈り・はにわうたう	1984(昭和59)年	彫金	47.0×33.0	長野県立美術館
8	浜 達也	淡水の幻	1974(昭和49)年	鍍金	h36.0	長野県立美術館
9	水野英男	条彩の器	不詳	磁器	—	辰野美術館寄託
10	北原三佳	鍍銅花瓶	1964(昭和39)年	鍍金	30.0×29.0	長野県立美術館
11	和泉 清	青銅'2013-3	2013(平成25)年	鍍金	37×38×20	辰野美術館
12	松井康成	練上玻璃光大壺「輪廻転生」	2000(平成12)年	陶器	h37.6/φ40.6	長野県立美術館
13	松井康成	練上銅羅鉢「輪響」	1975(昭和50)年	陶器	h12.5/φ45.0	長野県立美術館
14	大森光彦	真紅栗鼠耳花瓶	不詳	陶器	18.0×21.0	辰野美術館
15	大森光彦	淡青磁釉裏紅松文花瓶	1938(昭和13)年頃	磁器	31.0×19.5	辰野美術館寄託
16	大森光彦	里の幸 透彫師壺	1950(昭和25)年頃	磁器	38.5×32.5	辰野美術館寄託
17	小口正二	夜明けの譜	1992(平成4)年	彫漆	80.2×65.3	長野県立美術館
1階 第1展示室						
18	横井弘三	浅間山風景	1949(昭和24)年頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	長野県立美術館
19	丸山晚霞	山上の潤地	不詳	水彩、紙	101.0×67.0	長野県立美術館
20	中村琢二	伊那谷の春	1979(昭和54)年	油彩、カンヴァス	91.0×117.0	長野県立美術館
21	早出守雄	丸山橋	1955(昭和30)年	水彩、紙	56.0×75.0	長野県立美術館
22	有島生馬	某氏像	1936(昭和11)年	油彩、カンヴァス	60.6×45.5	長野県立美術館
23	石井柏亭	野尻湖	1954(昭和29)年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	長野県立美術館
24	須山計一	遠山の湯立祭	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	73.0×91.5	長野県立美術館
25	曾宮一念	釜無入笠	1957(昭和32)年	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	長野県立美術館
26	金山平三	結氷	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	60.8×91.0	長野県立美術館
27	矢崎重信	『信濃の子供』原画 1 霧ヶ峰(表紙)	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5	長野県立美術館
28	矢崎重信	『信濃の子供』原画 2 諏訪神社	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5	長野県立美術館
29	矢崎重信	『信濃の子供』原画 12 糸とり	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5	長野県立美術館
30	矢崎重信	『信濃の子供』原画 20 柿もぎ	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5	長野県立美術館
2階 第3展示室						
31	細川宗英	立つ男のトルソ	1971(昭和46)年	ブロンズ	h54.8	長野県立美術館
32	武井直也	裸婦座像	1925(大正14)年	ブロンズ	h39.3	長野県立美術館
33	中村七十	若き女性	1940(昭和15)年	ブロンズ	h165.0	辰野美術館
34	中村七十	女の首	1934(昭和9)年	ブロンズ	h32.0	辰野美術館
35	荻原碌山	女の胴	1907(明治40)年	ブロンズ	h44.5	長野県立美術館
36	石井鶴三	風 試作	不詳	ブロンズ	h78.3	長野県立美術館
37	瀬戸團治	タカホの首	1935(昭和10)年	ブロンズ	h20.0	辰野美術館
38	瀬戸團治	静立	1954(昭和29)年	ブロンズ	h168.0	辰野美術館
39	清水多嘉示	裸婦	1959(昭和34)年	ブロンズ	177.0×56.0×39.0	長野県立美術館
40	瀬戸 剛	通奏低音	2004(平成16)年	FRP	h170.5	辰野美術館
41	中村董斎/中村七十	仁王像	1935(昭和10)年	木彫	h約120(各)	辰野美術館
42	山下 清	だりやと百日草	1954(昭和29)年	クレヨン、鉛筆、紙	36.4×25.9	辰野美術館寄託
43	山下 清	あおい	1954(昭和29)年	貼絵、紙	75.5×57.5	辰野美術館
44	山下 清	小野末夫君の顔	1954(昭和29)年	クレヨン、鉛筆、紙	44×36.6	辰野美術館
45	オノサト・トシノブ	シルク77	1976(昭和51)年	シルクスクリーン、紙	45.5×52.9	長野県立美術館
46	中川タマオ	星の帰り道	1978(昭和53)年	油彩、カンヴァス	162.5×130.5	辰野美術館
47	中川タマオ	橋の下の星だまり	1987(昭和62)年	シルクスクリーン、紙	57.5×49.8	辰野美術館
48	柴宮忠徳	樹(生)	1983(昭和58)年	油彩、カンヴァス	91×72.7	辰野美術館

No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	サイズ(cm)	所蔵先
49	吉江新二	影	1983(昭和58)年	油彩、カンヴァス	130.2×193.5	辰野美術館
2階 第4展示室						
50	中川紀元	風景(ポルト・ド・オルレアン)	1919-21(大正8-10)年	油彩、カンヴァス	162.5×130.5	辰野美術館
51	中川紀元	座せる女(1)	1919(大正8)年	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	辰野美術館
52	中川紀元	猫と女	1921(大正10)年	油彩、カンヴァス	168.1×83.6	長野県立美術館寄託
53	中川紀元	アラベスク	1921(大正10)年	油彩、カンヴァス	195.0×193.0	辰野美術館
54	中川紀元	松島残陽	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	72.7×90.9	辰野美術館寄託
55	中川紀元	鯉	不詳	紙本着色	45.3×55.2	辰野美術館
56	中川紀元	駒ヶ岳	1955(昭和30)年	紙本着色	76×153	辰野美術館
57	中川紀元	伊那谷静夜	1965(昭和40)年	油彩、カンヴァス	53.0×65.2	辰野美術館
58	中川紀元	子らの窓	1966(昭和41)年	油彩、カンヴァス	116.7×80.3	辰野美術館
59	中村不折	荒駅晩秋	1929(昭和4)年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	長野県立美術館
60	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)年頃	油彩、カンヴァス	80.4×53.9	長野県立美術館
61	江崎孝坪	無題(フラメンコ)	不詳	紙本着色	70.8×63.3	長野県立美術館
62	新村龍翠	画	不詳	紙本着色	79×136(外寸)	辰野美術館
63	菱田春草/横山大観	寿老・布袋図	1903(明治36)年頃	絹本彩色	各126.2×42.1	長野県立美術館
64	菱田春草/西郷孤月	春秋(春の野/湖畔の夕)	1901(明治34)年頃	絹本彩色	各107.0×36.5	長野県立美術館
65	増澤俊畝	豊穣の秋	1965(昭和40)年	絹本彩色	183×173	辰野美術館
66	新村友畝	牡丹図	不詳	紙本着色	78×90(外寸)	辰野美術館
67	藤崎千雲	泉飛包雲	1994(平成6)年	紙本墨画	116×60	辰野美術館
68	池上秀畝	黄柳白鷺	1918(大正7)年	絹本彩色	各169.0×366.0	長野県立美術館
69	松田秀石	孔雀図	不詳	絹本彩色	179.4×83	辰野美術館
70	佐藤雪洞	花鳥図	不詳	紙本着色	141×51	辰野美術館寄託
71	小坂芝田	深遠	1908(明治41)年	絹本彩色	230.3×99.7	長野県立美術館
72	中村七十	達磨	1940(昭和15)年	木彫	h39.0	辰野美術館
73	中村七十	出山釈迦	1933(昭和8)年	木彫	h38.0	辰野美術館
74	中村七十	聖徳太子	1931(昭和6)年	木彫	—	辰野美術館寄託
75	春原中道	栓拭漆箱	1997(平成9)年	木工	29.0×29.0×8.0	長野県立美術館
76	春原中道	タモ拭漆箱	1998(平成10)年	木工	35.0×20.0×15.0	長野県立美術館

2023年度長野県立美術館移動展 開拓の記憶—南牧村でたどる信州の原風景

長野県立美術館では、コレクションをより多くの方に鑑賞していただくため、1979（昭和54）年から県内各地で「移動展」を開催している。今年度は、八ヶ岳の裾野に位置する南牧村で、信州所縁の作品を中心とした長野県立美術館のコレクションを展覧した。標高1350メートルに位置する南牧村は、酪農や高原野菜の産地として名高い野辺山高原を有する信州屈指の冷涼地帯である。この野辺山高原では、戦後間もない時期に復員者や引揚者が入植し、農地開拓が行われた。また、白樺や落葉松が生い茂る自然豊かな環境に囲まれた村には、満天の星と共に穏やかな山村風景が広がっている。本展では、「牧場と人々の暮らし」「八ヶ岳周辺の風景」「開拓の記憶—馬と人と」「山を歩いて」の4章から、八ヶ岳やその周辺の自然を描いた風景画を中心に、信州の原風景としての開拓の記憶をたどるような展示構成を心掛けた。

- 会期 令和5年10月21日(土)から11月3日(金) (12日間)
休館日：毎週月曜日
- 会場 南牧村美術民俗資料館
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館、南牧村、南牧村教育委員会
- 観覧料 無料
- 入館者数 293人
- イベント ギャラリートーク／日時：10月21日(土) 14:00～14:30／講師：古家満葉(当館学芸員)／場所：南牧村美術民俗資料館／参加人数：8人
- 担当学芸員 古家満葉



No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1. 牧場と人々の暮らし					
01-001	小山周次	御牧ヶ原農地	不詳	水彩、紙	37.7×56.6
01-002	小山周次	御牧ヶ原用水池	不詳	水彩、紙	37.7×56.6
01-003	不破章	牛を描く	1973(昭和48)年	水彩、紙	37.4×56.5
01-004	小山周次	林檎の花と牛小屋	1957(昭和32)年	水彩、紙	56.2×75.5
01-005	伊東深水	草を食む牛	不詳	紙本彩色	26.0×37.0
01-006	桜井寛	黒い牛	1963(昭和38)年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
01-007	池田満寿夫	白い牛	1997(平成9)年	リトグラフ、紙	52.7×42.0
01-008	矢崎重信	『信濃の子供』原画 13 佐久平の病害虫防除	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
01-009	篠原新三	本家の庭	1913(大正2)年	水彩、紙	49.5×66.5
01-010	矢崎重信	木陰	1938(昭和13)年	油彩、カンヴァス	112.2×162.1
2. ハヶ岳周辺の風景					
02-001	高田誠	湖畔秋色	1938(昭和13)年	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
02-002	川瀬巴水	信州松原湖	1941(昭和16)年	木版、紙	24.3×36.5
02-003	矢崎重信	雷雲のハヶ岳	1954(昭和29)年	油彩、カンヴァス	27.3×41.0
02-004	中村研一	ハヶ岳	1959(昭和34)年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0
02-005	田村一男	ハヶ岳初冬	1978(昭和53)年	油彩、カンヴァス	89.4×145.5
02-006	田村一男	枯林	1978(昭和53)年	油彩、カンヴァス	89.4×145.5
02-007	田村一男	暁色	1977(昭和52)年	油彩、カンヴァス	89.6×145.5
02-008	不破章	ハヶ岳残雪	1978(昭和53)年	水彩、紙	38.0×56.5
3. 開拓の記憶—馬と人と					
03-001	毛利武彦	馬と人	1976(昭和51)年	岩絵具・膠彩・麻紙	145.5×111.6
03-002	河野通勢	農夫	不詳	多色石版 紙	18.7×29.6
03-003	村山槐多	農夫	1915(大正4)年	インク・鉛筆、紙	23.0×14.3
03-004	村山槐多	農夫	1915(大正4)年	鉛筆、紙	14.3×23.0
03-005	不破章	開拓地の女	1963(昭和38)年	水彩、紙	69.5×104.5
03-006	仲村進	農夫と馬	1979(昭和54)年	紙本彩色	188.0×221.0
03-007	不破章	農婦	1961(昭和36)年	水彩、紙	69.9×105.5
03-008	林俊衛	刈り入れ(未完)	1935(昭和10)年頃	油彩、カンヴァス	24.3×33.4
03-009	奥田郁太郎	とり入れのあと	1980(昭和55)年	油彩、カンヴァス	72.7×90.6
03-010	矢崎重信	『信濃の子供』原画7 木曾馬	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
03-011	坂本繁二郎	《馬の首》『現代作家デッサン集 洋画編』	1969(昭和44)年	木版、紙	26.3×19.1
03-012	池田満寿夫	馬	1990(平成2)年	リトグラフ、紙	51.0×40.3
03-013	池田満寿夫	馬車	不詳	コラージュ、紙	7.6×57.8
4. 山を歩いて					
04-001	伊東深水	柿	1946(昭和21)年	紙本彩色	27.5×39.5
04-002	伊東深水	柿の木 1	1945(昭和20)年	紙本彩色	40.0×28.0
04-003	伊東深水	山間の紅葉	不詳	紙本彩色	36.0×26.0
04-004	伊東深水	黄紅葉の溪流	不詳	紙本彩色	26.0×36.0
04-005	伊東深水	木立	不詳	紙本彩色	25.0×35.0
04-006	伊東深水	草花 1	不詳	紙本彩色	28.0×40.0
04-007	伊東深水	草花 2	不詳	紙本彩色	40.0×28.0
04-008	伊東深水	あざみ・撫子・われもこう	1946(昭和21)年	紙本彩色	55.0×37.5
04-009	中村善策	秋	1940(昭和15)年	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
04-010	林俊衛	松林の小径	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0

2023年度長野県立美術館移動展in伊那文 ～西洋と日本のはざままで～

長野県立美術館では、1966（昭和41）年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979（昭和54）年から県内各地で「移動展」を開催している。長野県立美術館として新たに出発した2021（令和3）年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。今年度は長野県立美術館NAMコレクション2023第Ⅲ期「西洋と日本のはざままで」の出品作を中心に展示した。河野通勢や小山敬三をはじめとして、南信地方出身の須山計一や中川紀元ら西洋と日本の間で新たな表現に取り組んだ作家たちの作品を紹介した。また、企画展「とびたつときー池田満寿夫とデモクラートの作家」（9月9日～11月5日）にちなみ、ヴェネツィア・ビエンナーレ大賞受賞後の池田満寿夫の軌跡を特集し、あわせて、菱田春草や横山大観と共に日本美術院を創設した、生誕150年を迎える松本出身の日本画家、西郷孤月を取り上げた。

- 会期 令和5年10月28日（土）から12月3日（日）（32日間）
休館日：毎週月曜日
- 会場 長野県伊那文化会館 美術展示ホール
- 主催等 [主催]長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館
[共催]伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会
- 観覧料 一般500（400）円、大学生及び75歳以上300（200）円、高校生以下又は18歳未満無料
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 入館者数 529名（有料：318名 無料：211名）
- イベント ①ギャラリートーク／日時：10月28日（土）14:00～14:30／講師：池田淳史（当館学芸員）／場所：長野県伊那文化会館美術展示ホール／参加人数：13人
②ギャラリートーク／日時：11月11日（土）14:00～14:30／講師：鈴木幸野（当館学芸員）／場所：長野県伊那文化会館美術展示ホール／参加人数：22人
- 担当学芸員 池田淳史



No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ (cm)
1 プロローグー西洋と日本のはざままで					
1	河野通勢	ハリストスに請う人々	1915(大正4)年	インク、紙	18.9×29.4
2	河野通勢	八戸理想主義	1915(大正4)年	コンテ、紙	47.6×62.5
3	河野通勢	『項羽と劉邦』挿絵より	1920(大正9)年	リトグラフ、紙	25.0×33.0
4	河野通勢	『項羽と劉邦』挿絵原画	1920(大正9)年	ペン・インク、紙	32.9×29.5
5	河野通勢	野球場風景	1923(大正12)年	エッチング、紙	4.9×12.3
6	河野通勢	二人花魁	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
7	小山周次	きらら坂	1932(昭和7)年	水彩、紙	47.5×31.0
8	小山敬三	盛夏風景	1953(昭和28)年	油彩、カンヴァス	80.3×65.2

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
2 西洋と日本のはざままで—古典表現					
9	野田英夫	初冬	1932(昭和7)年	油彩、カンヴァス	40.5×51.2
10	野田英夫	手紙を書く女	1933(昭和8)年	インク・鉛筆・色鉛筆、紙	20.9×25.6
11	松本竣介	婦人像	1942(昭和17)年頃	墨、紙	35.5×27.0
12	島崎鷗二	紅衣の婦人	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	128.5×96.5
13	島崎鷗二	水	不詳	油彩、カンヴァス	193.0×129.0
14	中川紀元	散華	1962(昭和37)年	油彩、カンヴァス	144.0×90.9
15	神津港人	夏(いんこ島)	1929(昭和4)年	油彩、カンヴァス	77.8×81.0
16	神津港人	静物的に配置せる裸体画	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	(中央)190.0×139.3 (左右)190.0×67.5
3 西洋と日本のはざままで—ルポルタージュ的表現					
17	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0
18	須山計一	家の中	不詳	エッチング、紙	22.1×29.6
19	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964(昭和39)年	油彩、カンヴァス	73.0×91.5
20	矢崎重信	馬込風景	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	80.4×116.7
21	矢崎重信	まりつき	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
22	矢崎重信	『信濃の子供』原画8 共同炊事	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
23	川松水棹	日蓮	1942(昭和17)年	紙本彩色	174.2×167.1
特別展示 西郷孤月生誕150年					
24	西郷孤月	深山の夕	1900(明治33)年	絹本墨画	141.0×71.0
25	西郷孤月	月下飛鷺	1901(明治34)年頃	絹本彩色	123.7×48.2
26	西郷孤月／菱田春草／ 横山大観	月夜山水	1901(明治34)年頃	絹本彩色	129.5×53.0
27	西郷孤月	主の救い	1901(明治34)年頃	絹本彩色	92.8×48.5
28	西郷孤月	瀑布	不詳	絹本彩色	各128.6×50.0
29	西郷孤月	柿双禽	1910(明治43)年頃	絹本彩色	121.0×49.3
特別展示 中村不折没後80年					
30	中村不折	高士図	不詳	絹本彩色	各168.7×341.5
現代彫刻、現代陶芸					
31	土谷武	昆虫 a	1969(昭和44)年	鑄鉄にクロムメッキ	6.5×31×20.5
32	林康夫	Reflection	1991(平成3)年	陶器	28.0×28.8×29.0
33	川上力三	風の門	2003(平成15)年	陶器	50.0×19.3×17.0
34	松井康成	重層象裂瓷大壺「山かげの灯」	1981(昭和56)年	陶器	h33.0、φ33.0
35	松井康成	練上破調文大壺	1985(昭和60)年	陶器	h37.5、φ34.5
36	松井康成	練上風白地壺	1988(昭和63)年	陶器	h28.4、φ30.6
37	松井康成	練上玻璃光大壺	1997(平成9)年	陶器	h34.0、φ35.8
38	松井康成	クレイ画「砂漠の街」	1993(平成5)年	陶器	34.5×46.0
関連展示 県立美術館企画展「とびたつきー池田満寿夫とデモクラートの作家」[9月9日～11月5日開催]					
39	池田満寿夫	手の意味	1966(昭和41)年	コラージュ、紙	10.8×76.3
40	池田満寿夫	夏の夢	1967(昭和42)年	コラージュ、紙	10.0×72.2
41	池田満寿夫	空の広告	1967(昭和42)年	コラージュ、紙	24.8×17.8
42	池田満寿夫	マリリンの半分	1968(昭和43)年	リトグラフ、紙	74.5×57.0
43	池田満寿夫	私は眠りにつける A	1969(昭和44)年	エッチング・ルーレット・メゾチント・ ドライポイント、紙	59.5×49.0
44	池田満寿夫	無題 美術手帖22	1969(昭和44)年	コラージュ・ボード紙	26.0×53.2
45	池田満寿夫	地中海	1974-82(昭和49-57)年	フロクータージュ・水彩、紙	45.5×40.0
46	池田満寿夫	夜の旅	1970(昭和45)年	エッチング・ルーレット・メゾチント・ ドライポイント・ビュラン、紙	56.8×39.0
47	池田満寿夫	ブロンズ・ヴィナス	1975(昭和50)年	メゾチント、紙	40.6×30.3
48	池田満寿夫	陽光のように	1981(昭和56)年	ドライポイント・アクアチント・ソフト グランドエッチング、紙	36.5×29.8
49	池田満寿夫	陽光の女	1983(昭和58)年	レリーフ陶版画	41.3×37.1×20.0
50	池田満寿夫	宗達の森	1986(昭和61)年	リトグラフ、紙	60.5×50.5
51	池田満寿夫	柳塔	1990(平成2)年	陶器	h38.5
52	池田満寿夫	磐梯	1990(平成2)年	陶器	h15.0

交流事業

1 善光寺平アートライン推進協議会

善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。

加盟館（順不同）

- 【長野市】 北野美術館／北野カルチュラルセンター／北野美術館 戸隠館／水野美術館／長野県立美術館
- 【須坂市】 豪商の館 田中本家博物館／須坂版画美術館／世界の民俗人形博物館／須坂クラシック美術館／旧小田切家住宅
- 【小布施町】 おぶせミュージアム・中島千波館／高井鴻山記念館／北斎館／日本のあかり博物館
- 【高山村】 一茶ゆかりの里 一茶館

1. 善光寺平アートライン推進協議会 研修会

参加者：24

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/8	令和5年度 善光寺平アートライン推進協議会 研修会 講演会「『松澤宥 生誕100年祭』にみる広報活動のハウツー」 講師：那波佳子（アート・建築に関わるPRエージェンシー リレーリレー LLP共同設立者、海外広報担当） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：上沢修、佐々木裕貴子	協議会加盟館職員	24

2 地域との連携事業

長野市立城山小学校クラブ活動のうち、美術館を会場として実施する「アートクラブ」への講師協力を行った。展示室内での鑑賞やワークショップを通して、美術館をより身近に感じながら、館内で楽しく過ごす機会を創出した。また、近隣施設である善光寺との連携事業として、「こどもアートラボ in 善光寺 善光寺の景色をきり“トリ”ましよう！」を善光寺忠霊殿にて開催した。県内美術館との連携としては、佐久市立近代美術館で開催された「絵を見ておはなし 鑑賞ツアー」に講師として参加し、対話型鑑賞についての講演及び実践を行った。



城山小学校アートクラブ

1. 長野市立城山小学校 アートクラブ

参加者：90

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/19	アートクラブ① オリエンテーション 長野県立美術館について、「長野版アートゲーム」 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校 アートクラブ 参加児童、 教員	18
2	6/26	アートクラブ② 展覧会を見に行こう！ ワークシートを使ったコレクション展の鑑賞 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、コレクション展示室） 担当：柄澤初音	城山小学校 アートクラブ 参加児童、 教員	18
3	7/10	アートクラブ③ ワークショップ「へんてこいきものを作ろう！」 アルミホイルと毛糸等を使った造形体験 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校 アートクラブ 参加児童、 教員	18
4	9/4	アートクラブ④ ワークショップ「美術館の壁に絵を描こう」 マスキングテープを使った壁画制作 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、エントランス） 担当：柄澤初音	城山小学校 アートクラブ 参加児童、 教員	18
5	10/3	アートクラブ⑤ ワークショップ「コラージュ缶バッジをつくろう！」 チラシや雑誌を切り抜き、コラージュ缶バッジを制作 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校 アートクラブ 参加児童、 教員	18



城山小学校アートクラブ



城山小学校アートクラブ

2. 佐久市立近代美術館 連携事業

参加者：20

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/3	絵を見ておはなし鑑賞ツアー 対話型鑑賞についての講演、実践 会場：佐久市立近代美術館 担当：青山由貴枝	一般参加者、 佐久市立近代 美術館職員	20

3. 善光寺事務局 連携事業

参加者：53

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	10/14	こどもアートラボin善光寺 善光寺の景色をきりとりましょう！ 善光寺事務局職員がプログラム運営を学び、当館職員と協働して善光寺境内にて「こどもアートラボ」を開催 会場：善光寺忠霊殿及び境内 担当：青山由貴枝、山下樹里	子どもから 大人まで	53

3 県内大学等との連携事業

信州大学(教育学部)、清泉女学院大学(学芸員課程)との連携事業として、鑑賞プログラムの運営をテーマとした出張授業及び館内プログラムを実施。来館者にとって美術館を身近なものとし、美術館での体験をより豊かなものにするための方法について学ぶ機会とした。

1. 清泉女学院大学との連携事業

参加者：84

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	10/2	第1回 ガイダンス、対話型鑑賞とは 長野県立美術館について、「長野版アートゲーム」、スライドを使用した対話型鑑賞の説明と実践 会場：清泉女学院大学 上野キャンパス 担当：柄澤初音	清泉女学院大学 3年生、教員	22
2	11/6	第2回 長野県立美術館の教育普及活動について 長野県立美術館の鑑賞プログラムの組み立て方についての講義 会場：清泉女学院大学 上野キャンパス 担当：柄澤初音	清泉女学院大学 3年生、教員	22
3	12/4	第3回 ワークショップ体験、会場下見 「みんなでチャレンジ！紙コップアート」のプログラム体験と ワークショップの運営方法についてのレクチャー 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：柄澤初音	清泉女学院大学 3年生、教員	22
4	1/13	第4回 こどもアートラボ運営 1月こどもアートラボ「さんかくであそぼう！」の準備、運営 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：柄澤初音	清泉女学院大学 3年生、教員	18



清泉女学院大学との連携事業



清泉女学院大学との連携事業



信州大学との連携事業

2. 信州大学との連携事業

参加者：55

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/1	「長野県立美術館について/ミュージアムエデュケーションとは？」 美術館紹介、ミュージアムエデュケーションについて、館内見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝	信州大学1年生、 教員	13
2	11/17	「鑑賞プログラム/こどもアートラボについて」 対話型鑑賞の概要説明と体験、こどもアートラボの意義と事例紹介 会場：信州大学教育学部 担当：青山由貴枝	信州大学2年生、 教員	14
3	12/5	「こどもアートラボに向けた企画プレゼンテーションと講評」 学生による企画プレゼン及び講評 会場：信州大学教育学部 担当：山下樹里	信州大学2年生、 教員	12
4	2/9	「こどもアートラボ運営」 2月こどもアートラボ「ほうしパーティへようこそ！」の準備、運営 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：山下樹里	信州大学2・3年生、 教員	16



信州大学との連携事業

4 インクルーシブ・プロジェクト

美術館がだれでも安心してアートと出会う場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」(2回)の開催や、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修等を実施した。また、視覚障がいをテーマとしたインクルーシブイベントを実施し、障がいの有無を超えて、アートを体験できる機会を提供した。

1. 館職員を対象としたインクルーシブ研修会の実施 参加者：46

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/29 7/3	あいサポーター研修 障がいの種別や障がい者の生活について、法律や条例 講師：長野県健康福祉部障がい者支援課 職員2名 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝	職員、アート・ コミュニケーター	46



インクルーシブ研修会の様子

2. 障がいのある方のための特別鑑賞日 参加者：248

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/5	障がいのある方のための特別鑑賞日 ひらくツール体験コーナーや、企画展モチーフに触れるスペースを設置 会場：長野県立美術館(展示室1・2・3、館内無料スペース) 担当：青山由貴枝	障がいのある方と 付添	169
2	10/25	障がいのある方のための特別鑑賞日 ひらくツール体験コーナーや、造形体験スペースを設置 会場：長野県立美術館(展示室1・2・3、館内無料スペース) 担当：柄澤初音	障がいのある方と 付添	79



障がいのある方のための特別鑑賞日



障がいのある方のための特別鑑賞日

3. インクルーシブイベントの開催 参加者：21

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	11/5	「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために 県内視覚障がい者とともに、展示室にて対話型鑑賞を实践 講師：日野陽子(京都教育大学准教授) 会場：長野県立美術館(レセプションルーム、コレクション展示室) 担当：青山由貴枝	障がいのある方と 付添、一般参加者	21



「みる」を考える

4. トークフリーデー

声の大きさを気にせずに作品をみて感じたことを話しながら作品鑑賞を楽しむ「トークフリーデー」を毎月1回(第4土曜日)設定し、来館者のより深い作品鑑賞を促す機会とした。

※開催時間は開館時間に準ずる

※参加者は展覧会来場者数に準ずる

学習事業

1 スクールプログラム

学校団体鑑賞の受入では、県内の小・中・高等学校を対象とした「自由鑑賞」、特別支援学校・学級を対象とした「オリジナルプログラム」を行い、計 105 校（児童・生徒・引率教員 4,276 名）が来館した。また、特別支援学校・学級への出張講座を 4 回、信州大学附属病院院内学級へ 2 回、長野県立こども病院院内学級へ 5 回の出張講座を実施。加えて県内の教員へ向けた教員研修会を 2 回実施した。

貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、12 件の学校教育施設へ貸出した。

1. 学校団体鑑賞の受入

自由鑑賞

受け入れ人数：4,053

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
1	4/25	長野県岩村田高等学校1年	200	10	210
2	4/28	International school of nagano 年長クラス	13	2	15
3	5/1	須坂市立豊丘小学校3,4年	16	3	19
4	5/25	長野県長野商業高等学校定時制1年	19	2	21
5	5/25	長野県上田千曲高等学校生活福祉科2年	35	3	38
6	5/25	長野県上田千曲高等学校商業科2年	40	2	42
7	5/26	東御市立祐津小学校4年	33	2	35
8	5/27	学校法人豊野学園豊野高等専修学校1~3年	9	3	12
9	6/3	長野女子高等学校美術部	7	1	8
10	6/6	長野県飯田OIDE長姫高等学校1年	41	2	43
11	6/6	中野市立豊田中学校2年	24	4	28
12	6/10	松本市立清水中学校1~3年	35	2	37
13	6/12	小諸市立美南が丘小学校4年	116	7	123
14	6/12	中川村立中川東小学校4年	22	5	27
15	6/13	第一学院高等学校長野キャンパス1~3年	32	2	34
16	6/13	中野市立豊田小学校4年	15	3	18
17	6/13	長野市立豊野東小学校4年	21	3	24
18	6/17	長野市立三陽中学校1~3年	59	1	60
19	6/17	長野市立豊野中学校美術部	26	1	27
20	6/23	東御市立北御牧小学校4年	36	5	41
21	7/4	諏訪市立上諏訪小学校4年	62	5	67
22	7/7	飯田市立三穂小学校4年	16	2	18
23	7/13	上田市立武石小学校4年	24	2	26
24	7/20	佐久市立中込小学校4年	58	3	61
25	7/21	長野県長野高等学校定時制	23	8	31
26	8/3	中野市立南宮中学校1~3年	40	2	42
27	8/7	中野市立高社中学校美術部	30	1	31
28	8/24	長野県屋代南高等学校3年	4	1	5
29	8/25	鹿島学園高等学校1~3年	10	2	12
30	9/4	野沢温泉村立野沢温泉小学校4年	22	2	24
31	9/5	上田市立神科小学校6年	117	5	122
32	9/7	長野市立川中島小学校5年	97	5	102
33	9/8	長野県篠ノ井高等学校2年	40	2	42
34	9/8	大桑村立大桑小学校4年	17	3	20
35	9/11	長野県長野西高等学校1~4年	90	20	110
36	9/11	高山村立高山小学校4年	45	3	48
37	9/14	中野市立平野小学校4年	87	6	93
38	9/19	飯綱町立幸礼小学校4年	52	4	56
39	9/21	長野県野沢北高等学校1年	40	2	42
40	9/22	長野市立山王小学校2年	28	4	32
41	9/26	千曲市立埴生小学校4年	92	6	98
42	9/28	上田市立傍陽小学校4年	12	3	15
43	9/28	上田市立塩川小学校4年	20	2	22
44	9/28	朝日村立朝日小学校4年	26	2	28
45	9/29	長野市立青木島小学校5年	122	6	128
46	9/29	上田市立長小学校4年	20	2	22
47	9/29	長野市立塩崎小学校5年/長野市立信更小学校5年	50	5	55

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
48	9/29	長野市立三本柳小学校2年	101	7	108
49	10/3	安曇野市立明南小学校4年	28	2	30
50	10/5	中野市立豊田小学校4年	19	3	22
51	10/5	須坂市立日滝小学校2年	44	4	48
52	10/5	木曾町立開田小学校4年	10	3	13
53	10/5	長野県佐久平総合技術高等学校1年	33	2	35
54	10/6	長野市立共和小学校2年	35	4	39
55	10/10	木曾町立日義小学校4年	14	3	17
56	10/12	長野市立松代中学校2年	112	6	118
57	10/12	木曾町立三岳小学校4年	5	4	9
58	10/13	長野市立柳原小学校2年	57	4	61
59	10/13	松本市立波田小学校5年	136	8	144
60	10/17	長野市立篠ノ井西中学校2年	150	10	160
61	10/17	岡谷市立上の原小学校4年	31	3	34
62	10/17	佐久市立平根小学校4年	30	3	33
63	10/17	大町市立八坂小中学校4年	6	2	8
64	10/19	長野市立長沼小学校2年	13	3	16
65	10/19	松本市立旭町小学校4年/長野県松本盲学校4年	57	7	64
66	10/24	長野市立中条小学校4年	6	2	8
67	10/26	須坂市立森上小学校2年	40	4	44
68	10/27	駒ヶ根市立赤穂小学校4年	27	2	29
69	10/27	地球環境高等学校1~3年	18	3	21
70	10/28	信濃町立信濃小中学校7~9年	11	2	13
71	10/31	上田市立川辺小学校4年	101	6	107
72	11/2	須坂市立仁礼小学校2年	34	3	37
73	11/2	文化学園長野中学校1年	16	2	18
74	11/2	飯山市立木島小学校4年	22	2	24
75	11/6	信州大学教育学部附属長野中学校2年①	41	1	42
76	11/10	長野市立樞花小学校5年	75	4	79
77	11/10	信州大学教育学部附属特別支援学校5,6年	6	3	9
78	11/16	長野市立鬼無里小学校6年	6	1	7
79	11/17	信州大学教育学部附属長野中学校2年②	41	1	42
80	11/20	学校法人軽井沢風越学園3,4年	59	6	65
81	11/24	長野県長野工業高等学校1年	35	2	37
82	11/30	須坂市立日滝小学校4年	54	4	58
83	12/1	信州大学教育学部附属長野中学校2年③	41	1	42
84	12/4	信州大学教育学部附属長野中学校2年④	41	1	42
85	12/11	信州大学教育学部附属長野中学校2年⑤	41	2	43
86	1/21	長野県伊那北高等学校1,2年	10	1	11
87	1/28	ID学園高等学校1~6年	31	3	34
88	1/29	長野県長野ろう学校中学部1~3年	15	11	26
89	2/6	信州中央高等学院1,2年	10	3	13
90	2/9	高山村立高山小学校特別支援学級	10	5	15
91	2/15	中野市立豊田中学校特別支援学級	3	1	4
92	3/19	信州中央高等学院1,2年	8	2	10

特別支援学校オリジナルプログラム

受け入れ人数：223

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
1	5/2	長野県長野養護学校小学部6年	11	6	17
2	5/25	長野県稲荷山養護学校高等部2年	4	6	10
3	6/16	長野県長野養護学校小学部3年	7	6	13
4	7/27	小布施町立栗ガ丘小学校特別支援学級	13	7	20
5	8/22	長野県長野ろう学校文化部	16	4	20
6	9/7	長野県小諸養護学校高等部2,3年	3	4	7
7	9/25	長野県長野養護学校2年	7	4	11

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
8	10/12	長野県長野養護学校手芸班	15	6	21
9	11/21	長野県稲荷山養護学校高等部1年	21	8	29
10	11/30	長野県長野ろう学校小学部4年～高等部1年	6	7	13
11	12/1	長野市立三輪小学校特別支援学級	17	7	24
12	1/12	長野県長野養護学校中学部2年	8	5	13
13	2/8	長野県長野養護学校中学部1年	16	9	25



2. 盲・ろう・特別支援学校等への出張講座

参加者：112

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/16	信州大学附属病院 院内学級 「まねっこ魁夷！スタンプバッグをつくろう」(造形体験) 担当：柄澤初音	中学生、教員	6
2	6/29	長野県立こども病院 院内学級 「人間国宝 松井康成に挑戦！練上手でお皿をつくろう」(造形体験) 担当：柄澤初音	小中高生、 教員	6
3	7/20	長野県立こども病院 院内学級 「貼り絵でアート！」(造形体験) 担当：柄澤初音	中高生、教員	4
4	10/3	長野県立こども病院 院内学級 「へんてこ生き物をつくろう！」(造形体験) 担当：柄澤初音	小中高生、 教員	6
5	10/4	須坂市立須坂小学校 特別支援学級 「ちぎって魁夷！マスキングテープで馬を作ろう」(造形体験) 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童、教員	8
6	11/28	長野県稲荷山養護学校 そよかぜ教室 「ひらくツール体験」 「まねっこ魁夷！スタンプバッグをつくろう」(造形体験) 担当：柄澤初音	児童生徒、 教員	20
7	12/1	長野県立こども病院 院内学級 「木端でつくろうみんなのまち」(造形体験) 担当：柄澤初音	中高生 教員	4
8	1/21	長野県稲荷山養護学校 「おやこで楽しもう！手ざわりの世界」(鑑賞・造形体験) 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童生徒、 教員、保護者	20
9	2/13	長野県立こども病院 院内学級 「木端でつくろうみんなのまち」(造形体験) 担当：柄澤初音	小中高生、 教員	7
10	2/16	信州大学附属病院 院内学級 「木端でつくろうみんなのまち」(造形体験) 担当：柄澤初音	小中学生、 教員	10
11	2/20	長野県稲荷山養護学校 小学部3年 「カラフルねんどでお皿をつくろう」(造形体験) 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童、教員	21



出張講座



出張講座



教員研修会の様子



スクールプログラム一斉説明会



スクールプログラム一斉説明会

3. 学校教職員の研修会等の開催および協力

参加者：40

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/19	南部教職員会 函工美術委員会 令和5年度南部教職員函工美術委員会夏季研修会 長野版アートゲーム、スライドによる対話型鑑賞についての 講演と実践 会場：駒ヶ根市立赤穂中学校 担当：柄澤初音、青山由貴枝	教員	6
2	7/28 8/7	長野県立美術館 令和5年度スクールプログラム一斉説明会 長野県立美術館での鑑賞教育について、スクールプログラ ムの利用方法、館内自由見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：柄澤初音、青山由貴枝	教員	34

4. 鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出

貸出数：12

No.	貸出先	教師用	生徒用
1	長野美術専門学校ながの美術こども学校	1	4
2	中野市立豊田中学校	1	6
3	箕輪町立箕輪中学校	1	6
4	長野市立柳原小学校	1	6
5	諏訪市立上諏訪小学校	1	7
6	長野市立川中島中学校	9	0
7	野沢温泉村立野沢温泉小学校	1	6
8	須坂市立日滝小学校	2	12
9	長野市立塩崎小学校	2	15
10	長野市立三本柳小学校	1	8
11	栃木県立美術館	1	1
12	長野県飯田OIDE長姫高等学校	1	4

2 鑑賞プログラムの開催

子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の鑑賞プログラム「こどもアートラボ」や、展示室で対話による鑑賞を行う「おやこでトーク」、「おとなもトーク」を開催。また、3つの巨石を来館者ととも磨く「Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ」を開催し、美術館に訪れる方が、アートに親しむための機会とした。

1. こどもアートラボ

参加者：867

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/8	こどもアートラボ 「松井康成に挑戦! 練上手でお皿をつくろう!」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	55
2	5/13	こどもアートラボ 「みんなでチャレンジ! 紙コップアート」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	151
3	6/10	こどもアートラボ 「へんてこいきものを作ろう!」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	71
4	7/8	こどもアートラボ 「にじいろスティックであそぼう」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	90
5	8/12	こどもアートラボ 「つくろう! アートなお絵かき帳」 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	53
6	9/9	こどもアートラボ 「木端でつくろう! みんなのまち」 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	54
7	10/14	こどもアートラボin善光寺 「善光寺の景色をきりとりましょう!」 会場：善光寺忠靈殿、境内 担当：青山由貴枝、山下樹里 ※善光寺事務局との連携事業として運営に善光寺職員が参加	子どもから大人まで	53
8	11/11	こどもアートラボ 「みんなでチャレンジ! 紙コップアート」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	151
9	1/13	こどもアートラボ×清泉女学院大学 「さんかくであそぼう!」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：柄澤初音 ※清泉女学院大学との連携事業として企画運営を学生が担当	子どもから大人まで	76
10	2/10	こどもアートラボ×信州大学 「ほうしパーティへようこそ!」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：山下樹里 ※信州大学との連携事業として企画運営を学生が担当	子どもから大人まで	60
11	3/9	こどもアートラボ 「アートなマスクで変身しよう!」 会場：長野県立美術館(交流スペース) 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	53

※「こどもアートラボ」12/9(土)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

2. おやこでトーク

参加者：19

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/27	おやこでトーク①「NAMコレクション2023第II期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：青山由貴枝、柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	4
2	9/29	おやこでトーク②「NAMコレクション2023第IV期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：柄澤初音、青山由貴枝	小学生以下の子どもとその保護者	6
3	11/25	おやこでトーク③「東山魁夷館コレクション展2023第IV期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝	小学生以下の子どもとその保護者	2
4	1/27	おやこでトーク④「東山魁夷館コレクション展2023第V期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝	小学生以下の子どもとその保護者	4
5	3/23	おやこでトーク④「NAMコレクション2023第VI期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	3



こどもアートラボ



こどもアートラボ



おやこでトーク



おやこでトーク

3. おとなもトーク

参加者：24

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/27	おとなもトーク①「NAMコレクション2023第II期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：青山由貴枝、山下樹里	一般参加者 (中学生以上)	6
2	9/23	おとなもトーク②「たびたつきー池田満寿夫とデモクラートの作家たち」 会場：展示室1・2・3 ファシリテータ：山下樹里	一般参加者 (中学生以上)	2
3	11/25	おとなもトーク③「NAMコレクション2023第IV期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：山下樹里、柄澤初音	一般参加者 (中学生以上)	7
4	1/27	おとなもトーク④「東山魁夷館コレクション展2023第V期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝	一般参加者 (中学生以上)	5
5	3/23	おとなもトーク⑤「春陽会生誕100年 それぞれの闘い」 会場：展示室1・2・3 ファシリテータ：青山由貴枝	一般参加者 (中学生以上)	4



おとなもトーク

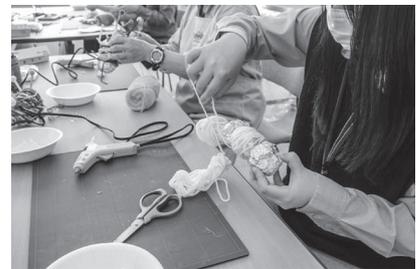


オリエンテーション

4. Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ

参加者：589

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/3 5/4 5/5	石磨きワークショップ(ヤスリ/6,000番) 講師：富長敦也(彫刻家) 会場：交流スペース外 担当：柄澤初音	一般参加者	589



子どもアートラボ事前準備

3 アート・コミュニケーター

アートを介してさまざまなコミュニケーション活動を行う人々「アート・コミュニケーター(AC)」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。今年度は、アート・コミュニケーター56名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画(ACラボ)、ACを対象とした勉強会(ACゼミ)などを積極的に行った。館内活動の拠点として、アート・コミュニケータールーム(本館2階)やレセプションルーム(本館3階)を使用した。1期生は任期満了となるにあたり、デビュー式(卒業式)を実施した。また3期生の募集を行い、全6回の基礎講座を修了した25名が3期生として正式に加わった。

1. 館主催プログラムへの参加

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	4/2 5/28 1/14	子どもアートラボ事前準備 子どもから大人までを対象とした造形体験の事前準備(見本作り等)に参加。	3回	29
2	4月~7月 10月	子どもアートラボ 子どもから大人までを対象とし、コレクションや展覧会をテーマに造形体験を実施。美術館スタッフとして活動。	5回	43
3	4/22	オリエンテーション 年度始めとして、ACの活動方法の確認や更新された「活動の約束」の確認、レクリエーションなどを行った。	1回	51
4	5/3 5/4 5/5	Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ 彫刻家・富長敦也による、3つの巨石を来館者とともに磨く「石磨きワークショップ」に参加。	3回	28
5	6/29 7/3	障がいのある方のための特別鑑賞日スキルアップ研修 講義を通して障がいの種別やその特性、長野県の条例などについて基本的な知識を身につけた。	2回	13
6	7/5 10/25	障がいのある方のための特別鑑賞日 駐車場の整理から、館外から館内への案内、館内での各種ガイド、見回り、体験コーナーの運営など美術館スタッフとして参加。	2回	39
7	12/15 ~21	アートライブラリー蔵書点検、清掃 ライブラリー活動に興味のあるACが多数参加し、バックヤードでの蔵書点検や清掃を行った。	5回	18
8	12/17	AC1期生オリエンテーション 任期満了後のACと美術館との関わりについてオリエンテーションを行った。	1回	16
9	1/14	AC2期生オリエンテーション 現在の状況や今後やりたいことなど、AC同士やスタッフが意見交換を行う場を設けた。	1回	16
10	3/24	長野県立美術館アート・コミュニケーター1期生 デビュー式・交流会 AC1期生一人一人にデビュー証書の授与を行い、AC活動を振り返る場とした。デビュー式の後、2期生・3期生との交流会も行った。	1回	76

合計 24回 329



子どもアートラボ



障がいのある方のための特別鑑賞日



AC1期生 デビュー式

2. AC自主企画プログラムの開催(一般に参加者を募る「ACラボ」など)

No.	開催日	事業内容	回数	AC	参加者数
1	6/18	ACラボ「Check it out! 美術館探検ツアー」 会場：交流スペース、美術館内外 グループでチェックポイントを見つけたり、インスタントカメラでお気に入りの風景などを撮影したりしながら館内を巡るイベントを開催。	1回	8	10
2	8/23	ACラボ「押し絵て(おしえて) アート作品をもっと楽しもう!」 会場：レセプションルーム、コレクション展示室 コレクション展を鑑賞し、自分のお気に入り(押し)の作品を見つけて、「押しポイント」をそれぞれ発表し合う鑑賞イベントを開催。	1回	9	10
3	9/16	ACラボ「Soil Full World」土で描こう! 会場：交流スペース 土で絵を描くイベントを開催。2021年に続き2回目の開催となった。	1回	13	28
4	11/3	ACラボ「コラージュで作ろうブックカバー」 会場：交流スペース 池田満寿夫のコラージュ作品をヒントに、チラシや包装紙などを使ったコラージュ作品を作り、お気に入りの本にかぶせてブックカバーにするイベントを開催。	1回	8	36
5	12/10	ACラボ「かんなくずでクリスマスオーナメントをつくってみよう」 会場：交流スペース 木材加工の際にゴミになってしまうかんなくずを使って、クリスマスオーナメントを制作するイベントを開催。	1回	15	39
6	12/23	ACラボ「なんてったって!タイトル 作家気分で命名しよう」 会場：レセプションルーム、コレクション展示室 コレクション展を鑑賞し、作品の印象からオリジナルのタイトルを考えて発表し合う鑑賞イベントを開催。	1回	6	6
7	3/1 ~3/4	長野県立美術館アート・コミュニケータ1期生卒業制作展 3年の任期を終えるAC1期生が、活動を紹介するパネル展示や、個人が制作した作品を発表した。また、会期中に今までACラボで開催したワークショップを体験できるイベントを開催。	1回	35	510
合計			7回	94	639



ACラボ



ACラボ



AC1期生卒業制作展

3. AC自主企画プログラムの開催(ACを対象とした「ACゼミ」など)

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	6/21	気軽におでかけクラブ「仙仁温泉 岩の湯に行ってみよう!」 会場：仙仁温泉(須坂市)ほか ACが企画した館外活動。須坂市の町並み調査や、温泉宿「岩の湯」専務から環境づくりやホスピタリティについて話を聞いた。活動の前後に、何を学び、何をACとして還元できるのかを話し合うミーティングを複数回行った。	1回	15
2	7/30	ACゼミ「地域で活躍するアーティストとの交流」 会場：レセプションルーム 講師：若麻績敏隆(善光寺白蓮坊住職、パステル画家) 市内在住、善光寺白蓮坊住職でありパステル画家として活躍する若麻績氏を講師に招き、宗教とアートなど多岐に渡る話を聞き、学びを得た。	1回	18
3	10/15	ACゼミ「アートライブラリー司書の矢口琴衣さんにお話を聞いてみよう ~アートライブラリーをゆる〜く楽しみましょう~」 会場：レセプションルーム、アートライブラリー 講師：矢口琴衣(当館司書) 当館のアートライブラリーの活用を考えるACが集まり、司書の矢口氏の話聞き、交流を図った。	1回	18
4	10月 ~3月	AC2期生でおしゃべり会 会場：ACルーム AC2期生が主体となって定期開催している交流会。	5回	37
5	12/16	ACゼミ「はじめての読み聞かせ」 会場：アートライブラリー 講師：堀内京子(元小学校教諭、元長野県図書協会推薦図書選定委員) 読み聞かせプログラムを企画検討するACが集まり、県内で読み聞かせの講座等を多数行ってきた堀内氏に、読み聞かせの意義や選書方法、読み方などを教わった。	1回	10
6	12/17	ACゼミ「地域で活躍するアーティストとの交流 第2弾」 会場：レセプションルーム、コレクション展示室 講師：小山利枝子(画家) 市内在住で、当館の収蔵作家でもある小山氏を講師に招き、自身の制作や展示中の収蔵作品についての解説を聞いた。	1回	15
合計			10回	113



ACゼミ



ACゼミ

4. AC3期生 基礎講座(全6回)

No.	開催日	事業内容	AC
1	11/18	第1回基礎講座 オリエンテーション 講師：山下樹里(当館学芸専門員) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	25
2	12/2	第2回基礎講座 「鑑賞／みる」を考える 講師：青山由貴枝(当館学芸専門員) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	23
3	12/16	第3回基礎講座 「きく」力 講師：西村佳哲(プランニング・ディレクター) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	27
4	1/20	第4回基礎講座 コミュニケーションって何だろう？ 講師：伊藤達矢(東京藝術大学教授) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	24
5	2/17	第5回基礎講座 グッド・ミーティング／プログラムづくり 講師：青木将幸(ミーティングファシリテーター) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	27
6	3/2	第6回基礎講座 プログラム発表 講師：青木将幸(ミーティングファシリテーター) 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	25
合計			151

※第3回～第6回には希望するAC2期生も参加した。

5. AC年間活動回数

	1期生	2期生	3期生	合計
4月	66	31	—	97
5月	55	32	—	87
6月	53	25	—	78
7月	73	38	—	111
8月	19	7	—	26
9月	40	19	—	59
10月	73	38	—	111
11月	32	19	25	76
12月	69	30	44	143
1月	36	24	19	79
2月	61	14	26	101
3月	67	26	33	126
合計	644	303	147	1094



第1回基礎講座



第3回基礎講座



第4回基礎講座



第5回基礎講座



第6回基礎講座

アートライブラリー

1 統計

(1) 図書資料の受入統計

	展覧会カタログ	図書	雑誌(年報・紀要等含む)
購入	6	225	137
寄贈	449	183	277
計	455	408	414

※総受入数は1,277冊

(2) アートライブラリー利用統計

	入室者数	図書出納利用者数	出納図書数	レファレンス数	複写
4月	763	6	26	3	0
5月	1,115	7	24	4	1
6月	975	3	7	6	2
7月	1,063	6	14	6	1
8月	1,148	8	29	6	4
9月	772	7	13	7	1
10月	714	6	22	1	1
11月	629	1	1	0	0
12月	415	0	0	0	2
1月	833	2	5	5	3
2月	784	3	5	7	0
3月	584	0	0	10	2
計	9,795	49	146	55	17

※12月14日から26日まで蔵書点検・整理のため休室

2 アートライブラリーサービス

(1) 蔵書検索

インターネットによる蔵書検索システム(OPAC)の専用端末を設置し、一般の利用者が展覧会図録や図書を検索できるよう対応した。

(2) 所蔵作品検索

所蔵作品検索用端末を設置し、一般の利用者が当館の所蔵作品を検索できるよう対応した。

(3) 閲覧

閲覧室で収集保存している美術図書や展覧会図録、美術雑誌等を公開し、一般の利用者が自由に資料を閲覧できるよう対応した。

(4) レファレンス・サービス

美術関連資料や所蔵状況の問合せなどに対応し、他の図書館等の所蔵確認も行った。

また、その内容を国立国会図書館のレファレンス共同データベースへ掲載したり、他へ記録として残したりすることで、データを蓄積し、活用できるように努めた。

(5) 複写サービス

閲覧室内で所蔵する図書資料について、資料の状態や著作権の範囲内で複写サービスを実施した。

(6) 当館ウェブサイトへの利用案内掲載

当館ホームページにアートライブラリーの利用案内を掲載するとともに、同ページから蔵書検索や所蔵作品検索ができるよう対応した。

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期		
水野美術館		「横山大観展～語る大観、語られる大観」	令和5年4月8日～5月28日		
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	備考
1	菱田春草・横山大観	乳糜供養・釈迦と魔女	1903(明治36)年頃	絹本・彩色	
2	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949(昭和24)年	絹本・彩色	
3	菱田春草、横山大観、西郷孤月、下村観山、木村武山	初期日本美術院同人扇面画帳	不詳	紙本・墨画	個人蔵(長野県立美術館寄託)
上田市立美術館、目黒区美術館		「中村直人一彫刻から絵画へ」	[上田]令和5年4月15日～6月11日、 [目黒]7月15日～9月3日		
4	中村直人	大原女	1955(昭和30)年	ガッシュ・紙	
5	中村直人	会合	1980(昭和55)年	ガッシュ・紙	
川崎市岡本太郎美術館、足利市立美術館、久留米市美術館、町立久万美術館、碧南市藤井達吉現代美術館		「顕神の夢—幻視の表現者—村山槐多、関根正二から現代まで」	[川崎]令和5年4月29日～6月25日、[足利]7月2日～8月17日、 [久留米]8月26日～10月15日、[久万]10月21日～12月24日、 [碧南]令和6年1月5日～2月25日		
6	河野通勢	裾花川の河柳	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	
7	河野通勢	三人の乞食	1916(大正5)年	油彩・カンヴァス	
8	河野通勢	アダムとイヴ	1914(大正3)年	油彩・厚紙	
9	村山槐多	尿する裸僧	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
千葉県立美術館		令和5年度第2期コレクション展「名品2 東山魁夷—深まりゆく自然と人生—」	令和5年6月3日～7月9日		
10	東山魁夷	白馬の森	1972(昭和47)年	紙本・彩色	
11	東山魁夷	草青む	1972(昭和47)年	紙本・彩色	
12	東山魁夷	朝濤	1973(昭和48)年	紙本・彩色	
13	東山魁夷	夕静寂 小下図	1974(昭和49)年	紙本・彩色	
上田市立美術館		「刀剣と甲冑～地域の刀剣の歴史と現代の匠の技」	令和5年7月15日～9月3日		
14	山浦真雄	短刀	1850(嘉永3)年	刀	
東京ステーションギャラリー、栃木県立美術館、碧南市藤井達吉現代美術館		「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」	[東京]令和5年9月16日～11月12日、[栃木]令和6年1月13日～3月3日、 [碧南]5月25日～7月7日		
15	河野通勢	此度震災所見図(本所瓦町)	1923(大正12)年	エッチング・紙	
16	河野通勢	被服廠	1923(大正12)年	エッチング・紙	
17	河野通勢	秋色競艶	1923(大正12)年	エッチング・紙	
18	林俊衛	或る詩人の肖像(辻潤氏像)	1932(昭和7)年	油彩・カンヴァス	
19	藤井令太郎	室内	1970(昭和45)年	油彩・カンヴァス	
安曇野高橋節郎記念美術館		「開館20周年記念展—あなたの節郎—」	令和5年9月14日～12月10日		
20	高橋節郎	慶雲—孔雀雲—	1988(昭和63)年	紙本・彩色	
21	高橋節郎	赤いカーテン	不詳	漆絵	
森美術館		「私たちのエコロジー：地球という惑星を生きるために」	令和5年10月18日～令和6年3月31日		
22	松澤宥	プサイの意味—ハイゼンベルグの宇宙方程式に寄せて	1960(昭和35)年	パステル・紙ほか	個人蔵(長野県立美術館寄託)
上田市立美術館		「上田クロニクル(年代記)—上田・小泉洋画史100年の系譜—」	令和6年1月13日～3月10日		
23	伊川鷹治	朝陽(二月・房総海)	1962(昭和37)年	油彩・カンヴァス	
24	山崎省三	古宇ホリカップ風景	不詳	油彩・ボード	信濃デッサン館コレクション
練馬区立美術館		「生誕150年 池上秀畝—高精細画人—」	令和6年3月16日～4月21日		
25	池上秀畝	深山鳴鹿図	不詳	絹本・彩色	
26	池上秀畝	四季花鳥(春・夏・秋・冬)	1918(大正7)年	絹本・彩色	
27	池上秀畝	画卷	不詳	絹本・彩色、墨画	
28	池上秀畝	秋雨	1932(昭和7)年	絹本・彩色	
29	池上秀畝	岐蘇川画巻(天・地・人)	1921(大正10)年	紙本・彩色	
30	池上秀畝	秋日和 大下図	1934(昭和9)年	紙本・墨画	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	備考
31	池上秀畝	画稿4	不詳	紙本・墨画	
32	池上秀畝	画稿5	不詳	紙本・墨画	
33	池上秀畝	画稿7	不詳	紙本・彩色	
34	池上秀畝	画稿8	不詳	紙本・彩色	
35	池上秀畝	画稿9	不詳	紙本・彩色	
36	池上秀畝	画稿10	不詳	紙本・彩色	
37	池上秀畝	画稿11	不詳	紙本・彩色	
38	池上秀畝	画稿12	不詳	紙本・彩色	
39	池上秀畝	画稿帳	不詳	紙本・彩色、墨画	
40	菱田春草	伏姫(常磐津)	1900(明治33)年	絹本・彩色	
41	菱田春草	羅浮仙	1901(明治34)年頃	絹本・彩色	

MIDORI長野展示

令和5年度上半期(4月14日～9月18日)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	晴白練上壺	1990	陶器
3	松井康成	萃瓷練上陶筥	1993	陶器
4	松井康成	萃瓷練上壺	1994	陶器

令和5年度下半期(9月19日～令和6年4月24日)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上嘯裂文大壺	1979	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1994	陶器
4	松井康成	萃瓷練上茶盃	1995	陶器



MIDORI長野展示(上半期)



MIDORI長野展示(下半期)

新収蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	小山利枝子	光・誕生	1993	アクリル・カンヴァス	248×396	購入
2	小山利枝子	胎動	2008	アクリル・カンヴァス	228×437	購入
3	根岸芳郎	99-11-7	1999	アクリル・カンヴァス	210×360	購入
4	根岸芳郎	16-5-14	2016	アクリル・カンヴァス	220×370	購入
5	松澤宥	パラサイコロジー空間9	1960	パステル、クレヨン、蠟、かまどの炭、灰、紙	81.0×81.0	購入
6	松澤宥	プサイの意味—ハイゼンベルクの宇宙方程式によせて ※9点組	1960	パステルほか、紙	各84.0×84.0	購入
7	松澤宥	プサイ函YM	1961	着色合板	91.0×91.0×91.0	購入
8	松澤宥	プサイ函SM	1961	着色合板	46.0×46.0×46.0	購入
9	松澤宥	プサイの意味	1961	パステル、紙	75.1×74.9	購入
10	小山利枝子	おだやかな夢の香り	2002	アクリル・カンヴァス	228×437	寄贈
11	根岸芳郎	91-10-10	1991	アクリル・カンヴァス	180×232	寄贈
12	辰野登恵子	UNTITLED 94-8	1994	油彩・カンヴァス	218.0×291.0	寄贈
13	辰野登恵子	望まれる領域 II Desired Domain II	2012	油彩・カンヴァス	162.0×130.0	寄贈
14	白井文平	国吉の居間から見た風景	1932	油彩・カンヴァス	91.5×71.5	寄贈
15	藤井令太郎	塔	1963	油彩・カンヴァス	44.5×33.0	寄贈
16	藤井令太郎	不詳	1967頃	油彩・カンヴァス	50.0×60.0	寄贈
17	河野次郎	森(風景)	1927	油彩・カンヴァス	44.0×32.0	寄贈
18	河野通勢	自画像	1911	油彩・カンヴァス	44.5×32.3	寄贈
19	熊谷好博子	色打掛	1972頃	着物		寄贈
20	田中清光	デカルコマニー作品 15点	1997～2011	デカルコマニー、水彩、紙		寄贈
21	松澤宥	言語による美術作品 67点	1960・70年代	印刷、紙		寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
触れる美術作品						
1	西村陽平	ペットボトル2(タカラ本みりん)	2021	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1	
2	西村陽平	ペットボトル1	2021	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1	
3	西村陽平	缶コーヒー	2021	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5	
4	西村陽平	缶ビール	2021	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8	
5	西村陽平	死者の書	2021	土、紙、鉄	110.0×40.5×45.0	
6	西村陽平	カップと石の関係—溶ける石	2021	石、カップ	39.8×32.5×17.9	
7	西村陽平	カップと石の関係—叫ぶ石	2021	石、カップ	28.3×26.4×19.5	
8	西村陽平	彫刻に耳を澄ます	2021	粘土、電球、ラジオ	83.0×43.0×43.0、 86.0×44.0×44.0(2点1組)	
9	光島貴之	まち歩き—善光寺参道から信濃美術館へ	2021	木製パネル、ミクストメディア	200.0×1020.0×17.0	
10	光島貴之	触覚でめぐる360度	2021	木製パネル、ミクストメディア	40.0×40.0×160.0	
11	光島貴之	かたちと手ざわりで行ったり来たり	2021	木製パネル、カッティングシート、釘、鋏、ピン	140.0×255.0×19.0	
12	光島貴之	新しい点字ブロック(ショッピングモールでハンバーガー屋さんを見つける)	2021	木製パネル、ステンレス版、ベニヤ、布、スポンジゴム、釘、ピン	40.0×40.0×7.3	
13	光島貴之	新しい点字ブロック(行きたい方角を足裏で感じる)	2021	木製パネル、ベニヤ、スポンジ、ゴム、鋏	40.0×40.0×7.5	
14	光島貴之	新しい点字ブロック(待ち合わせ場所)	2021	木製パネル、バイン集成材、釘、鋏、ガラス玉	40.0×40.0×10.5	
15	中ハシクシゲ	おしめの家族(車椅子犬)	2021	イロプラ樹脂(オレフィン系樹脂)、ステンレス鋼	40.0×80.0×40.0	
16	中ハシクシゲ	おしめの家族(介護犬)	2021	イロプラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	25.0×60.0×50.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
17	中ハシクシゲ	おしめの家族(おしめ観音)	2021	イロプラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	65.0×50.0×60.0	
18	中ハシクシゲ	おしめの家族(おねんね)	2021	イロプラ樹脂(オレフィン系樹脂)、シリコンシーラント(クリア)	20.0×60.0×75.0	
19	中ハシクシゲ	おしめの家族(ハイハイ)	2021	イロプラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂、ステンレス鋼、シリコンシーラント(白)	40.0×25.0×70.0	
20	金箱淳一・原田智弘	音鈴一信濃	2021	基盤、マイコン、センサ、振動スピーカー、LED	300.0×400.0×400.0	
21	金箱淳一	Vibracion Banco	2021	木、振動スピーカー、アンプ、コンピューター、センサ	46.0×180.0×31.1、45.2×179.8×30.9(2点1組)	

映像作品

22	榊原澄人	飯縄縁日	2021	ビデオ	12分	
23	ユーフラテス	1本の線	2021	ビデオ	7分10秒	
24	細井美裕・比嘉了	配置訓練 細井美裕+比嘉了	2023	ビデオ	20分	

屋外常設作品(委託制作)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ	備考
1	中谷美二子	霧の彫刻 #47610 -Dynamic Earth Series I	2021	霧とミクストメディア	5分、15分	

広報・マーケティング室事業

ホームページや各種ウェブサイトを活用した情報発信に努め、マスメディア等への取材・撮影、画像貸出等の対応を行うとともに、企画展ごとに報道内覧会を行い、積極的な事業の情報発信を行った。

1 ホームページ、各種ウェブサービス(SNS)の運用

(1)ホームページ <https://nagano.art.museum/>

年間アクセス数：1,644,200件

(2)各種ウェブサービス(SNS)

- ・Facebook <https://www.facebook.com/npsam.kaii/>
- ・Instagram <https://www.instagram.com/naganoartmuseum/>
- ・X (旧Twitter) <https://twitter.com/naganoartmuseum>
- ・YouTube <https://www.youtube.com/@naganoartmuseum>

SNSフォロワー数(※YouTubeはチャンネル登録者数)

	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	YouTube※
令和4年度	2,035	3,754	2,553	654
令和5年度	2,121	4,501	3,090	793

2 プレスリリース配信、取材対応

各種報道機関や美術雑誌、情報誌等に向けて展覧会情報等のプレスリリースを配信し取材依頼を行った。また電話やメール等での取材対応を行うとともに、美術館内での撮影や収録の立ち合いなども行った。

(1)プレスリリース配信件数：45件

うち、企画展：20件、コレクション展(本館・東山魁夷館)：11件、アートラボ：4件、オープンギャラリー：2件、交流・学習：8件

(2)取材対応件数：295件

うち、新聞：116件、テレビ・ラジオ：36件、雑誌・会報誌等：61件、ウェブ・SNS等：82件

(3)展評

掲載日	掲載媒体(執筆者)	内容
2023年7月4日付	信濃毎日新聞社(編集委員 植草学)	葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本-
2023年10月3日付	信濃毎日新聞社(編集委員 植草学)	とびたつとき-池田満寿夫とデモクラートの作家
2024年3月3日付	信濃毎日新聞社(編集委員 植草学)	春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

3 各種サインボード、広告掲出

長野市内にアクセス案内を掲出。また展覧会の周知を図るため、善光寺大門周辺へのフラッグ広告や、善光寺表参道に看板を掲出。その他、地域の関係機関と連携し、インバウンド向けのラッピングバスを運行した。(長野・白馬間)



善光寺大門フラッグ広告



善光寺表参道看板

4 企画展と連動したオリジナル商品等の企画・制作

(1)「葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本-」

浮世絵レリーフチョコレート、特別鑑賞券(和紙ポスター付き入場券)



特別鑑賞券



コラボスイーツ

©カラー

(2) 館内レストランとの共同企画(コラボスイーツ)

葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本-:アイスエクレア「赤富士」

庵野秀明展:『エヴァンゲリオン』スイーツプレート、『シン・ゴジラ』シュークリーム

5 その他の広報活動

(1) ニコニコ美術館(ウェブサイト)

長野県立美術館「葛飾北斎と3つの信濃-小布施・諏訪・松本-」を巡ろう

配信日時:令和5年8月6日(日)18:00開始(2時間13分)

出演:橋本麻里(進行:ライター・エディター)、安村敏信(解説:北斎館館長)、上沢修(当館学芸員)

(2) 菱田春草と同年!! 生誕150年 日本画家『池上秀畝(いけがみ しゅうほ)』アートこぼれ話~“高精細画人”の魅力を学芸員が紹介!~

長野県出身の日本画家、池上秀畝の生誕150年企画展を行う5館の学芸員によるトークイベントを開催。展覧会企画のこぼれ話も交えながら、秀畝の画業やその魅力を紹介した。

日時:令和6年1月7日(日)15:00~17:00

会場:銀座NAGANO 2F イベントスペース

話し手:加藤陽介(練馬区立美術館学芸員)、小松由以(信州高遠美術館学芸員)、
福澤浩之(伊那市立高遠町歴史博物館学芸員)、木内真由美(長野県伊那文化会館学芸員)、松浦千栄子(当館学芸員)

参加人数:23人



銀座NAGANOトークイベント

6 来館者アンケート

美術館運営の参考とするため来館者に対してアンケートを実施し、展覧会や施設利用時の満足度や意見等を徴取した。

7 刊行物の制作

・令和4年度 長野県立美術館 館報25号

・令和6年度 展覧会年間パンフレット

8 連携・協力事業

(1) 信州Arts-Climate Camp<会議>第3回「地球の今、美術館の明日 ~持続可能な未来をめざして~」

2019年に日本の都道府県として最初に気候非常事態宣言を出した長野県において、美術館、文化会館などの文化施設や専門機関はどのようにこの課題に対し取り組むことができるか。長野県内での取り組みの推進について考えた。

日時:令和5年11月23日(木・祝)13:30~16:00/場所:交流スペース/参加人数:113人(会場45人、オンライン68人)

主催:信州アーツカウンシル(一般財団法人長野県文化振興事業団)、信州大学人文学部、長野県立美術館、長野県

(2) 第21回長野灯明まつり

美術館周辺で開催される「長野灯明まつり」に合わせて、美術館の屋上広場「風テラス」の夜間開放や交流スペースでの映像作品の夜間上映などを行い、イベントへの協力を行った。

夜間開放/日時:令和6年2月9日(金)~2月12日(月・振休)17:30~21:00/場所:屋上広場「風テラス」

主催:長野灯明まつり実行委員会



長野灯明まつり

利用案内

施設名称 長野県立美術館
 所在地 〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4 (善光寺東隣 城山公園内)
 お問い合わせ TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050
 開館時間 9:00-17:00 (展示室入場は16:30まで)
 休館日 毎週水曜日(原則、水曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/28~1/3)
 ※展示替え、メンテナンスなどにより臨時休館する場合があります。

観覧料

	一般	大学生及び75歳以上	高校生以下又は18歳未満
企画展		展覧会により異なります。	
コレクション展 (本館・東山魁夷館共通)	700(600)円	500(400)円	無料

*割引の併用はできません。
 *()内は、20名以上の団体割引及び各種割引料金です。
 *身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。
 *大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください。

東山魁夷館

1919年開館した東山魁夷館は、東山魁夷先生が生前に建てた。この館は、東山魁夷先生の作品を展示するだけでなく、先生が大切にされた「静寂」と「自然」の精神を伝えるための展示も行う。先生が大切にされた「静寂」と「自然」の精神を伝えるための展示も行う。

2023.11/21(水)～12/1(木) 10:00～17:00
 2023.12/2(土)～12/10(日) 10:00～17:00
 2024.1/11(土)～1/19(日) 10:00～17:00
 2024.2/16(土)～2/24(日) 10:00～17:00
 2024.3/15(土)～3/23(日) 10:00～17:00
 2024.4/19(土)～4/27(日) 10:00～17:00
 2024.5/17(土)～5/25(日) 10:00～17:00
 2024.6/14(土)～6/22(日) 10:00～17:00
 2024.7/12(土)～7/20(日) 10:00～17:00
 2024.8/9(土)～8/17(日) 10:00～17:00
 2024.9/6(土)～9/14(日) 10:00～17:00
 2024.10/4(土)～10/12(日) 10:00～17:00
 2024.11/1(土)～11/9(日) 10:00～17:00
 2024.11/29(土)～12/7(日) 10:00～17:00
 2024.12/28(土)～1/5(日) 10:00～17:00

2023.4—2024.3

DOM
長野県立美術館

こどもアートラボ

2023年4月～2024年3月までの毎月1回、子どもアートラボを開催します。子どもたちが自由に表現できるような展示を行います。

おやつアートワーク

おやつアートワークは、子どもたちがアート制作を通して、おやつを食べながら楽しむことができます。

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

2023.4/22(土)～6/18(日) 10:00～17:00

2023.7/1(土)～8/27(日) 10:00～17:00

とびたつとき 一池田清夫とデモクラートの作家

2023.9/3(土)～11/5(日) 10:00～17:00

昭和会誕生100年 それぞれの関わり

2023.3/16(土)～5/12(日) 10:00～17:00

信濃毎日新聞社創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃 ～小布施・諏訪・松本～

2023.7/1(土)～8/27(日) 10:00～17:00

庵野秀明展 HIDEAKI ANNO EXHIBITION

2023.11/25(土)～2024.2/18(日) 10:00～17:00

NAMコレクション2023 新収蔵品展

2023.4/22(土)～6/18(日) 10:00～17:00

長野県立美術館

● 2023年度(令和5年度)

館報 No.26

編集・発行 令和6(2024)年6月30日

長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4

電話 026-232-0052

PRINT ISSN 2436-8547

ONLINE ISSN 2436-8563